

JS-RA2 シリーズ

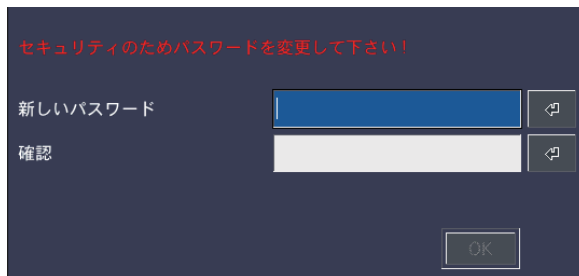
ハイブリッド（アナログHD・ネットワーク）
4ch / 8ch / 16ch デジタルレコーダ



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

初期パスワード



⚠ DVRの初回立ち上げ時に必ずパスワードを登録してください。

電源の入れ方

付属のACアダプタを背面の「ACアダプタ接続端子」に接続してください。

電源の切り方

1. 画面下のメニュー内、（システム終了）もしくは画面上でマウス右クリックします。マウス右クリックした際は  をクリックします。
2. 確認画面にて【システムを終了しますか？】と表示されるので、[はい]をクリックします。
3. パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力し[OK]をクリックすると電源が切れます。

本説明書注意点

1. 製品仕様及び外観は予告なく変更する事があります。予めご了承ください。
2. 本取扱説明書のOSDメニューの値は初期値を保証するものではありません。

免責について

- 本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害など。
 - ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の破損など。
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことによる不便・損害・被害。
 - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します（※）。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、およびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Pentiumは米国およびその他の国におけるInter Corporationの商標または登録商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- HDMIおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意	7	2.7 設定 — システム	37
主な特徴・付属品・主要部品の交換時期	12	2.7.1 NTP設定	39
仕様	13	2.7.2 メール送信設定	40
ライブ及び録画解像度	14	2.7.3 ハイブリッド設定	40
1. 各部の機能と接続	15	2.8 設定 — セキュリティー	41
1.1 前面パネル	15	2.8.1 使用者権限設定	42
1.2 背面パネル	17	2.8.2 使用者パスワード設定	42
1.3 リモコン・マウスの操作	18	2.8.3 データ検索権限設定	43
1.4 防犯カメラとの接続	19	2.8.4 ネットワークアクセス権限設定	43
1.5 ネットワーク接続	20	2.9 設定 — ネットワーク	44
1.6 センサ及びアラームの接続	20	2.9.1 ポート番号	45
2. 設定のしかた	21	2.9.2 ネットワークタイプ	45
2.1 設定メニューの基本操作	21	2.9.3 DDNSサーバーの設定	45
2.1.1 使用者モードに入る前に	21	2.9.3.1 bestddns.comを利用する場合	45
2.1.2 設定画面に入るには	21	2.9.3.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合	46
2.1.3 設定メニューを操作するには	22	2.9.3.3 ホストネームを直接入力したり自動登録する場合	46
2.1.4 設定を保存するには	22	2.9.4 ネットワークストリームの設定	47
2.1.5 設定メニューの構成	23	2.9.5 プッシュイベントの設定	47
2.2 設定 — IPカメラ	24	2.9.5.1 PUSH EVENT	48
2.3 設定 — 画面表示	25	2.10 設定 — 設定管理	49
2.4 設定 — 録画	26	2.10.1 ソフトウェアアップグレード	50
2.4.1 録画モードの種類	27	3. ライブ監視	51
2.4.2 イベント録画設定	28	3.1 ライブ画面の説明	51
2.4.3 スケジュール設定	28	3.2 ポップアップメニュー	53
2.5 設定 — デバイス	30	4. 検索と再生	54
2.5.1 アラーム出力設定	31	4.1 検索メニューの基本操作	54
2.5.2 コントローラー&PTZの接続	31	4.1.1 検索画面に入るには	54
2.5.2.1 コントローラー&PTZの設定	32	4.2 検索画面	54
2.5.2.2 CoC機能の設定	32	4.3 クイックサーチ	55
2.5.3 音声案内	33	4.4 モーションサーチ検索	56
2.5.4 スポットモニター設定	33	4.5 タイムライン検索	57
2.5.5 モーションの範囲設定	34	4.6 イベント検索	57
2.5.6 リモコンIDの操作	35	4.7 先頭映像検索	58
2.6 設定 — 録画装置	35	4.8 最終映像検索	58

目次

4.9 日時指定検索	58	8.4 JSSクライアント“JSS Multi Client”の設定と使用...	85
4.10 キャプチャーリスト	59	8.4.1 接続のしかた	85
4.11 ログ	59	8.4.1.1 接続先の登録	85
4.12 再生時の操作	60	8.4.1.2 接続先の接続	86
5. PTZカメラ&コントローラの操作	61	8.4.1.3 接続の切断	86
5.1 PTZカメラの基本操作	61	8.4.1.4 接続先の設定変更	86
5.1.1 PTZカメラの接続	61	8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき	87
5.1.2 PTZカメラ&コントローラの操作画面に入るには	61	8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき	89
5.2 PTZ操作画面	62	8.4.3.1 再生のしかた	91
6. バックアップ	63	8.4.3.2 動画のバックアップ	92
6.1 静止画バックアップ	63	8.4.4 セットアップのしかた	93
6.2 動画バックアップ	64	8.4.5 ポップアップメニュー	97
6.3 キャプチャーリストのバックアップ	66	8.5 遠隔設定	98
6.4 バックアップ動画再生	67	8.5.1 IP CAMERA設定	99
6.4.1 AVI方式	67	8.5.2 DISPLAY設定	99
6.4.2 NSF方式	67	8.5.3 RECORD設定	100
6.4.3 EXE方式	67	8.5.4 DEVICE設定	101
6.4.4 バックアップ再生	68	8.5.5 STORAGE設定	102
7. 遠隔ファームウェアのアップグレード	69	8.5.6 SYSTEM設定	103
8. 遠隔で操作するには	71	8.5.7 SECURITY設定	105
8.1 JSSクライアントの推奨動作環境	71	8.5.8 NETWORK設定	106
8.2 JSSクライアントソフトのインストール	71	8.6 Webクライアントの使用	107
8.3 JSSクライアント“JSS Single Client”の設定と仕様	73	8.6.1 IEからの接続	107
8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき	73	8.6.2 ライブモードの構成と各部のはたらき	108
8.3.1.1 接続のしかた:ローカル接続(インターネット非経由) ..	74	8.6.3 検索モードの構成と各部のはたらき	109
8.3.1.2 接続のしかた:インターネット経由	76	8.7 モバイルでのライブ画面監視	110
8.3.1.3 接続の切断	76	8.7.1 iPhone/iPadからの接続	110
8.3.1.4 JSSクライアントのデジタルズーム機能	76	8.7.2 Androidからの接続	112
8.3.1.5 双方向オーディオ	76	故障かな?と思ったら	114
8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき	77	アフターサービスについて	115
8.3.2.1 動画のバックアップ	79		
8.3.3 設定のしかた	80		
8.3.4 ポップアップメニュー	83		
8.3.5 遠隔設定	84		

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

正しくご使用いただくために
必ずお守りください

取扱説明書および製品には、安全にお使いいただくために
いろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った
取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分
しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、
記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示して
います。



注意

人がけがをしたり財産に損
害が発生するおそれがある
内容です。



禁止: してはいけないことを表しています。



強制: しなければいけないことを表しています。



警告

煙が出ている、変な音やにおいがする
などの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電
の原因となります。すぐに電源プラグ
をコンセントから抜いて、煙が出なく
なるのを確認してから、お買い上げ販
売店に修理をご依頼ください。お客さ
まによる修理は危険ですから絶対にお
やめください。



電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないで
ください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱
器具に近づけたりしないでください。ま
た、電源コードを無理に折り曲げたり、
加工したり、ステーブルなどで固定しな
いください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販
売店に交換をご依頼ください。



禁止

警告

電源プラグやコンセントにほこりなどを
付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こ
って火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、
台所、ほこりがたまりやすい場所のコ
ンセントを使っている場合は、特に注
意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグ
とプラグの間に付着したほこり・よご
れを取り除いてください。



禁止

電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続
してください。不完全な接続のまま使用
すると、発熱などにより、火災の原因と
なります。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
発熱などにより、火災の原因となります。
コンセントつき延長コードをご使用の場合
- は、接続する機器の消費電力の合計が、延長
コードの定格電力をこえないよう注意して
ください。火災の原因となります。



禁止



分解禁止

内部に異物を入れない

- 通風孔などから、金属類や燃えやすい
ものなど、異物を差し込んだり落とし
込んだりしないでください。火災、感電
の原因となります。
- 万一異物が内部に入った場合は、本体の
電源を切り、電源プラグをコンセントか
ら抜いて、お買い上げ販売店または工事
店にご連絡ください。そのまま使用す
ると、火災、感電の原因となります。



禁止



接続する機器の上に、水などが
入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本
体の電源を切り、電源プラグをコンセ
ントから抜いて、お買い上げ販売店ま
たは工事店にご連絡ください。そのま
ま使用すると、火災、感電、故障の原因
となります。



水ぬれ禁止



安全上のご注意

警告

ぬらさない

- 本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。風呂場、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。



接触禁止

不安定な場所に設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源電圧100V以外の電圧で 使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを 引っばらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを触らない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

警告

お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右は5cm以上を開ける
- ラック後面と壁面間は10cm以上開ける



禁止

注意

上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに繋がります。

接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



禁止

安全上のご注意

⚠ 注意

搬送・持ち運びについて

- 通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
- 搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



急激な温度・湿度変化の場所に置かない

急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。



- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など

付属のACアダプタについて

⚠ 警告

分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



付属のACアダプタについて

⚠ 警告

ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

付属のACアダプタ以外は使用しない

付属のACアダプタをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤ってACアダプタのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。



禁止

ぬれた手でACアダプタをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプタには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

安全上のご注意

付属のACアダプタについて

⚠ 警告

ACアダプタとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない。
- ACアダプタはコンセントへ根元まで確実に接続する。
- ACアダプタの差込み部が傷んでいる場合は使用しない不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだまま、本機のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしないぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- ACアダプタとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させないほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。

ほこりの清掃

ACアダプタをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。

- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと定格電力を超えると火災の原因になります。

不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



禁止



ぬれ手禁止



禁止

⚠ 注意

コード類は正しく接続する

ACアダプタのコードや接続ケーブルは十分注意して配線してください。足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

コードを傷つけない

ACアダプタのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、テーブルなどで固定しないでください。



禁止

使用場所の注意

発熱体(ストーブの前面)や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



禁止

安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

ハードディスクの使用に関して

⚠ 注意

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。

放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド(足)が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、 お買い上げの販売店にご相談ください

- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてください。

本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたまにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因になります。

録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

主 な 特 徴

- 解像度1920×1080の高精細映像を実現
- アナログHD(AHD、TVI)、NTSC/PAL、IPのカメラが使用可能
- H.264データ圧縮方式で高効率高画質
- スマートフォンでの遠隔監視が可能
- 音声記録対応
- USBメモリへのデータバックアップ
- HDMI映像出力対応
- リモコンとDVRユーティリティソフトウェア付き

付 属 品

次の付属品が入っているかをご確認ください。

- ①CD-ROM
- ②リモコン(単4電池×2個付属)
- ③マウス
- ④ACアダプタ(機種により外観が違います)
- ⑤電源ケーブル
- ⑥ターミナルブロック(機種により種類と個数が違います)
- ⑦オーディオ入力用ケーブル(JS-RA2016のみ付属)
- ⑧製品保証書
- ⑨取扱説明書(本書)

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	製品保証書
⑨	取扱説明書 (※本書)		

主 要 部 品 の 交 換 時 期

本製品を周囲温度25℃の環境下で連続して使用した場合、使用環境により部品が摩耗・劣化します。本製品の性能を維持させるために、下記を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ HDD

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが摩耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることにより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 電池(バックアップリチウムバッテリー)

2年(周囲温度25℃)

※長期間使用せず電源を入れていない場合目安になります。

■ ファン

2年

※保証期間中は、本体のカバーを外すと製品保証が受けられなくなりますので、ご購入いただいた販売店までご相談ください。

消耗品(HDD、リチウム電池、ファン)の交換手順

※消耗品交換作業時は、製品の電源をOFFし、ACアダプタを取り外してから実施してください。

※HDD、リチウム電池、ファンは、当社指定のものをご使用ください。

■ HDD

- ①本体のカバーを外します。
- ②付属のHDD取付ブラケットに、付属のブラケット固定用ネジでHDDを取り付けます。
- ③HDDを取り付けたブラケットを、本体の底面にネジで固定します。
- ④付属のSATAデータケーブルや電源ケーブルをHDDに接続します。

■ リチウム電池

- ①本体のカバーを外します。
- ②メインボード上にある電池を外し、新しい電池に交換します。

■ ファン

●取外作業

- ①本体のカバーを外します。
- ②ファンケーブルコネクタをメイン基板から外します。
- ③ファンを止めているネジを外し、ファンを取り外します。
※取外す前にファンの方向(向き)を確認してください。

●取付作業

- ①ファンを取外したネジを使用して本体に固定します。
※取外したファンと同じ向きに取り付けてください。
※ネジ締付時、片締めにならない様、均一にしめてください。
- ②ファンケーブルコネクタをメイン基板に接続します。
- ③本体のカバーを取り付けます。

仕 様

型番		JS-RA2004	JS-RA2008	JS-RA2016
映像 入力	入力数 (ANALOG/IP)	4ch (BNC) / 4ch (1口)	8ch (BNC) / 8ch (1口)	16ch (BNC) / 16ch (1口)
	入力仕様	ANALOG HD (AHD、TVI) 4M~8M、2M、1M、NTSC/PAL、IP		
	IP (H.264) ※	最大8MP・最大5Mbps (/ch)		
映像 出力	メインモニタ	HDMI (3840×2160、2560×1440、1920×1080、1280×1024、1280×720、1024×768) / VGA		
	サブモニタ	SPOT×1 or コンボジット×1		
	ループスルー出力	4	8	16
音声	入力/出力	4 / 1	8 / 1	16 / 1
	IP (入力/出力)	4 / 4	8 / 8	16 / 16
アラーム	入力/出力	4 / 1	8 / 1	16 / 4
	IP (入力/出力)	4 / 4	8 / 8	16 / 16
シリアルインターフェース		RS-485×1		
圧縮方式		H.264 (High Profile L4.2)		
録画	録画品質	最高画質/高画質/中画質/標準画質/ネットワーク画質		
	録画モード	常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール/イベント録画/スマートレコーディング		
	イベント前録画	OFF、15秒、30秒、1分、3分、20分		
	イベント後録画	3、5、10~30秒 (1秒間隔)、60秒		
再生	記録映像検索モード	クイックサーチ/MOTION SEARCH検索/タイムライン検索/イベント検索/ 先頭映像検索/最終映像検索/日時指定検索/キャプチャーリスト/ログ		
	速度 ※1画面時	コマ戻し、×1/4、×1/2、×1、×2、×4、×8、×16、×32、コマ送り		
バック アップ	メディア	USBメモリ (最大64GB)、外付けHDD (最大4TB)、ネットワーク経由		
	ファイル形式	BMP、AVI、独自動画フォーマット、EXE (再生+データ)		
	外部インターフェース	USB2.0: 前面×1、背面×2 / eSATA: 背面×1		
保存 装置	HDD	標準容量4TB×1 最大16TB (4TB×4) まで増設可能		
	HDDの冗長化	RAID1 / 10		
イーサネット		10/100/1000Base-TX×2		
ネット ワーク アクセス	モバイル	iPad / iPhone / Android		
	WEBビューアー	Microsoft® Windows® 10 32ビット/64ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8 32ビット/64ビット日本語版 Microsoft® Windows® 7 SP1 32ビット/64ビット日本語版 Internet Explorer®※ACTIVE-Xサポートブラウザのみ		
	PCクライアント	JSS Single Client、JSS Multi Client		
	セットアップ/アップグレード	遠隔操作可		
外形寸法 / 重量		380 (幅) × 72 (高) × 340 (奥) mm / 約2,700g (本体のみ)		
使用温度範囲		動作温度範囲: +5~40℃、保管温度範囲: -10~+50℃		
電源 (付属ACアダプタ)		DC12V 5A	DC12V 5A	DC12V 6.67A

※ H.265を入力した場合、画像は表示・記録されません。

ライブ及び録画解像度(FPS)

JS-RA2004

カメラ入力	CH1	CH2	CH3	CH4
2MP×4	30	30	30	30
4MP×4	30	30	30	30
4MP×3+IP×1	30	30	30	IP
4MP×2+IP×2	30	30	IP	IP
5MP×4	20	20	20	20
5MP×3+IP×1	20	20	20	IP
5MP×2+IP×2	20	20	IP	IP
8MP×4	15	15	15	15
8MP×3+IP×1	15	15	15	IP
8MP×2+IP×2	15	15	IP	IP

再生解像度	カメラ入力	4分割	1画面
	2MP	FULL (HALF)	FULL
	4MP	HALF (1FPS)	FULL
	5MP	HALF (1FPS)	FULL
	8MP	HALF (1FPS)	FULL

◆再生解像度の見方(共通)

【FULL】再生時に録画フレームレートで再生する。

【FULL (HALF)】原則、再生時に録画フレームレートで再生しますが「遠隔接続の場合でHDD上書き発生時」には録画フレームレートの半分で再生する。

【HALF (1FPS)】原則、再生時に録画フレームレートの半分で再生しますが、「遠隔接続の場合でHDD上書き発生時」には1FPS。

【1FPS】1FPSで再生する。

JS-RA2008

カメラ入力	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8
2MP×8	30	30	30	30	30	30	30	30
4MP×8	20	20	20	20	20	20	20	20
4MP×7+IP×1	20	20	20	20	20	20	20	IP
4MP×6+IP×2	30	30	30	30	30	30	IP	IP
5MP×8	15	15	15	15	15	15	15	15
5MP×7+IP×1	15	15	15	15	15	15	15	IP
5MP×6+IP×2	20	20	20	20	20	20	IP	IP
8MP×8	10	10	10	10	10	10	10	10
8MP×7+IP×1	10	10	10	10	10	10	10	IP
8MP×6+IP×2	15	15	15	15	15	15	IP	IP

再生解像度	カメラ入力	8分割	4分割	1画面
	2MP	HALF (1FPS)	FULL (HALF)	FULL
	4MP	1FPS	HALF (1FPS)	FULL
	5MP	1FPS	HALF (1FPS)	FULL
	8MP	1FPS	1FPS	FULL

JS-RA2016

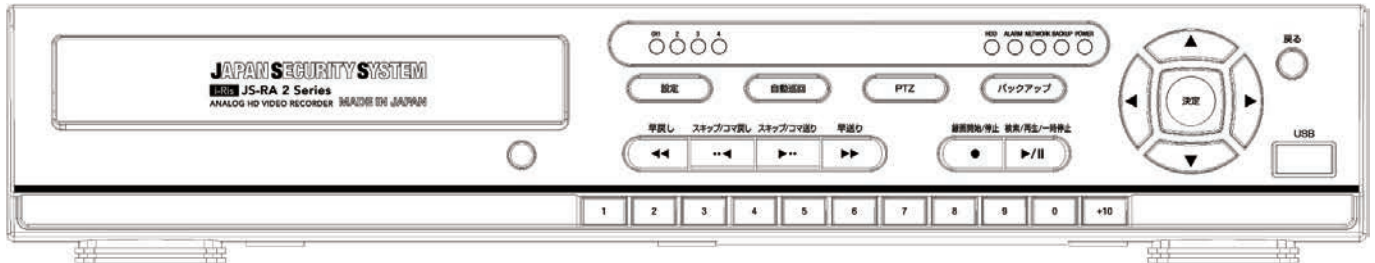
カメラ入力	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10	CH11	CH12	CH13	CH14	CH15	CH16
2MP×16	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
4MP×16	30	30	30	30	30	30	30	30	20	20	20	20	20	20	20	20
4MP×15+IP×1	30	30	30	30	30	30	30	30	20	20	20	20	20	20	20	IP
4MP×14+IP×2	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	IP	IP
5MP×8	20	20	20	20	20	20	20	20	5～8MP使用時、CH9～16は使用できません。							
8MP×8	14	14	14	14	14	14	14	14								

再生解像度	カメラ入力	16分割	8分割	4分割	1画面
	2MP	1FPS	HALF (1FPS)	FULL (HALF)	FULL
	4MP	1FPS	1FPS	HALF (1FPS)	FULL
	5MP	1FPS	1FPS	HALF (1FPS)	FULL
	8MP	1FPS	1FPS	HALF (1FPS)	FULL

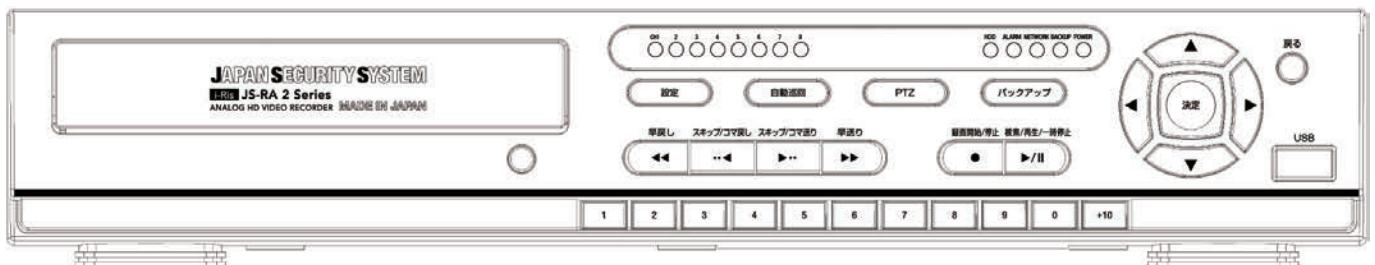
1. 各部の機能と接続

1.1 前面パネル

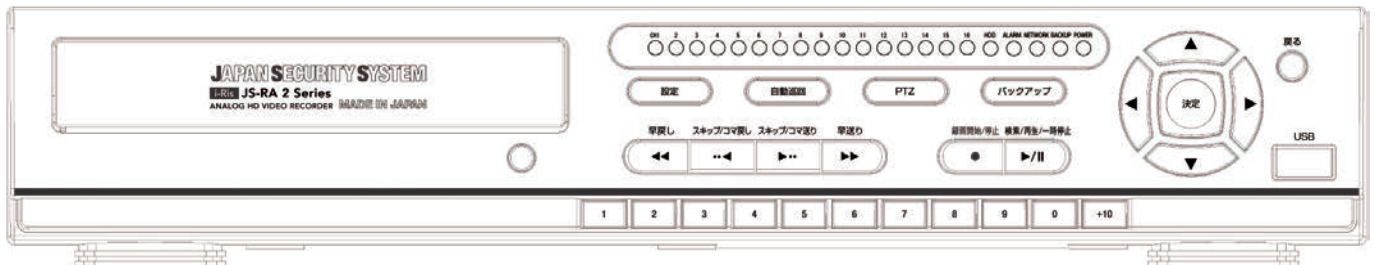
JS-RA2004



JS-RA2008



JS-RA2016



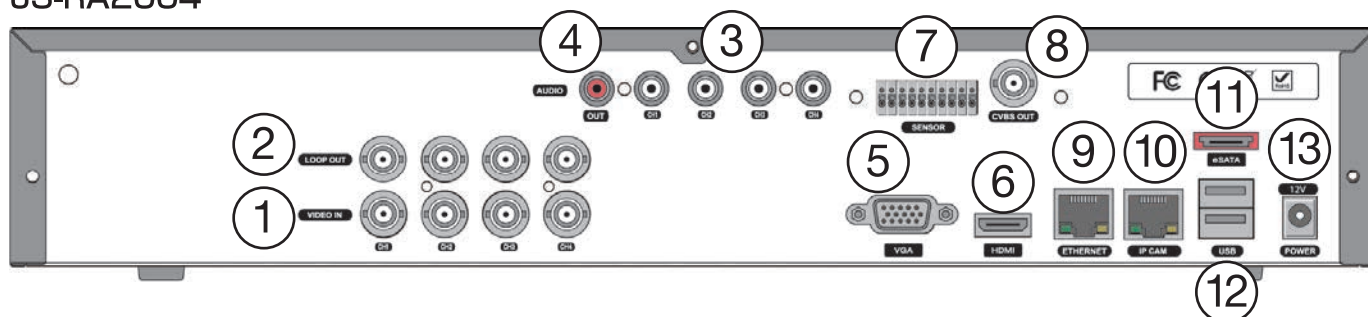
ランプやボタンの説明

名前	説明
CH1 2 3 4 ○ ○ ○ ○	各チャンネルの映像信号が入力されていると点灯します。
USB ■	データや設定内容の保存をする場合に、USBメモリーを接続します。 F/W アップグレードおよびデータバックアップ時に使用します。
設定	設定メニューに進みます。
自動巡回	各映像を自動切替します。
PTZ	PTZ の操作に進みます。
バックアップ	バックアップ操作に進みます。
HDD ○	ハードディスクへアクセス中に点滅します。

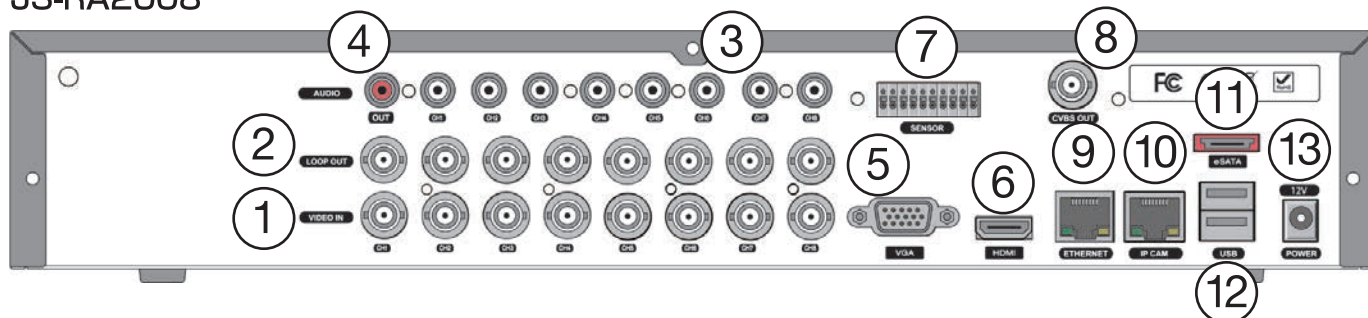
	アラーム設定中に点滅します。
	ネットワーク接続中に点滅します。
	バックアップ中に点滅します。
	通電中に点滅します。
早戻し 	再生時、映像を早戻しします。 押すごとに再生速度が 1→2→4→8→16→32→1→2→4…倍速に変化します
スキップ/コマ戻し 	再生時、1 分前の映像にジャンプします。 映像が一時停止状態で押した場合は 1 フレームずつ前に移動します。
スキップ/コマ送り 	再生時、1 分先の映像にジャンプします。 映像が一時停止状態で押した場合は 1 フレームずつ先に移動します。
早送り 	再生時、映像を早送りします。 押すごとに再生速度が 2→4→8→16→32→2→4…倍速に変化します
録画開始/停止 	設定された録画モードを無視して、手動録画モードで録画を開始 / 中止します。
検索/再生/一時停止 	検索モードに入ります。 再生時、映像を一時停止 / 再生します。
	カーソルを上に移動させます。
	カーソルを右に移動させます。
	カーソルを下に移動させます。
	カーソルを左に移動させます。
	選択した項目を確定します。
戻る 	全画面に戻ります。
	ライブ画面では画面表示を切り替えます(各チャンネル数) メニュー設定時は選択項目を確定します。

1.2 背面パネル

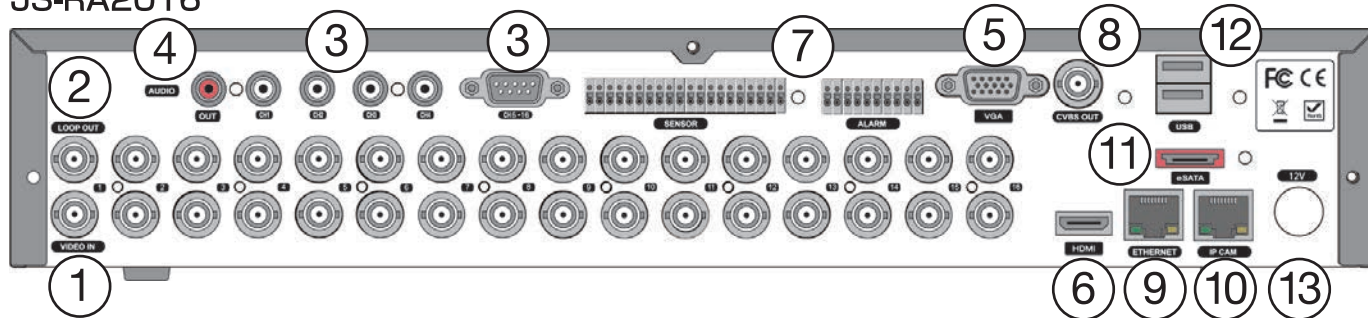
JS-RA2004



JS-RA2008



JS-RA2016



NO.	接 続	目 的
①	VIDEO IN	映像入力端子
②	LOOP OUT	ループスルー映像出力端子
③	AUDIO IN	音声入力端子
④	AUDIO OUT	音声出力端子
⑤	VGA OUT	映像出力端子 (VGA)
⑥	HDMI	映像出力端子 (HDMI)
⑦	外部機器接続端子	[D+, D- or +, -] RS-485端子、PTZカメラ、コントローラの制御線を接続します [A, B or ALARM] アラームを出力する機器 (パトライトや警報器等) を接続します [S1, S2 or SENSOR] センサ機器のプラスを接続します [G or GND] センサ機器のマイナスを接続します
⑧	CVBS OUT	コンジット出力端子
⑨	ETHERNET	ネットワーク端子 (10/100/1000 Base-TX)
⑩	IP CAM	カメラネットワーク端子 (10/100/1000 Base-TX)
⑪	eSATA	eSATAケーブルを接続します
⑫	USB	USB端子 (USB2.0)
⑬	POWER	ACアダプタ接続端子

1.3 リモコン・マウスの操作

リモコンの操作



REC	手動録画
ID	レコーダのIDを入力 (IDボタン+レコーダ ID数字)
0~9	チャンネル選択
SETUP	設定画面表示
ESC	前画面に戻る
▲▼◀▶	方向ボタン
SEL	画面表示の切替
BACKUP	静止画または保存映像のバックアップ
SEQ	画面自動切換え
---◀	1分前の映像にジャンプ
SEARCH	検索画面表示
▶---	1分先の映像にジャンプ
PTZ	PTZメニューを表示
◀◀	早戻し
▶/II	再生/静止
▶▶	早送り

マウスの操作



左クリック

メニューアイコン表示中や設定項目を選択します。

決定ボタンと同じ役割をします。

監視時に、ダブルクリックすると、全画面・分割画面の切替ができます。

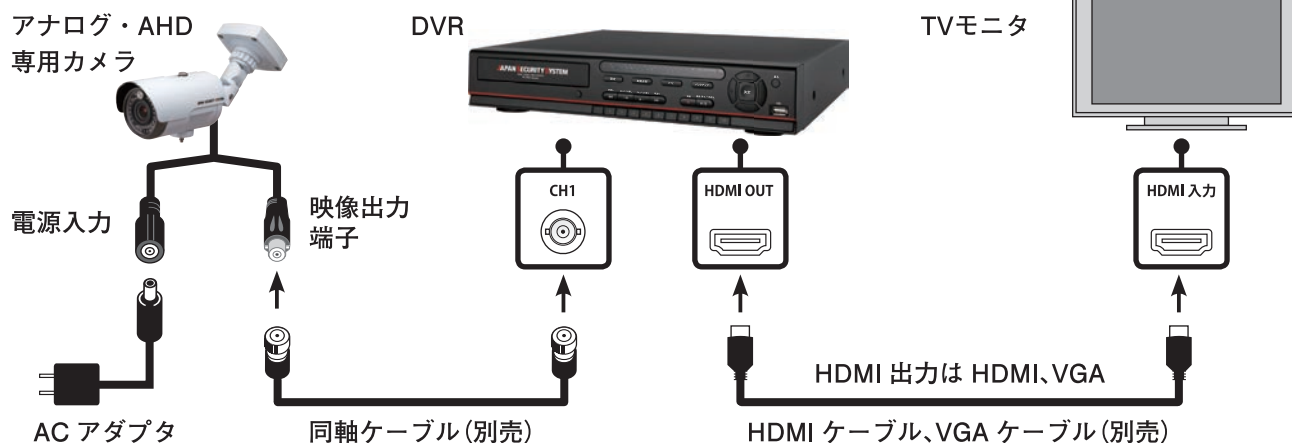
右クリック

通常画面でクリックすると簡易 (ポップアップ) メニューを表示します。

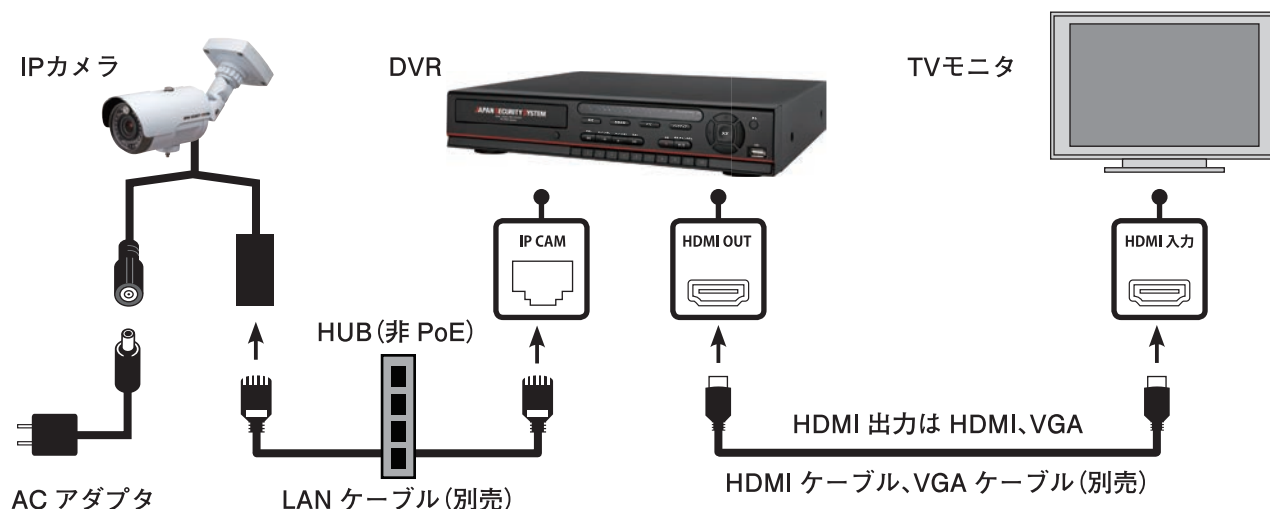
再生モード時は再生用メニューを表示します。

1.4 防犯カメラとの接続

■ 同軸カメラの接続

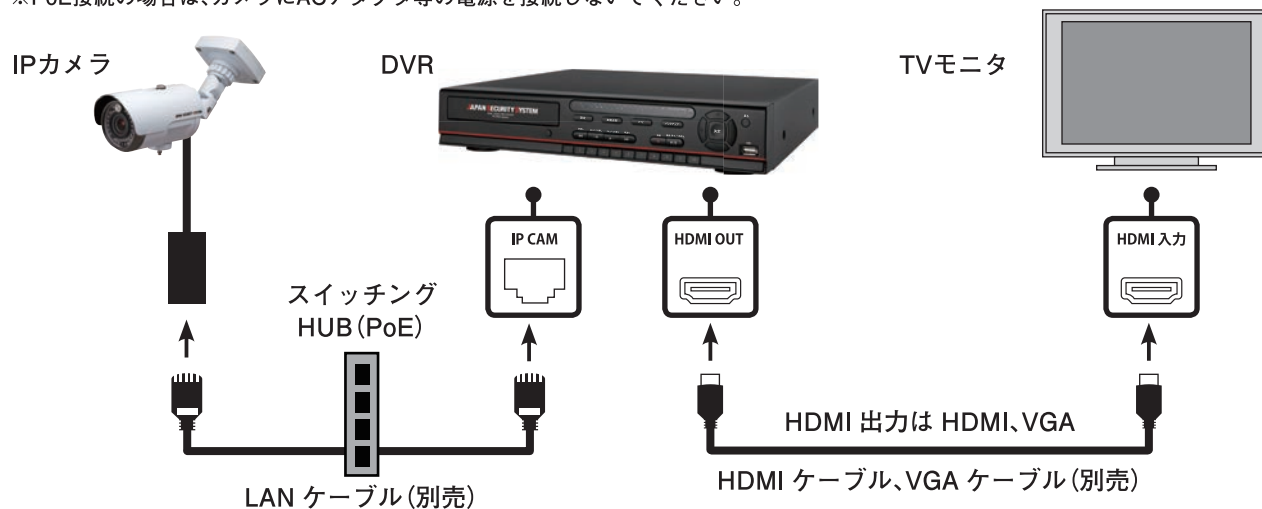


■ IPカメラの接続①(PoEを利用せずにACアダプタで電源供給する場合)



■ IPカメラの接続②(PoEスイッチングHUBを使用して電源供給する場合)

※PoE接続の場合は、カメラにACアダプタ等の電源を接続しないでください。



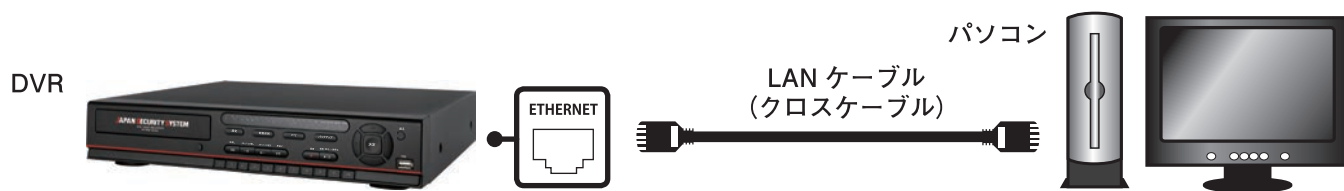
カメラの接続、信号の入れ替えを行った場合は必ずカメラの電源を入れ直してください。

1.5 ネットワーク接続

■ 接続構成図①

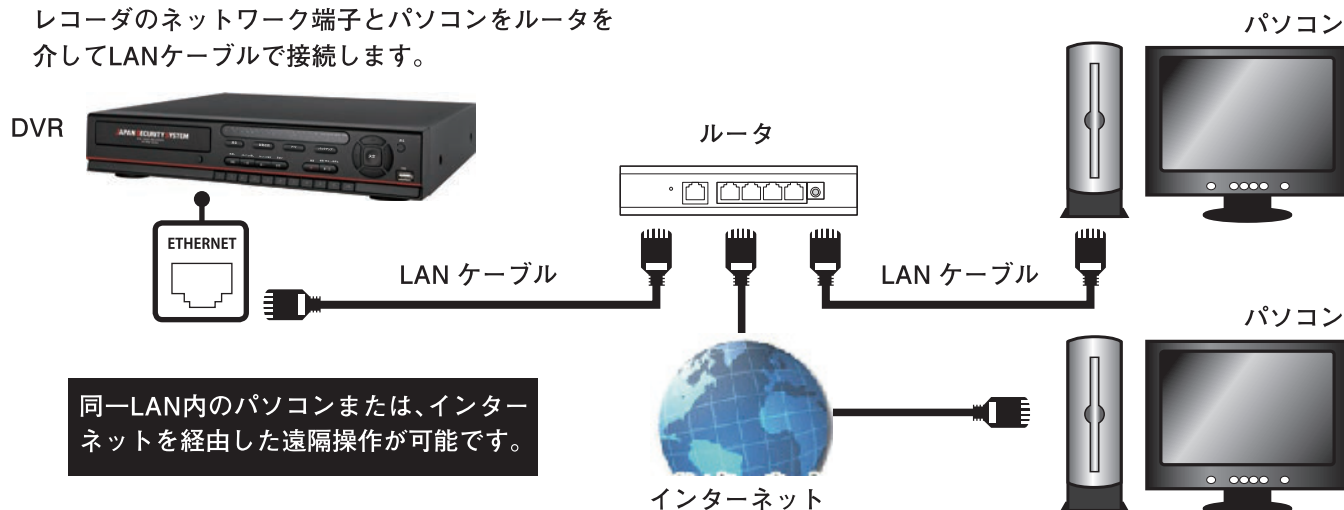
レコーダのネットワーク端子とパソコンをLANケーブルで直接接続します。

直接接続すると、接続したPCのみでレコーダ映像の確認・再生・設定操作などが行なえます。
※インターネットを経由した接続は行えません。



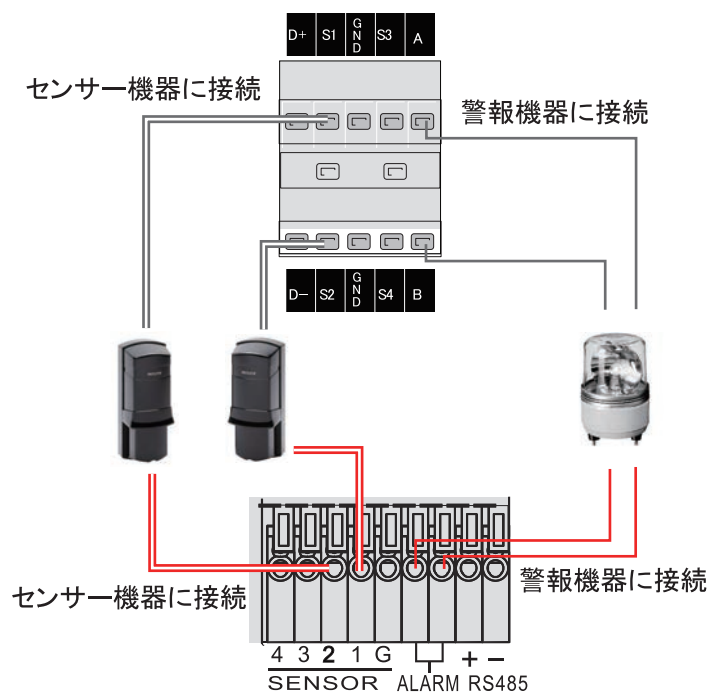
■ 接続構成図②

レコーダのネットワーク端子とパソコンをルータを介してLANケーブルで接続します。



同一LAN内のパソコンまたは、インターネットを経由した遠隔操作が可能です。

1.6 センサ及びアラームの接続

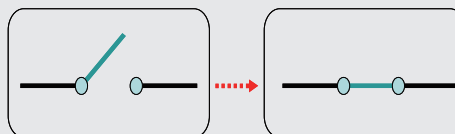


※本図はイメージです。

—：反応しません。

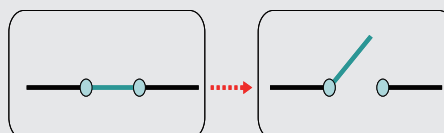
N/O: Normally open type sensor.

通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C: Normally closed type sensor.

通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。



アラーム出力時の最大電流と最大電圧: DC24V 2A

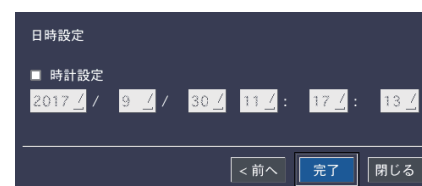
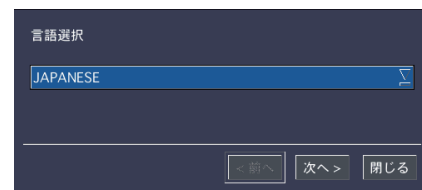
※センサー・アラームを使用する場合は電氣的知識が必要です。

2. 設定のしかた

2.1 設定メニューの基本操作

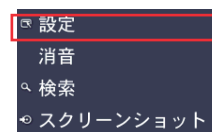
2.1.1. 使用者モードに入る前に

- ① 背面の電源ソケットにACアダプタを接続します。
- ② 電源が入ると、電源ランプが緑色(起動中)に変わり、初期化を開始します。
初期化が完了してレコーダが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。「JAPANESE」を選択し、「次へ>」をクリックします。
- ③ 現在時刻を確認します。現在時刻を変更したい場合は、「時間設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。現在時刻が年/月/日/時/分/秒で設定できるようになります。時刻の設定が完了するには「完了」をクリックします。
- ④ 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できるようになります。



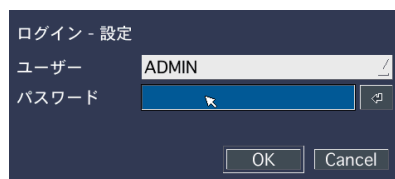
2.1.2. 設定画面に入るには

- ① 設定画面に入るには、以下の方法があります。
 - 前面パネルの「決定」かリモコンの「SETUP」ボタンを押します。
 - メイン画面の下部にあるタスクバーの  アイコンをクリックします。
 - メイン画面からマウスの右クリックをし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。



- ② ログイン画面が表示しますので、コントロールボタン(◀▶)でユーザーを選択するかマウスで▽をクリックし選択します。

※「ユーザー」「パスワードの変更」権限の設定は、設定メニューの「セキュリティ」から変更できます。



- ③  ボタンをクリックするとキーボードが表示されます。コントロールボタン(▲▼)かマウスを利用して、選択したユーザーに合うパスワードを入力してください。各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティ」で設定できます。パスワードを入力し、「OK」をクリックすると、設定画面が表示されます。



※工場出荷時のパスワードは「1111」です。システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

2.1.3 設定メニューを操作するには

- マウスの操作:マウス左クリックで選択したい項目やボタンをクリックします。
- 前面パネルとリモコンの操作。

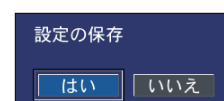
▼ボタン	1つ次の設定項目に移動します。
▲ボタン	1つ前の設定項目に移動します。
◀▶ボタン	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」	ボタンを選択します。
【ESC】	ボタンを選択します。

【項目の設定】

	「決定」ボタンやマウスクリックするとドロップダウンメニューが表示されます。
	コントロールボタン(◀▶)やマウスのドラック&ドロップで設定値が変更できます。
	クリックすると文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

2.1.4 設定を保存するには

- ① 設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」を押すと右の設定保存の画面を表示します。



- ② 「はい」を選択すると変更した内容が保存されます。
- ③ 「いいえ」を選択すると設定した内容は保存されません。

※設定完了後、設定メニュー画面右下にある「キャンセル」をクリックすると内容は保存されません。

2.1.5 設定メニューの構成

 IPカメラ	 画面表示	 録画
- チャンネル - 製造元 - スキャン - IPアドレス - ポート番号 - WEBポート - プロトコル - NVS CH - ID - パスワード ※IPカメラの場合だけ 表示されます	- OSD表示 - OSD表示コントラスト - 画面自動切替え - 画面自動切替え周期 - チャンネル - 名前 - 映像非表示 - 映像調整 - 映像出力 - サブモニター出力 - サブモニタータイプ	- チャンネル - 録画解像度 - 録画フレーム - 画質 - 録画モード - センサー録画 - イベント前記録 - イベント後記録 - 音声 - スケジュール
 デバイス	 録画装置	 システム
- アラーム出力 - コントローラー & PTZ - 音声案内 - スポットモニター設定 - チャンネル - モーション領域 - モーション感度 - ボタン音 - リモコンID - センサー - タイプ	- 上書き - HDDフォーマット - HDD情報 - 記録保存日数制限 - 記録保存日数 - レイド構成	- DVR ID - システム情報 - 言語 - 日付の形式 - 日時設定 - クライアントアクセス - NTP - メール送信 - システム再起動 - システムイベント通知 - ハイブリッド設定
 セキュリティー	 ネットワーク	 設定管理
- 使用者権限 - 使用者名変更 - 使用者パスワード - データ検索権限 - 遠隔監視権限 - 遠隔再生時間制限 - USB認定読込 - HTTPS使用	- ポート番号 - ネットワークオーディオポート - WEBポート - ネットワークタイプ - IPアドレス - サブネットマスク - ゲートウェイ - DNS(第1) - DNS(第2) - DDNS - ネットワークストリーム - プッシュイベント	- USBへ設定保存 - USBから設定読込 - 使用者設定を戻す - 工場出荷時に戻す - ソフトウェア アップグレード

2.2 設定 — IPカメラ

設定メニューでIPカメラを選択します。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタン、録画タブの下部にある「キャンセル」をマウスでクリックします。

IPカメラ

チャンネル	4
製造元	JSS-IP
スキャン	
IPアドレス	192.168.78.11
ポート番号	554
WEBポート	80
プロトコル	TCP
ID	admin
パスワード	****

OK キャンセル

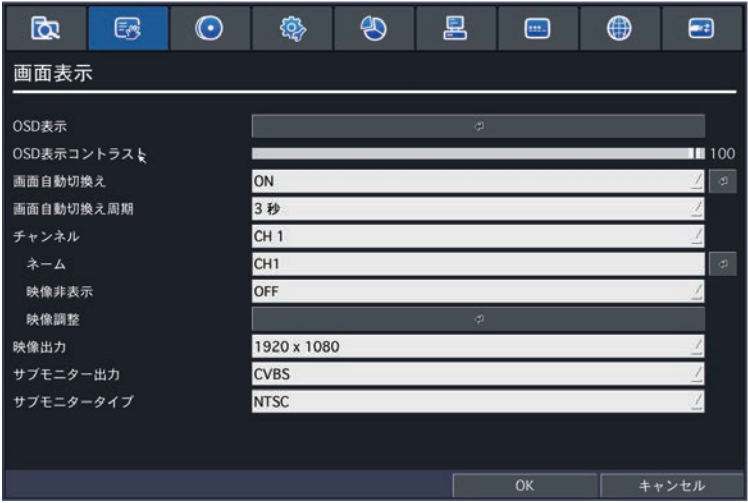
IPカメラメニュー

名 前	説 明
チャンネル	IPカメラを使用するチャンネルを選択します。
製造元	IPカメラのメーカーおよび種類を選択します。
スキャン	ベンダーを選択し、接続しているカメラをスキャンします。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。
ポート番号	ポート番号を入力します。
WEBポート	WEBポートを入力します。
プロトコル	通常は「TCP」で設定不要。
NVS CH(※)	レコーダのCHを設定します。
ID	接続したカメラのIPを入力します。
パスワード	接続したカメラのパスワードを入力します。

※製造元で「JSS-DVR」を選択したときだけ表示されます。

2.3 設定 — 画面表示

設定メニューで画像表示を選択します。メニュー項目をサーチするにはマウスまたはリモコンを使って設定できます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタンまたは「キャンセル」をクリックしてください。



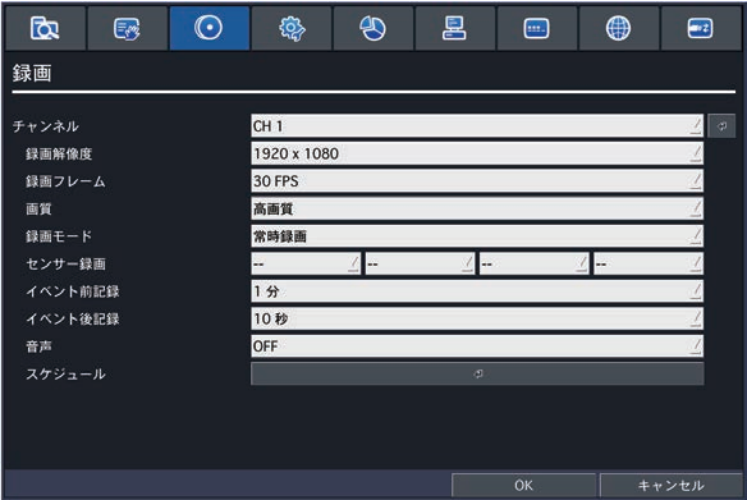
画面表示メニュー

名 前	説 明
OSD表示	CH名、VIDEO LOSS、タスクバー、IPアドレス/FPS、カメラタイプ、録画表示
映像調整(※)	輝度: 映像の明るさを調節します。(設定範囲: 0～100)
	コントラスト: 画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲: 0～100)
	色合い: 画像の色合いを調節します。(設定範囲: 0～100)
	彩度: 画像の彩度を調節します。(設定範囲: 0～100)
	シャープネス: 画像の鋭さを調節します。(設定範囲: 0～100)
映像出力	3840×2160、2560×1440、1920×1080、1280×1024、1280×720、1024×768の中からビデオ出力解像度を選択します。
サブモニター出力	CVBS出力端子からの出力を、メインモニターと同じ映像カスケット出力にするかの設定します。
サブモニタータイプ	CVBS出力をモニターに合わせて選択し設定します。

※IPカメラの場合は表示されません。

2.4 設定 — 録画

設定メニューで録画タブを選択します。メニュー項目はマウス、リモコン、本機前面パネルを使って設定できます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタン、前面パネルの「戻る」ボタンにて戻ることが可能です。又、録画タブ下記にある「キャンセル」をマウスを使いクリックすると戻ることができます。詳細内容は(録画解像度、録画フレーム、画質、録画モード、イベント前記録、イベント後記録、音声、スケジュール)をチャンネル毎に設定します。



録画メニュー

名前

説明

チャンネル

◀

 ボタンを押すと、「全CH設定－録画」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。

	解像度	フレームレート	画質	録画モード	イベント前記録	イベント後記録	音声
ALL	---	---	---	常時録画	1 分	10 秒	OFF
1	1920 x 1080	30 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
2	1920 x 1080	30 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
3	1920 x 1080	30 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
4	---	---	---	常時録画	1 分	10 秒	OFF

OK

キャンセル

コントロールボタン(▲▼ ◀ ▶) で変更したい項目に移動し、本体の「決定」ボタンまたはリモコンの「SEL」を押すか、マウスにてクリックすると、項目の設定ができます。コントロールボタン(◀ ▶) で設定値を変更し、本体の「決定」ボタンまたは、リモコンの「SEL」を押すと設定値が保存されます。

「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。

録画解像度

録画の解像度を設定します。

アナログ: CIF / D1 / 960H AHD720P: 1280×720 / 640×360

AHD1080P: 1920×1080 / 1920×540 / 1280×720 / 640×360

録画フレーム

録画フレームを設定します。

選択肢: アナログ or AHD720P、1080P: 1～30FPS

画質

録画画質を選択します。

選択肢: ネットワーク画質 / 標準画質 / 中画質 / 高画質 / 最高画質

録画モード

録画モードを選択します。

選択肢: 常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/OFF

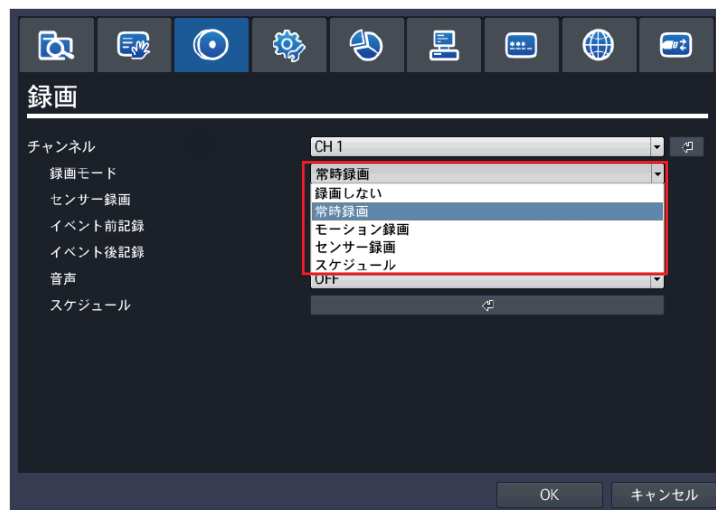
※各モードの詳しい説明は「2.4.1録画モードの種類」をご参照ください。

録画メニュー

名 前	説 明
イベント前記録	モーション録画またはセンサー録画モードにて録画している場合、動作検知した際に何秒・何分前から録画を開始するかを選択します。 選択肢:OFF/15秒/30秒/1分/3分/20分
イベント後記録	モーション録画又はセンサー録画モードにて録画している場合、動作検知後からの録画時間を指定します。(設定範囲:10～30秒、60秒)
音声	指定されたチャンネルについて、音声録画の有無を設定します。(選択肢:ON/OFF)
スケジュール	録画スケジュールを設定します。

2.4.1 録画モードの種類

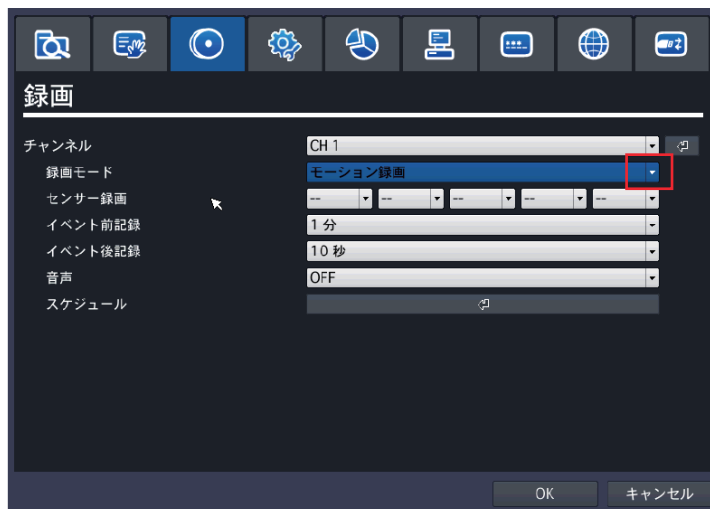
録画する条件を6つの録画モードから選択できます。



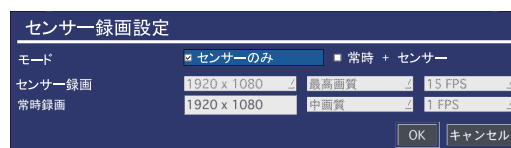
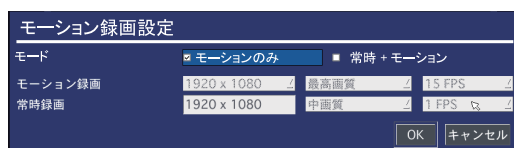
名 前	説 明
常時録画	レコーダの電源がONになっている間は、常時録画を行います。
モーション録画	レコーダ内蔵のモーションセンサが反応すると録画を始めます。また、常時録画とモーション録画を組み合わせ、モーションセンサが反応した場合と、しない場合でのコマ数や録画解像度を変更し、録画をすることができます。
センサー録画	レコーダの外部センサ入力端子 (S1,S2 or SENSOR1～4) に接続されたセンサ機器が反応すると録画を始めます。また、常時録画とセンサ録画を組み合わせ、センサ機器が反応した場合と、しない場合でのコマ数や録画解像度を変更し、録画をすることができます。
スケジュール	録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

2.4.2 イベント録画設定

カメラごとにイベント時の録画の設定を行うことができます。



- ① 録画モードをモーション録画orセンサー録画を選択すると  が有効になります。クリックすると下記設定画面が表示されます。



- ② 常時+モーションorセンサーを選択すると、センサが反応した場合と反応がない場合の録画解像度・画質・録画フレームを設定することができます。

2.4.3 スケジュール設定

- ① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、前面パネルの「決定」ボタンもしくは  をクリックとスケジュール設定画面が表示されます。



② 画面左上の「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。

③ 画面上のボタンから録画モードを選択します。



④ スケジュール表のマスをクリック、ドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄	モーション録画
白(色なし)	録画しない

- 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

例)「月」をクリックすると、月曜日の24時間が

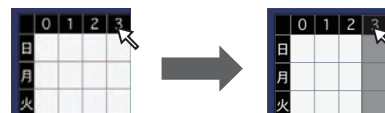


- 選択した録画モードに設定されます。

毎日設定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

例)「4」をクリックすると、毎日04:00～05:00の間の

時間が選択した録画モードに設定されます。



- 毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

例)数字と曜日の間の黒い■部分ををクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設置されます。



- **クリア** ボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

⑤ 「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます。

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合

「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、**コピー** ボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

2.5 設定 — デバイス

センサやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタン又は「キャンセル」をクリックしてください。



デバイスメニュー

名 前	説 明
アラーム出力	 ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSSなどによるアラーム出力を設定します。 ※詳細は「2.5.1 アラーム出力設定」をご参照ください。
コントローラー & PTZ	 ボタンを押すとPTZカメラの設定、CoC機能の設定をします。 ※詳細は「2.5.2 コントローラー & PTZの接続」をご参照ください。
音声案内	音声案内を設定します。
スポットモニター設定	 ボタンを押すとモニタリングのためのSPOT出力を設定します。 ※詳細は「2.5.4 スポットモニター設定」をご参照ください。
チャンネル	モーションを設定するチャンネルを指定します。
モーション領域	モーション検出の範囲を設定します。(選択肢:全領域/検出枠) 検出枠を選び、  ボタンを押すと検出枠設定画面が表示されます。モーションを検出する範囲を設定します。 ※詳細は「2.5.5 モーションの範囲設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検地の感度を選択します。(選択肢:1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。(選択肢:ON/OFF)
リモコンID	リモコンのIDを設定します。(選択肢:0～99) ※詳細は「2.5.6 リモコンIDの操作」をご参照ください。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 ● NORMAL OPEN : センサーが動作時に【閉路(クローズ)】となる場合 ● NORMAL CLOSE : センサーが【開路(オープン)】となる場合 ● OFF : 反応しない

2.5.1 アラーム出力設定

アラーム出力の条件を設定します。

アラーム出力設定メニュー

名 前	説 明
アラーム出力	アラーム出力端子設定。本機の場合は「1」に固定されます。
アラーム維持時間	アラーム出力維持時間設定 (選択肢:5～60秒)
タイプ	アラーム機器の動作を選択します。 ● NORMAL OPEN : センサが動作時に【閉路(クローズ)】となる場合 ● NORMAL CLOSE : センサが【開路(オープン)】となる場合

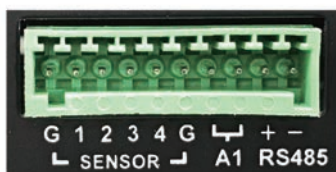
2.5.2 コントローラー&PTZの接続

PTZカメラ、またはCoC機能(※接続しているカメラのOSDメニューを操作する機能)を、操作する設定をします。CoC機能で通信できない場合はRS-485の以下の接続が必要です。RS-485ケーブルは背面パネルのRS-485ポート(+、-)に接続します。

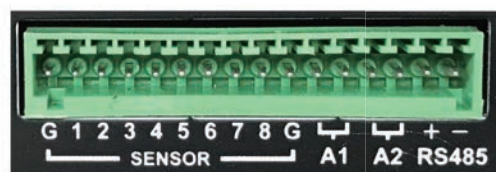
※このメニューはIPカメラには関係ありません。

メモ:PTZカメラがRS-232対応の場合は、RS-485→RS-232Cシグナルコンバータをご使用ください。

メモ:RS-485は物理的な配線の終端に終端抵抗(ターミネータ)が必要です。工事の際、必ず取付けてください。終端抵抗がない場合、正しく動作しません。



JS-RA2004



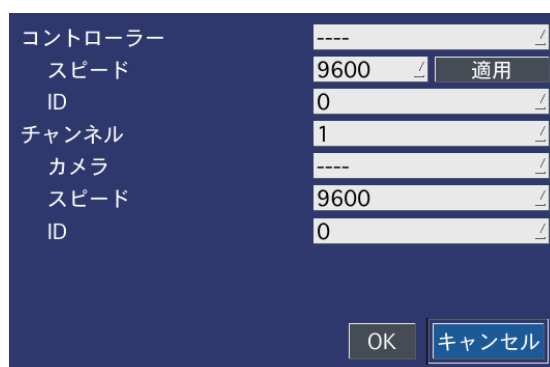
JS-RA2008



JS-RA2016

2.5.2.1 コントローラー&PTZの設定

デバイス設定メニューの「コントローラー & PTZ」タブの  ボタンをクリックします。



コントローラー&PTZの操作設定メニュー

名 前	説 明	
コントローラー	接続しているコントローラーのプロトコルを選択します。	★1
スピード	通信速度を設定します。(選択肢:2400/4800/9600/14400/19200)	★1
ID	接続しているコントローラーのIDを設定します。(選択肢:0~63)	★1
チャンネル	設定するカメラのチャンネルを指定します。	
カメラ	接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。	
スピード	通信速度を設定します。(選択肢:2400/4800/9600/14400/19200)	
ID	接続しているカメラのIDを設定します。(選択肢:0~63)	

※PTZカメラの詳しい操作方法はご利用のカメラ機の取扱説明書をご参照ください。

★1:コントローラを接続しない場合は設定不要です。

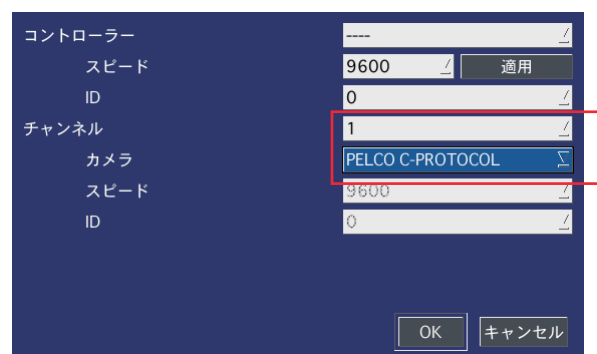
2.5.2.2 CoC機能の設定

CoC機能とはレコーダ操作にて直接カメラのOSDメニューを操作する機能です。

※下記の弊社カメラ機器をご使用の際、操作できる機能です。

- ・JS-CA10xxシリーズ
- ・JS-CA11xxシリーズ
- ・PF-AHD80xシリーズ
- ・PF-AHD3xxxシリーズ

① コントローラー & PTZ設定メニューの「チャンネル」項目に移動し、接続しているカメラで、CoC機能を使用するチャンネルを選択します。

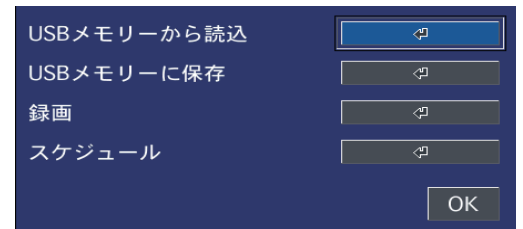


② 接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。弊社カメラ機器JS-CA10xxシリーズの場合は【PELCO C-PROTOCOL】を選択します。

※操作方法是5.PTZカメラ、コントローラーの操作をご参照ください。

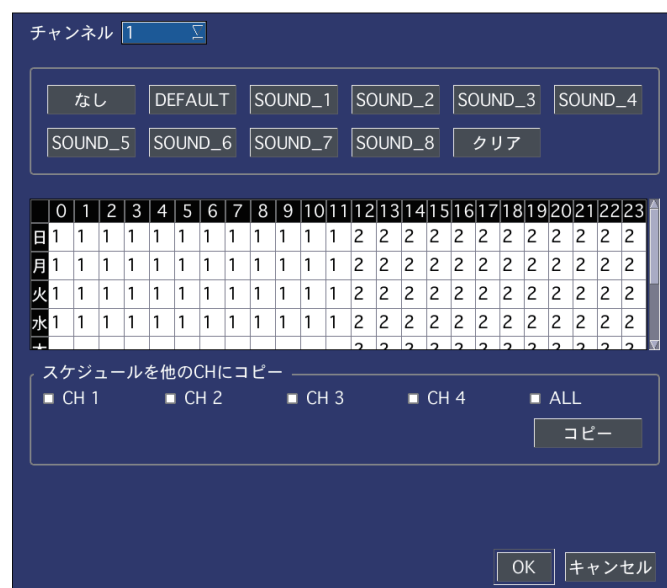
2.5.3 音声案内

デバイス設定メニューの「音声案内」タブの  ボタンをクリックします。



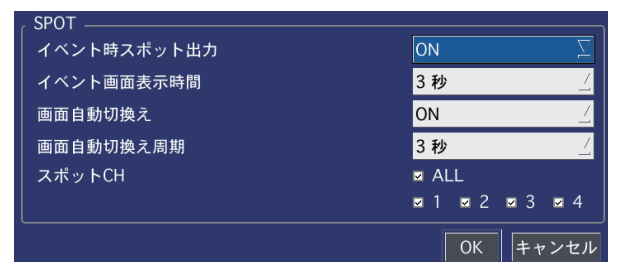
音声案内メニュー

名 前	説 明
USBメモリから読込	AUDIOファイルをUSBから読み込みます。
USBメモリに保存	AUDIOファイルをUSBメモリに保存します。
録画	録画した映像を保存します。
スケジュール	8つの音声ファイルを登録し、スケジュール設定ができます。



2.5.4 スポットモニター設定

使用するには、画面表示メニューの【SUB MONITOR OUTPUT】をSPOTに切り替える必要があります。

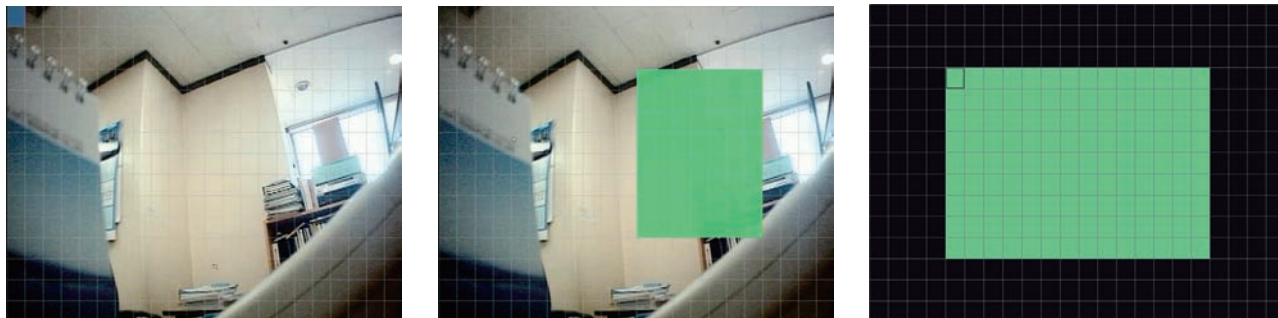


スポットモニター設定メニュー

名 前	説 明
イベント時スポット出力	イベント発生時にスポット出力を使用するか設定します。(選択肢:ON/OFF)
イベント画面表示時間	イベント発生時の画面表示時間を設定します。(選択肢3～10秒)
画面自動切換	画面自動切換を使用するか設定します。(選択肢:ON/OFF)
画面自動切換周期	画面自動切換周期を設定します。(選択肢:3～10秒)
スポットCH	画面自動切換で表示するチャンネルを設定します。

2.5.5 モーションの範囲設定

- ① デバイス設定画面のモーション領域で「検出枠」を選び  ボタンを押すと、モーション検出枠の設定画面が表示されます。



- ② コントロールボタン(▲▼◀▶)でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、前面パネルの「決定」ボタンまたはリモコンの「SEL」ボタンを押すか、マウスでクリックしながらモーション範囲を設定します。モーション検出の範囲に指定された枠は緑色の斜線にて表示します。
- ③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。
- ④ 設定が終了したら、リモコンの【ESC】ボタン、前面パネルの「戻る」を押すか、マウスを右クリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

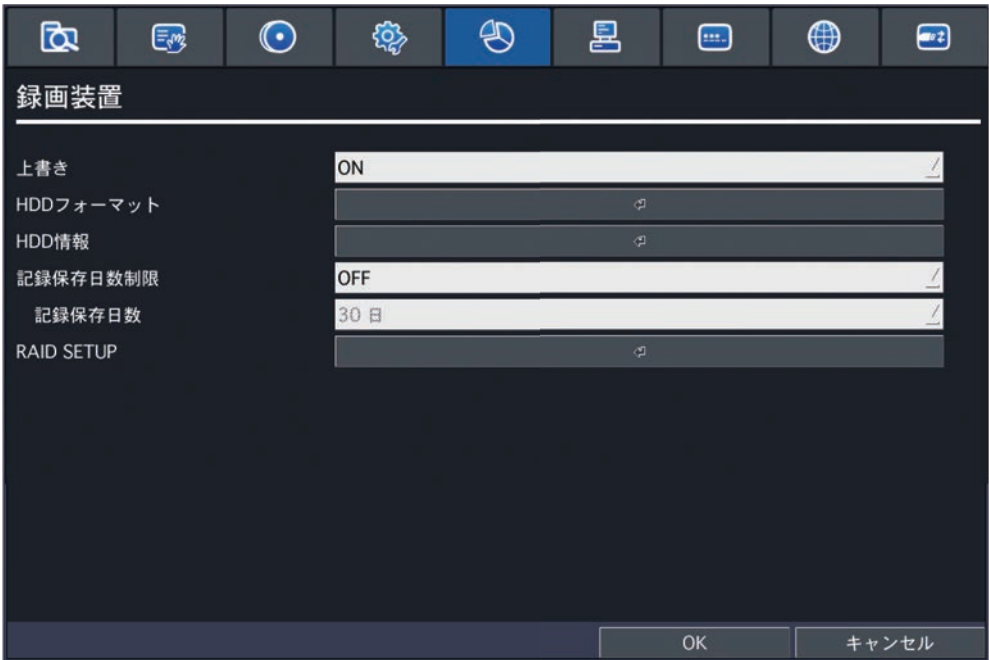
※このメニューはIPカメラには関係ありません。

2.5.6 リモコンIDの操作

- ① デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。0に設定するとライブ画面の右下に  のアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。
- ② 【ESC】ボタンを繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを0以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の  のアイコンが消え、IDが設定されていないリモコンでは操作できなくなります。
- ③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。リモコンにIDが設定されます。
- ④ 本機とリモコンに設定したIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

2.6 設定 — 録画装置

設定メニューで録画装置タブを選択します。メニュー項目をサーチするにはマウスまたはリモコンを使って設定できます。以前の設定メニュー画面に戻るにはリモコンの【ESC】ボタンまたは「キャンセル」をクリックしてください。



録画装置メニュー

名 前	説 明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、上書き録画をする/しないを設定します。 (選択肢:ON/OFF) 「ON」に設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると、古い映像を削除し、削除した場所に上書きしながら録画を続けます。 「OFF」に設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると、録画を停止します。
HDDフォーマット	内蔵のハードディスクを初期化します。  ボタンを押すと、下記フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、レコーダが再起動します。 ※すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。 警告： HDDをフォーマットしますか？ 「はい」を選択すると、システムが再起動し、HDDからデータが削除されます。 フォーマットには、数分かかることがあります。 データを失いたくない場合は、「いいえ」を選択してください。 はい いいえ

録画装置メニュー

名 前

説 明

HDD情報

ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量、HDDの録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間の状態が確認できます。

HDDの容量: 435 GB (残り: 395 GB)
HDD記録開始日時: 2013/07/05 11:13:00
HDD最終記録日時: 2013/07/12 15:24:00

	モデル名	温度	通電時間	状態 (GOOD/NORMAL/BAD)
HDD 1	TOSHIBA DT01ACA050	37 C (98 F)	5 日 6 時間	GOOD
HDD 2				
HDD 3				
HDD 4				
HDD 5				
HDD 6				
HDD 7				
HDD 8				

OK 詳細

詳細ボタンをクリックすると、代替処理セクター、現在保留中のセクター、代替処理不能セクター、スピンドライセクターが確認できます。ヘルプボタンをクリックすると、これらの説明が表示されます。

	代替処理セクター	現在保留中のセクター	代替処理不能セクター	Spin Retry Count
HDD 1	0	0	0	0
HDD 2				
HDD 3				
HDD 4				

OK ヘルプ

【代替処理セクター】
代替処理領域に伝送された不良セクター。
このセクターの数が増えると、読み取り/書き込みの速度が落ちてきます。

【現在保留中のセクター】
読み取りエラーのため、代替処理を待っている状態のセクター。

【代替処理不能セクター】
読み取り/書き込みの時に、代替処理不能になったセクター。
このセクターの数が増えると、ディスク表面の傷や、サブシステムの機械的な問題が発生したことを意味します。

【スピンドライ回数】
スピンドライ開始をリトライした回数。
この回数が増えると、ディスクの機械的なサブシステムに問題が発生したことを意味します。

OK

記録保存日数制限

録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢: ON/OFF)

記録保存日数

「記録保存日数制限」設定がONの場合、録画記録を保存する日数を設定します。
(設定範囲: 1~90日)

ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番に削除されます。

RAID SETUP

RAIDを構成します。

RAID構成を変更する場合、HDDのデータはフォーマットされます。

RAID SETUP

GROUP

☒ OFF ☐ RAID1/10

RAID構成を変更するとHDDのすべてのデータが削除されます。

OK キャンセル

2.7 設定 — システム

レコーダのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタンまたは「キャンセル」をクリックしてください。



システムメニュー

名 前	説 明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有のIDを付けることができます。 ボタンを押し、文字表でDVR IDを入力します。IDは最大12ケタまで設定可能です。
システム情報	ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン、HDD容量、IPアドレス、MACアドレス、DDNSステータスなどが確認できます。
言語	OSDメニューの表示言語を選択します。マウスまたは前面パネルの方向ボタンを使って言語を選択した後、確認ボタンを押して表示言語を変更します。(約20カ国語に対応)
日付の形式	マウスまたは前面パネルの方向ボタンを使用し、日付表示形式を設定します。 (年/月/日、月/日/年、日/月/年、年-月-日、月-日-年、日-月-年)
日時設定	ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。 時間帯を設定します。日本国内で使用する場合は、「GMT+9:00 (Seoul/Tokyo)」に設定してください。サマータイムを設定します。(選択肢: OFF/USA/EU/その他) ※サマータイムは日本では使用しません。「OFF」に設定してください。 「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。年/月/日/時/分/秒を設定し、「OK」ボタンを押します。変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。「はい」を選択すると、レコーダが再起動し、変更した日時が適用されています。 ※従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生する場合があります。

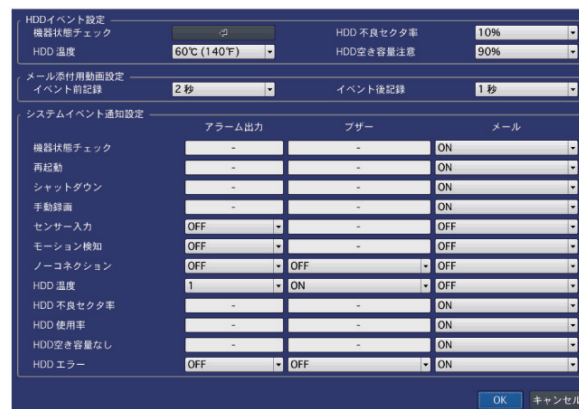


注意
サマータイムについて
23時開始時間を設定しないでください。
開始および終了日付が同じ場合、サマータイムは適用できません。

システムメニュー

名 前	説 明
クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部のPCからレコーダへ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
NTP	インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、 ボタンを押すと、NTPの設定ができます。 ※詳細は「2.7.1. NTP設定」をご参照ください。  注意：NTPサーバーの時間より本機のシステム時間が早い場合は録画データを保存する為NTP同期は実行されません。 この場合はNTPをOFFにして手動でNTPサーバーの時間より遅い時間を設定した後にNTPをONにしてください。 例) システム時間: Mon Oct 10 3:46:49 2011 NTPサーバー時間: Mon Oct 10 13:33:12 2011
メール送信	レコーダからメールを送信する機能です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、 ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。 ※詳細は「2.7.2. メール送信設定」をご参照ください。
システム再起動	レコーダを再起動します。
システムイベント通知	機器状態チェック:周期的にメール送信を選択(期間:毎日、毎週、毎月選択)

ハイブリッド設定



システムイベント通知設定	アラーム出力	ブザー	メール
機器状態チェック	-	-	ON
再起動	-	-	ON
シャットダウン	-	-	ON
手動録画	-	-	ON
センサー入力	OFF	-	OFF
モーション検知	OFF	-	OFF
ノーコネクション	OFF	OFF	OFF
HDD 温度	1	ON	OFF
HDD 不良セクタ率	-	-	ON
HDD 使用率	-	-	ON
HDD 空き容量なし	-	-	ON
HDD エラー	OFF	OFF	ON



HDD不良セクタ率:ハードディスク不良セクター

HDD温度:ハードディスク温度

HDD空き容量注意:ハードディスク使用量

メール添付用動画設定

ーイベント前記録/イベント前の録画秒数(選択肢:1~5秒)

ーイベント後録画

機器情報チェック/再起動/シャットダウン/手動録画

ーレコーダの問題発生イベントにEメールお知らせ設定

(システム状態、再開、強制終了、保存問題)

ーセンサー入力:センサー感知時のアラーム出力またはEメールお知らせ設定

ーモーション検知:モーション感知時、アラーム出力またはEメールお知らせ設定

ーノーコネクション:映像信号問題時、アラーム出力、ブザー、Eメールお知らせ設定

ーHDD 温度:HDD温度異常時、ブザー、Eメールお知らせ設定

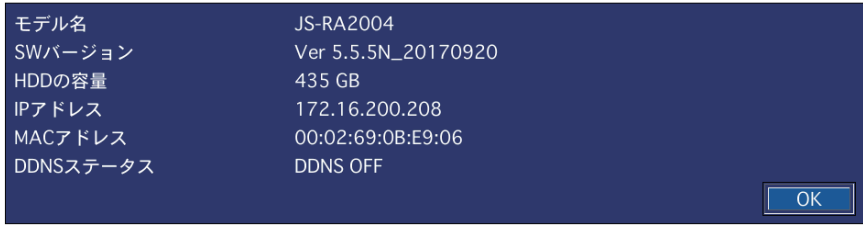
ーHDD 不良セクタ率:HDD エラー区間発生時、Eメールお知らせ設定

ーHDD使用率:HDD容量がほぼ一杯の時、Eメールお知らせ設定

ーHDD 空き容量なし:HDD容量が一杯の時、Eメールお知らせ設定

ーHDD エラー:HDD認識エラー時、アラーム出力、ブザー音、Eメールお知らせ設定

システムメニュー

名 前	説 明
ハイブリッド設定	HDDのハイブリッド設定します。 

2.7.1 NTP設定

ネットワーク上のNTPサーバーに接続し、レコーダの時計を標準時刻に同期することができます。

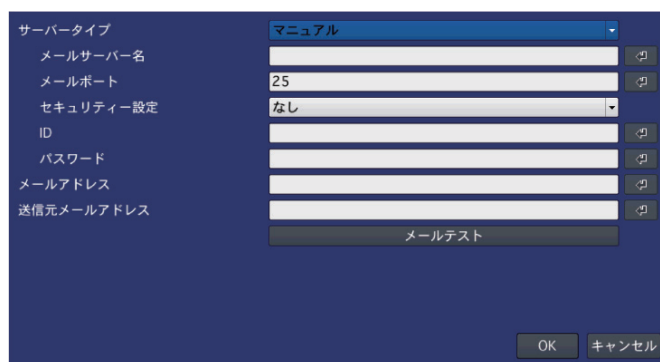


NTP設定メニュー

名 前	説 明
NTPサーバーアドレス1	同期をあわせるために接続するNTPサーバーを指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。 ① 日本国内で使用する場合は、下記のサーバーを推奨致します。 「ntp.jst.mfeed.ad.jp」
NTPサーバーアドレス2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲: GMT-12:00～+13:00) 日本国内では、「GMT+9:00 (seoul/tokyo)」を選択してください。
接続モード	NTP同期を行う周期を選択します。(選択肢: 周期指定/時刻指定/一回)
接続周期・時刻	NTP同期を行う周期あるいは時刻を設定します。 (接続モードが時刻指定時の選択肢: 01:00AM～12:00AM) (接続モードが周期指定時の選択肢: 1～24 時間ごとに) (接続モードが一回の選択肢: 選択不可) ※設定時のみNTP 時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「周期指定」、接続周期・時刻が「15時間ごとに」に設定 設定してから3時間ごとにNTP時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「時刻指定」、接続周期・時刻が「03:00PM」に設定 毎日15時(午後3時)にNTP時刻合わせを行います。

2.7.2 メール送信設定

レコーダからメールを送信するための設定を行います。

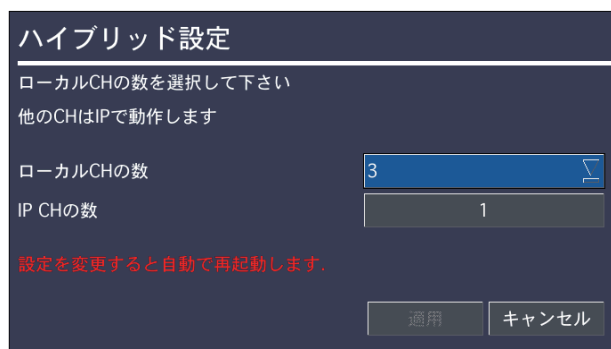


メール送信設定メニュー

名 前	説 明
サーバータイプ	GMAIL、HOTMAIL、AOL、YAHOO or マニュアル
メールサーバー名	メールの送信元のサーバーを指定します。 [🔍] ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
メールポート	指定されたメールポート番号入力します。
セキュリティ設定	セキュリティメールサーバー接続方法設定 (SSL or TLS)
ID	メールサーバーに接続するユーザーのIDを設定します。 [🔍] ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、IDを入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。 [🔍] ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
メールアドレス	メールの送信先を指定します。 [🔍] ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。 [🔍] ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。
メールテスト	Eメール登録されたアカウントにテストメールを送信。

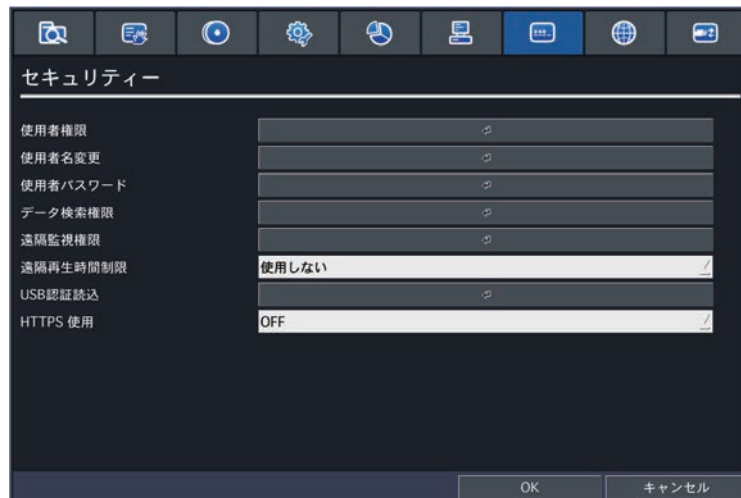
2.7.3 ハイブリッド設定

ローカルCHの数やIP CHの数を設定します。



2.8 設定 — セキュリティー

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタンまたは「キャンセル」をクリックしてください。

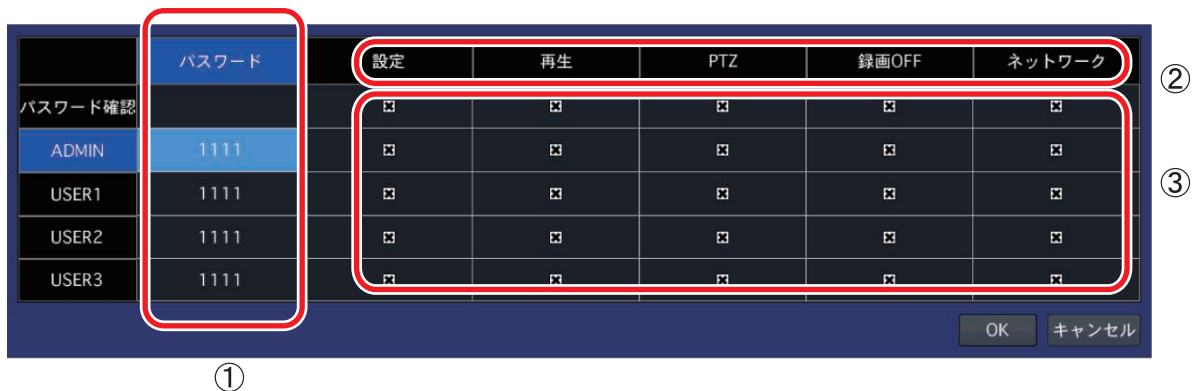


セキュリティーメニュー

名 前	説 明
使用者権限	 ボタンを押すと、使用者権限設定メニューが表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「2.8.1 使用者権限設定」をご参照ください。
使用者名変更	 ボタンを押すと、使用者名変更メニューが表示され、USER1、USER2、USER3をご希望の名前に修正することができます。
使用者パスワード	 ボタンを押すと、使用者パスワード設定メニューが表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※ 詳細は「2.8.2 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	 ボタンを押すと、録画データを再生できるチャンネルをユーザーごとに設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「2.8.3 データ検索権限設定」をご参照ください。
遠隔監視権限	 ボタンを押すと、ネットワーク上でアクセスできるチャンネルをユーザーごとに設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「2.8.4 ネットワークアクセス権限設定」をご参照ください。
遠隔再生時間制限	ネットワーク経由で録画映像を再生する時の、再生時間を制限する機能です。再生を開始した後、設定した時間が経過するとネットワーク接続が切断されます。 (設定値:使用しない/5分/10分/15分/30分/60分)
USB認証読込	HTTPSを使用するためのWeb Setupから認定証 (SSL Certificate) をレコーダに入れるための機能です。 ※USBメモリが必要。
HTTPS使用	HTTPSを使用を設定できます。

2.8.1 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

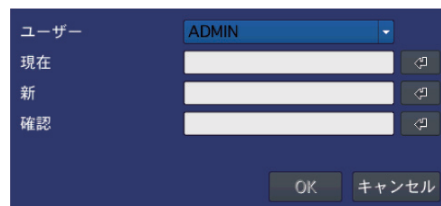


使用者権限設定メニュー

名 前	説 明
①パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
②パスワード確認	設定/再生/PTZ/録画OFF/ネットワークを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができます。
③アクセス権限	設定/再生/PTZ/録画OFF/ネットワークの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。

2.8.2 使用者パスワード設定

各ユーザーのパスワードが変更できます。



使用者パスワード設定メニュー

名 前	説 明
ユーザー	パスワードを設定・変更したい使用者を選択します。 (選択肢: ADMIN(管理者) / USER1 / USER2 / USER3)
現在	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は1111です。
新	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。変更したいパスワードを入力します。
確認	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。上記の「新」で入力した変更したいパスワードをもう一度入力します。

2.8.3 データ検索権限設定

使用者ごとに各チャンネルを再生できる権限を設定します。



データ検索権限設定メニュー

名 前	説 明
① 使用者	データ検索権限を設定する使用者を選択します。
② アクセスチャンネル	データ検索権限を設定するチャンネルを選択します。
③ 再生権限	各チャンネルのデータについて、各使用者の再生権限を設定します。チェックをはずされた使用者は、該当チャンネルの再生画面を見ることができません。

2.8.4 ネットワークアクセス権限設定

使用者ごとにネットワーク上でアクセスできる権限を設定します。



ネットワーク権限設定メニュー

名 前	説 明
① 使用者	ネットワーク上でアクセスできる使用者を選択します。
② アクセスチャンネル	ネットワーク上でアクセスできるカメラチャンネルです。
③ アクセス権限	各チャンネルにアクセスできる各使用者の権限を設定します。 チェックをはずされた使用者は、該当チャンネルを見ることができません。 ※ADMINは変更できません。

2.9 設定 — ネットワーク

ネットワークの設定をします。メニュー項目を表示するにはマウスまたはリモコンを使って設定をできます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタンまたは「キャンセル」をクリックしてください。

ネットワーク	
ポート番号	5445
ネットワークオーディオポート	5446
WEBポート	80 443
ネットワークタイプ	DHCP
IPアドレス	172.16.200.208
サブネットマスク	255.255.0.0
ゲートウェイ	172.16.1.254
DNS (第1)	203.248.252.2
DNS (第2)	164.124.101.2
DDNS	OFF
ネットワークストリーム	
プッシュイベント	

ネットワークメニュー

名 前	説 明
ポート番号	 ボタンを押すと表示される入力画面で、固有のネットワークポート番号を入力します。(初期値:5445) ルータなどを使用し、使用者のネットワーク内に複数のレコーダが存在する時、各レコーダに固有のポート番号を指定することで外部ネットワークからの接続が可能になります。
ネットワークオーディオポート	オーディオ用のネットワークポートです。ポート番号を入力すると、自動で+1の番号が入力されます。
WEBポート	 ボタンを押すと表示される入力画面で、パソコンのウェブブラウザから接続するためのポート番号を入力します。(初期値:80)
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢:固定/DHCP) IP手動入力を使用する場合は「固定」、IP自動割当を使用する場合は「DHCP」をしてください。
IPアドレス	レコーダのIPアドレスを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
ゲートウェイ	ゲートウェイを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
DDNS	ネットワークを通じてレコーダにアクセスする時、IPアドレスではなくドメイン名で接続する場合は、DDNSサーバーに登録し、DDNSサービスを利用することができます。(選択肢:OFF/サーバー1~4) ※詳細は「2.9.3 DDNSサーバーの設定」をご参照ください。
ネットワークストリーム	ネットワークを通じて外部のPCへ伝送するデータの解像度やフレームレート、画質をチャンネルごとに設定します。
プッシュイベント	センサー、モーション、などのイベントが発生する場合SMART PHONEに知らせる設定をします。

2.9.1 ポート番号

ネットワークに接続時、内部的に使われる複数の通信プロトコル間の衝突を避けるために定義しておくそれぞれの内部通信ポート番号です。

基本ポート	説明
5445	遠隔バックアップおよびライブ/再生ストリーミング:ネットワーク ビデオ ポート
5445 + 1	両方向オーディオ:ネットワーク-> ネットワーク オーディオ ポート
80	WEBビューアーおよび遠隔ファームウェアのアップグレード:ネットワークウェブ ポート

2.9.2 ネットワークタイプ

ご使用のネットワークに合わせたIPアドレスを設定してください。

タイプ	説明
DHCP	DHCPサーバーでDVRに自動でIPアドレスを割り当てます。
固定(手動設定)	IPアドレスを手動で割り付けます。設定するIPアドレスはネットワーク管理者と相談して決定してください。

注意: DNSアドレスを正しく設定しないとEメール機能とDDNS等は正しく作動しません。

2.9.3 DDNSサーバーの設定

DDNSサーバーに登録したドメイン名で外部PCからアクセスすることができます。

※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しいため、サポート対象外となります。

2.9.3.1 bestddns.comを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー1」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。



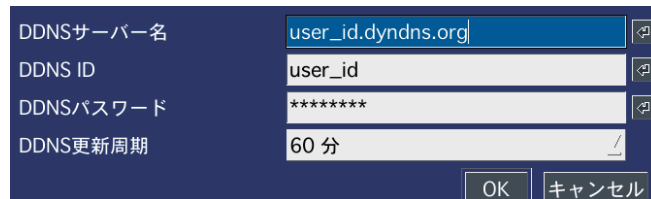
DDNSサーバー1の設定メニュー

名前	説明
DDNSサーバー名	DDNSサーバー名を選択します。日本地域では、「bestddns.com」を選択してください。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲:5~60分)

2.9.3.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合

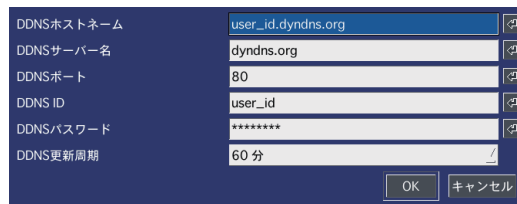
「DDNS」項目に「サーバー2もしくはサーバー4」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

※「DynDNS」は、海外のDDNSサービスですが無料で提供していたサービスを廃止し、全て有料化に移行しています。登録の際はご注意ください。



DDNSサーバー2の設定メニュー

名 前	説 明
DDNSサーバー名	 ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：5～60分)

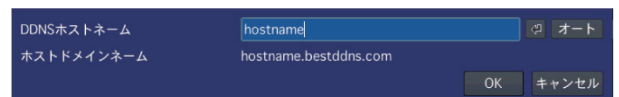


DDNSサーバー4の設定メニュー

名 前	説 明
DDNSホストネーム	 ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSホストメールを入力します。
DDNSサーバー名	 ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNSポート	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するポートを入力します。
DDNS ID	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：5～60分)

2.9.3.3 ホストネームを直接入力したり自動登録する場合

「DDNS」項目に「サーバー3」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。ホストネームを直接入力したり自動登録ができます。



DDNSサーバー3の設定メニュー

名 前	説 明
DDNSホストネーム	 ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSホストネームを入力します。 【オート】を選択するとMACアドレスにて登録します。
ホストドメインネーム	DDNSホストネームにて登録したアドレスを表示します。

2.9.4 ネットワークストリームの設定

ストリーミング時の下位項目(解像度、録画フレーム、画質)をチャンネルごとに設定します。

	NET RESOLUTION	フレームレート	画質
ALL	---	---	---
1	640x360	30 FPS	最高画質
2	640x360	30 FPS	最高画質
3	640x360	30 FPS	最高画質
4	---	---	---

OK キャンセル

ネットワークストリームのメニュー

名 前	説 明
NET RESOLUTION	ネットワークストリーミングの解像度を設定します。(選択肢:640×360、320×180)
フレームレート	ネットワークストリーミングのフレームレートを設定します。(選択肢:1～30)
画質	ネットワークストリーミングの画質を選択します。 (選択肢:ネットワーク画質 / 標準画質 / 中画質 / 高画質 / 最高画質)

2.9.5 プッシュイベントの設定

プッシュイベント

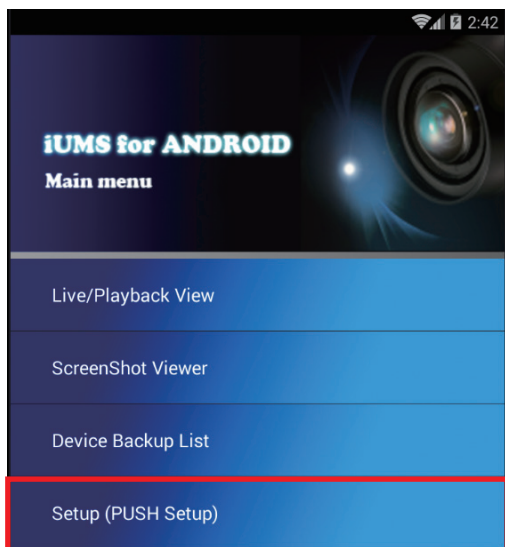
電話識別番号	プッシュサービス	イベント種類
00000000	OFF	■ センサー入力
00000000	OFF	■ モーション感知
00000000	OFF	■ 火災警報感知
00000000	OFF	■ 人感知

OK キャンセル

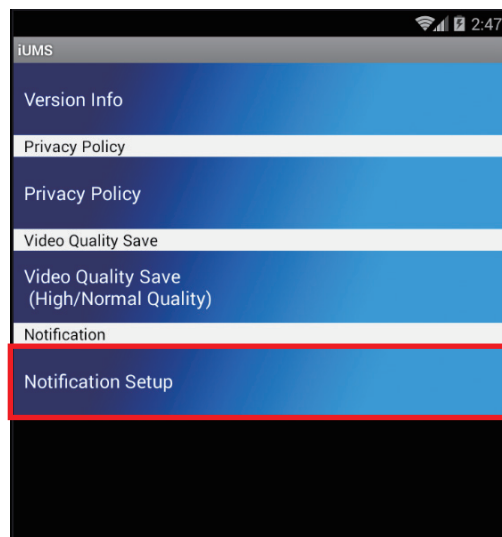
プッシュイベントのメニュー

名 前	説 明
電話識別番号	スマートフォンで表示された数を入力します。4台まで登録できます。
プッシュサービス	登録されたスマートフォンでPUSH EVENT実行を設定できます。(選択肢:ON/OFF)
イベント種類	センサー入力:センサーイベントを発信します。 モーション感知:モーションイベントを発信します。 火災警報感知:火災イベントを発信します。

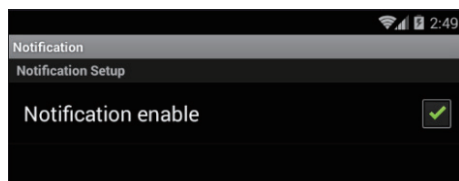
2.9.5.1 PUSH EVENT



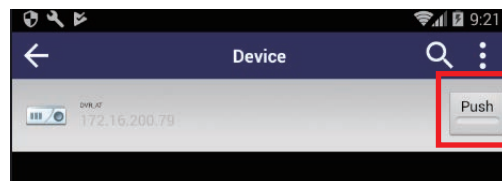
① iUMS立ち上げてSetup (PUSH Setup)



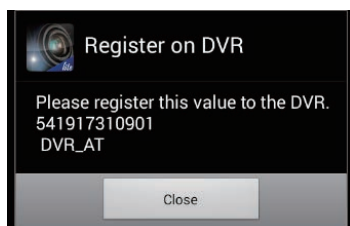
② Notification Setup をクリックします。



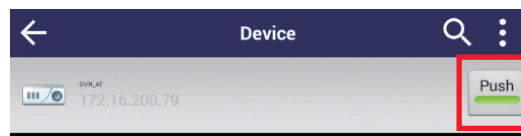
③ PUSH EVENT対象にするレコーダを登録します。
Device Name、IP/DNS Address、Port、User Name、
Passwordを入力し入力先を登録します。(既存と同じ)



④ 登録を完了してPushをクリックし、
レコーダをスマートフォンに登録します。



⑤ レコーダのNetwork -> PUSH EVENTにて
スマートフォンに表示された数を入力します。



⑥ レコーダで登録への成功すると
PUSHアイコンが緑になります。

2.10 設定 — 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンの【ESC】ボタン、または「キャンセル」をクリックしてください。



設定管理メニュー

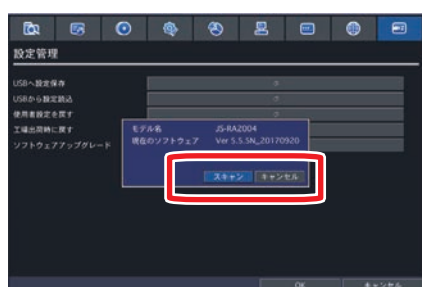
名 前	説 明
USBへ設定保存	現在のレコーダの設定値をUSBメモリに保存します。USBメモリをレコーダのUSB端子に接続し、  ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリに「config」とその下層に新しいフォルダが生成され、レコーダの設定値がcfg形式で保存されます。
USBから設定読込	USBメモリに保存した設定値をレコーダに呼び出します。USBメモリをレコーダのUSB端子に接続し、  ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリの中のconfigフォルダに保存されている設定値を読み取り、レコーダの設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	使用者設定を初期化します。但し、言語・レコーダのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS設定・ネットワーク設定・HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は維持されます。  ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、レコーダが再起動し、設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時に戻します。  ボタンを押し表示される選択画面で「はい」を選択すると、レコーダが再起動し、設定値が初期化されます。
ソフトウェア アップグレード	レコーダのソフトウェア(ファームウェア)のバージョンアップをおこないます。 ※詳細は「2.10.1 ソフトウェアアップグレード」をご参照ください。

2.10.1 ソフトウェアアップグレード

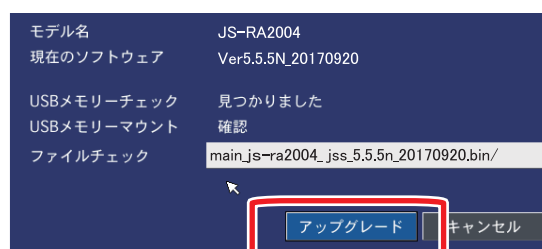
- ① USBメモリに【Upgrade】という新しいフォルダを作成します。
- ② 【Upgrade】フォルダー内に新しいソフトウェアをコピーします。
- ③ 本機に新しいソフトウェアを入れたUSBメモリを接続します。

USBメモリを接続したら下図の手順に従ってアップグレードを行います。

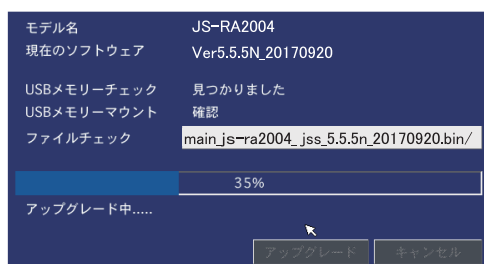
- 〔1〕 設定管理 を選択します。【ソフトウェアアップグレード】の  ボタンを押します。ダイアログボックスの【スキャン】を押します。



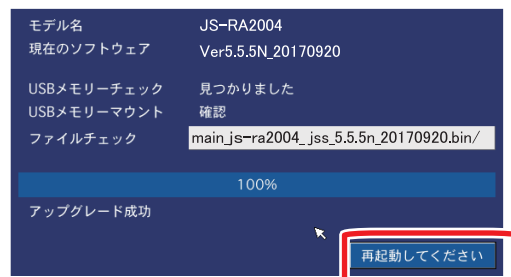
- 〔2〕 下記のような画面が表示されます。新しいソフトウェアを選択し【アップグレード】を押します。



- 〔3〕 アップグレードが開始されます。



- 〔4〕 アップグレードが成功したらシステムを再起動させます。



※本図の内容はイメージです。



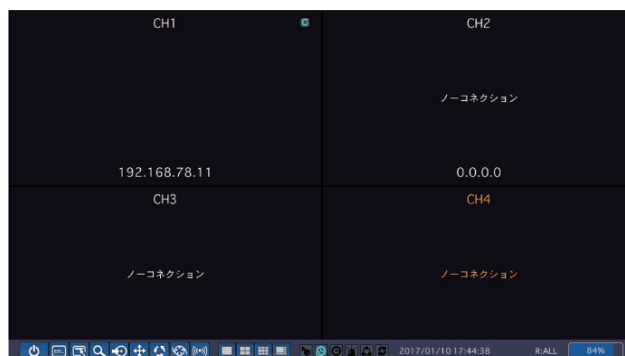
1. ソフトウェアのアップグレード中は絶対に電源を切らないでください。ソフトウェアのアップグレード中に電源が切れた場合は本機が使用できなくなる可能性があります。
2. アップグレードしたソフトウェアは本機を再起動させないと適用しません。
3. USBが接続された状態で再起動する場合、下記のような警告メッセージが表示されます。
4. USBを本機から取り外し【確認】を選択し再起動をしてください。



3. ライブ監視

3.1 ライブ画面の説明

最初に電源を入れた後、レコーダが起動すると下図のような画面が出ます。各チャンネルにカメラが接続されていれば画面には該当カメラ画面が出力されます。画面には現在製品の時間、各チャンネル別の録画オプション、ネットワーク接続状態などについてのアイコンが出ます。(マウスまたはリモコンによるメニューの設定も可能です)



ライブ画面メニューおよびアイコン説明

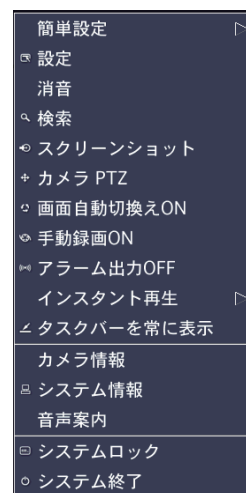
名 前	説 明
	電源:レコーダの電源をON/OFFします。
	システムロック:レコーダの操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコンなどによる操作ができなくなります。ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定:設定メニューに入ります。 ※設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
	検索:検索メニューに入ります。 ※検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
	バックアップ:ライブ画像の静止画をUSBメモリーにバックアップします。 バックアップの前に、USBポートにUSBメモリーを接続してください。
	PTZカメラ制御:カメラ制御メニューにします。
	画面自動切替え:画面自動切換え動作を開始/中止します。この機能は、1画面表示状態で動作します。
	手動録画:手動録画を開始/中止します。手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
	アラーム出力:アラーム出力機能をON/OFFすることができます。
	分割画面: 選択したチャンネルをフルスクリーンまたは分割画面に切り替わります。
2013/05/29 10:21:13	現在の日付と時間を表示します。
R:ALL	リモコン制御ID:リモコン制御IDがない場合(R:ALL)と表示されます。
15%	ハードディスクの使用容量を表示します。(0～99 %)

ライブ画面メニューおよびアイコン説明

名 前	説 明
	システムロックの状態を表示します。システムロック中は明るく表示されます。
	アラーム出力ボタンでアラーム出力をON/OFFできます。実行する場合アイコンが表示されます。
	アラーム出力状態の時、ライブ画面上にアイコンが表示されます。
	音声の出力状態を表示します。消音/1CH音声出力状態(オーディオ入力中の該当チャンネルが表示される)
	イベント発生(モーション、センサーなど)に伴うイベント発生時アイコン表示されます。
	SEQボタンによる画面切り替え機能が実行/中止アイコンが表示されます。
	ネットワーククライアントがNVRに接続されていることを示します。
	常時録画中の時、ライブ画面上に表示される/連続録画。
	すべての録画(イベント録画)を無視し手動録画を行う場合、ライブ画面上に表示されます。
	モーション感知による録画中の時、ライブ画面上に表示されます。
	センサー感知による録画中の時、ライブ画面上に表示されます。
	アラーム設定に伴うイベント発生時、イベントレコーディング表示とともに画面に出力されます。

3.2 ポップアップメニュー

最初に電源を入れた後、レコーダが起動すると下図のような画面が出ます。各チャンネルにカメラが接続されていれば画面には該当カメラ画面が出力されます。画面には現在製品の時間、各チャンネル別の録画オプション、ネットワーク接続状態などについてのアイコンが出ます。(マウスまたはリモコンによるメニューの設定も可能です)



ポップアップメニュー

名 前	説 明
簡単設定	カーソルを合わせ、「ネットワーク設定」か「IPカメラ設定」を選択します。
設定	クリックすると設定メニューに入ります。 ※設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
消音	すべてのチャンネルの音声をミュートします。
検索	クリックすると検索メニューに入ります。 ※検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
スクリーンショット	ライブ画面のスクリーンショットをします。
カメラPTZ	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※PTZメニューの説明は「5. PTZカメラ & コントローラの操作」をご参照ください。
画面自動切換えON	画面自動切換え動作を開始/中止します。この機能は1画面表示状態で動作します。
手動録画ON	手動録画を開始/中止します。手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力OFF	アラーム出力機能をON/OFFします。
インスタント再生	選択されたチャンネルの録画映像を10秒、20秒、30秒、60秒前から再生します。
タスクバーを常に表示	クリックするごとに、ライブ画面の下部のタスクバーの自動隠し機能が設定/解除されます。
タスクバーを自動隠し	タスクバーを常に表示させると表示が反転し「タスクバーの自動隠し」の表示になります。
カメラ情報	選択されたチャンネルのカメラ情報を表示します。
システム情報	システムの情報を表示します。 ※システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。
システム終了	システムを終了します。

4. 検索と再生

4.1 検索メニューの基本操作

4.1.1 検索画面に入るには

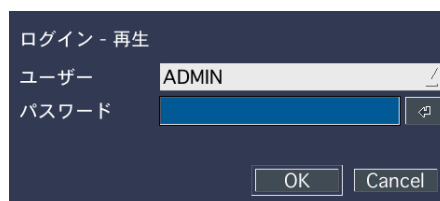
検索画面に入るには下記の方法があります。

- ① 前面パネルの「再生」かリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
- ② メイン画面の下部のタスクバーからアイコンをクリックします。
- ③ メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。

ログイン画面が表示され、パスワードを入力すると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

4.2 検索画面

「4.1.1 検索画面に入るには」の方法を確認しログインしてください。



【パスワードを入力してください。（初期パスワード：1111）】

設定されたパスワードを入力すると検索メインメニューに入ります。

検索メニューは、クイックサーチ、MOTION SEARCH、タイムライン検索、イベント検索、先頭映像検索、最終映像検索、日時指定検索、キャプチャーリスト、ログのメニューで構成されています。

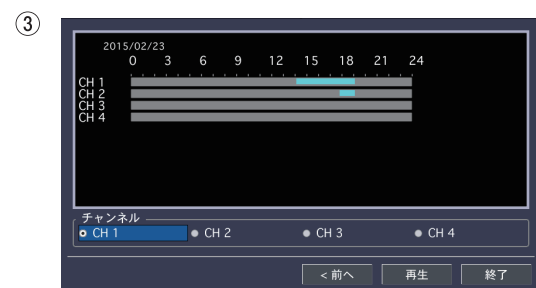
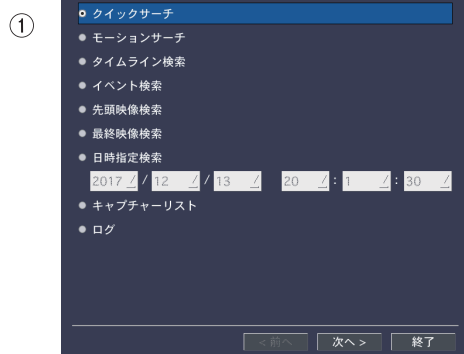
4.3 クイックサーチ

検索しやすいようサムネイルがリスト表示されます。時間、分、秒を選択し検索結果を絞りこみます。

操作方法

- ① 検索メニューで「クイックサーチ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
- ② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
- ③ 検索画面で、チャンネルを選択し、「再生」をクリックします。
- ④ 録画された映像がサムネイル表示されます。
- ⑤ 目的のサムネイルをダブルクリックし、時間、分、秒と決定していきます。絞り込むと録画映像が再生されます。

※詳しくは「4.12 再生時の操作」をご参照ください。



4.4 モーションサーチ検索

録画映像から部分的にエリアを選択し、選択したエリア内で動きがあった映像を抽出し、再生します。

操作方法

- ① 検索メニューで「MOTION SEARCH」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
- ② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠にて表示されています。
- ③ 再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
- ④ タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「NEXT」をクリックするとサーチ画面を表示します。



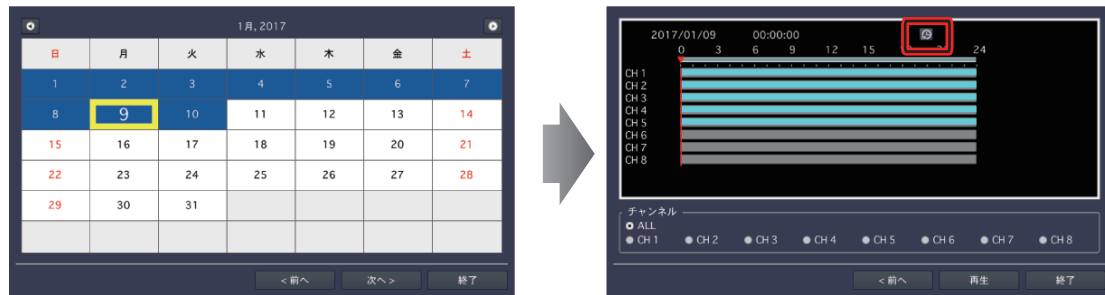
ポップアップメニュー

名 前	説 明
開始/終了	検索したい開始時間と終了時間を選択します。
ZONE	抽出する範囲を設定します。「PARTIAL」または「FULL」を選択します。 「PARTIAL」を選択すると  が有効になります。  を押すとエリアをドラッグすることができます。範囲に指定された枠は緑色の斜線にて表示します。エリアを選択した後、マウスの右クリックをすると選択範囲が消えます。
SENSITIVITY	感度を設定します。1～9の間で選択します。数字が大きいほど感度は高くなります。
周期指定	検索の周期を選択します。（選択肢：1秒/2秒/3秒/5秒/10秒）
EXPORT	検索した映像のバックアップをします。詳しくは「6.2 動画バックアップ」をご参照ください。
E-MAIL	登録しているメールアドレスに動画を送ります。スマートフォンの場合、データが大きいので再生は出来ません。

- ⑤ サーチメニューを設定し【検索】をクリックすると画面右側に抽出された日付と時間が表示されます。
- ⑥ 抽出された日付と時間をクリックし録画再生画面下の  押すと映像を再生します。

4.5 タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。



 タイムスケールの目盛りの単位を変更します。クリックするとタイムスケールの表示単位が24時間⇄60分に切り替えます。

操作方法

- ① 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
- ② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠にて表示されています。
- ③ 再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
- ④ タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

4.6 イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。

操作方法

- ① 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
- ② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠にて表示されています。
- ③ 再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
- ④ イベント検索画面で、チャンネルの  を押します。
- ⑤ 下記選択画面を表示するので、検索したいチャンネル、録画モードを選択し【OK】を押します。





検索画面メニュー

名 前	説 明
①検索条件	操作方法の選択画面にて選択したチャンネル・録画モードを表示します。
②ログ	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。
③ページ	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の時、 < > をクリックすると前/次のページを表示できます。
④バックアップ	検索されたログを、txt形式のファイルでUSBメモリーに保存します。USBポートにUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。
⑤再生	②のログリストを選択すると選択されたログを再生します。また、ログリストをダブルクリックすると再生が始まります。

4.7 先頭映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

4.8 最終映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている録画データから一番最新の3分間のデータの再生が始まります。

4.9 日時指定検索

使用者が特定時間および日付を選択して検索できます。マウスまたは方向ボタン(▲▼)を使って検索位置を指定した後、再生ボタンを押してください。

4.10 キャプチャーリスト

以前に保存された動画または静止画などを検索してバックアップできます。(ただし再生されません)

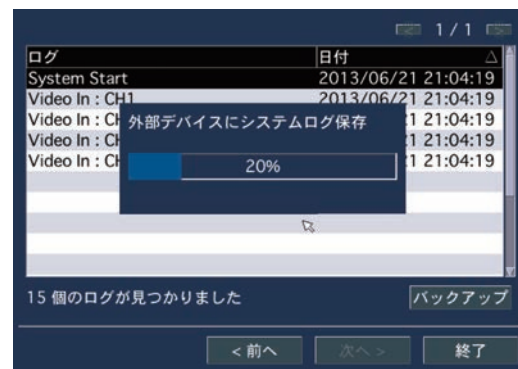


操作方法

- ① ブックマーク保管されている日付を選択します。
- ② ブックマーク保管メニューに選択した日付に作業したバックアップリストが出ます。
見たいデータを選択すると該当データの静止画が画面に出ます。
- ③ 映像が表示されればリモコンの「BACKUP」ボタンまたはメニューの「バックアップ」ボタンを押します。
- ④ ブックマーク保管メニューはライブまたは再生時、動画、静止画などをバックアップしたリストを保管するメニューで検索を中止するには【ESC】ボタンを押せば終了します。

4.11 ログ

システムの全般的な記録を保管および該当ログ記録をバックアップできます。



操作方法

システム記録を選択すると使用者はシステム記録が表示されたカレンダーを見られます。特定の日付を選択し次のボタンを押すとシステム記録が表示されます。システム記録をバックアップする場合「バックアップ」ボタンを押せばテキストファイル形式で保存されます。

4.12 再生時の操作

システムの全般的な記録を再生、保管および該当ログ記録をバックアップできます。下記の表示バーは自動で非表示になります。マウスのポインターを画面の下段に移動すると再び表示されます。



再生時の操作メニュー

名 前	説 明
	検索ウィンドウに戻る、又は前メニュー画面で終了。
	押すたびに巻き戻し倍速が変わり画面下段に表示されます。 ◀ (標準) → ◀◀ (1倍速) → ◀◀ (2倍速) → ◀◀ (4倍速) → ◀◀ (8倍速) → ◀◀ (16倍速) → ◀◀ (32倍速) ◀◀ が繰り返されます。
	再生位置の1分前に移動します。
	再生と停止を行います。
	再生位置の1分後に移動します。
	押すたびに早送り倍速が変わり画面下段に表示されます。 ▶ (標準) → ▶▶ (2倍速) → ▶▶ (4倍速) → ▶▶ (8倍速) → ▶▶ (16倍速) → ▶▶ (32倍速) → ▶▶ が繰り返されます。
	スロー再生をします。1/2→1/4繰り返します。
	再生画面の静止画および動画バックアップ。
	再生画面の表示方法を選択します。 ※製品の最大CH数によって、表示されないアイコンもあります。

注意: 倍速速度は表示している画面分割数によって速度が変動します。

5. PTZカメラ&コントローラの操作

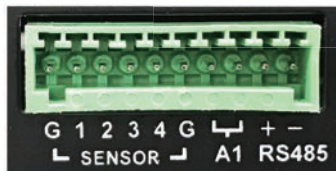
5.1 PTZカメラの基本操作

5.1.1 PTZカメラの接続

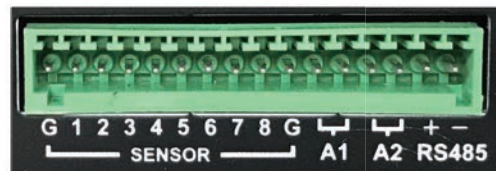
① RS-485対応のPTZカメラを、レコーダの背面パネルのRS-485ポート(+、-)に接続します。

② 「デバイス」メニューの「PTZ」項目で、PTZの設定を行います。

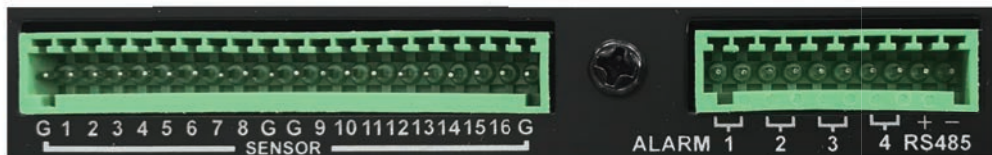
※詳細は「2.5.2 コントローラー & PTZの設定」をご参照ください。



JS-RA2004



JS-RA2008



JS-RA2016

5.1.2 PTZカメラ&コントローラの操作画面に入るには

操作画面に入るには、以下のような方法があります。

① メイン画面の下部のタスクバーから  のアイコンをクリックします。

メイン画面上にてマウスの右クリックをします。表示されるポップアップメニューから「カメラPTZ」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れるとPTZ操作画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入るときと同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

5.2 PTZ操作画面



PTZカメラ操作メニュー

名 前	説 明
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。操作前には必ず初期化してください。
パン/チルト	左右/上下ボタンを使って選択します。
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカスボタンを使って選択します。 上下ズームボタン/左右フォーカスボタンを使って調整します。
OSD表示	カメラOSDメニューを表示します。PTZカメラの設定方法については、各PTZカメラの取扱説明書を参照してください。
オートスキャン	機能を開始するにはコントロールボタンの右キー(▶)を押すと自動スキャン開始を押します。左キー(◀)を押すと停止します。
プリセット	プリセットボタンを押して「ON:」右側にある ◀ ボタンを押すと数字の入力ができます。番号入力後、◀ 下のある「設定の保存」ボタンを押すとプリセットポジションの登録ができます。 番号入力後、◀ 下「移動」ボタンを押すと、番号入力したプリセットポジションを呼び出す事ができます。
ツアー	「ツアー」ボタンを押し、「ON:」右側にある ◀ ボタンを押すと数字の入力ができます。
No:	プリセットおよびツアー番号が表示されます。メインメニューに戻るにはPTZ操作メニューの右上 ☒ ボタンを押すとウィンドウは閉じます。

6. バックアップ

6.1 静止画バックアップ

静止画バックアップはライブ画面およびデータ再生時すべて可能です。まず製品の前面USB端子にUSBメモリを接続します。

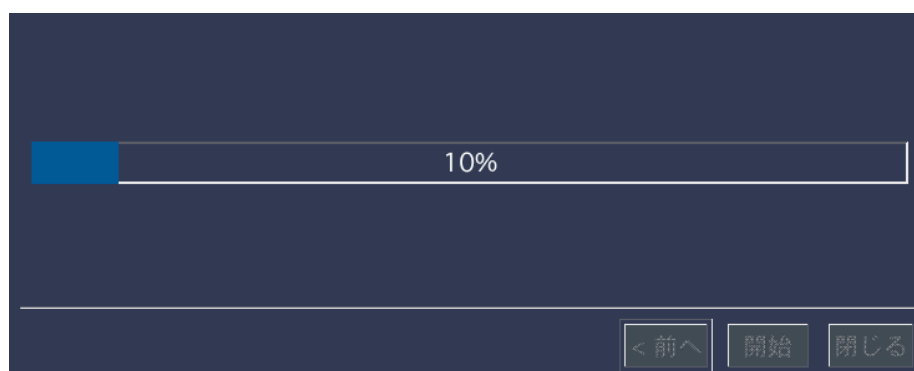
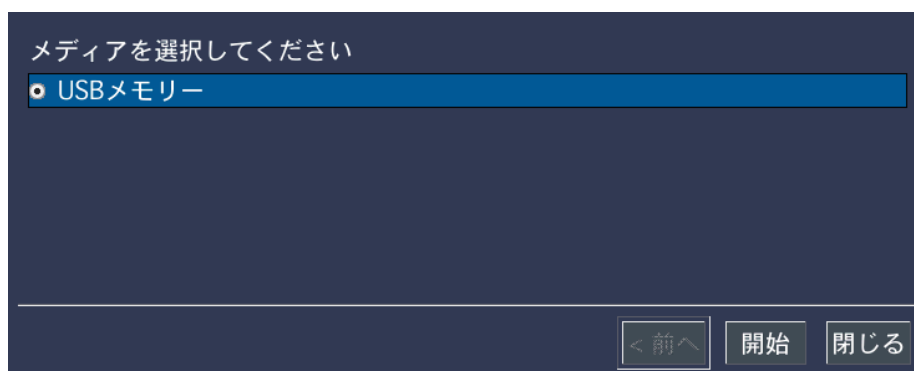
※USBメモリはFAT32フォーマットをしてからご使用ください。



- ① マウスを使用し、ライブ画面下の表示バーにある  ボタンを押します。
- ② 保存形式の選択画面が表示されるので静止画を選択します。

バックアップ順序

- ① 表示バーの  ボタンを押した後、保存形式を選択します。
- ② USBメモリを選択すると該当媒体にデータがバックアップされます。
ここで“[ESC]”ボタンを押して取り消しても後で検索メニューの“ブックマーク保管”メニューで再びバックアップが可能です

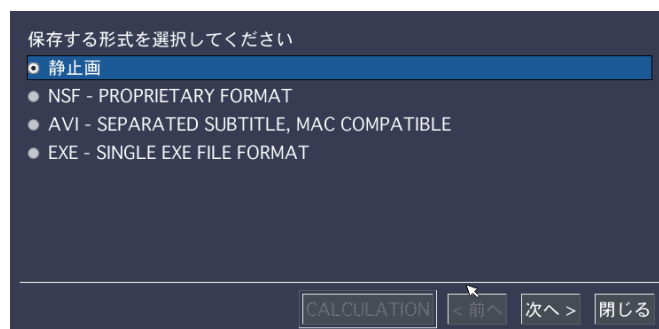


静止画バックアップ画面

6.2 動画バックアップ

製品のUSB端子に、USBメモリか外付けHDDを接続します。

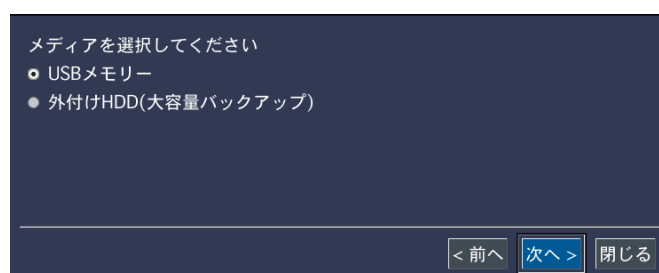
※USBメモリーはFAT32フォーマットをしてからご使用ください。



保存形式選択画面

名 前	説 明
静止画	BMPタイプで画面の静止画を保存します。
NSF -PROPRIETARY FORMAT	本DVR専用のファイル形式で保存されます。専用プレイヤー (HD Player) を使用して再生が可能です。
AVI -SEPARATED SUBTITLE, MAC COMPATIBLE	一般汎用AVIプレイヤーで再生可能 (ご使用のAVIプレイヤーの設定等により見れない場合もあります)
EXE -SINGLE EXE FILE FORMAT	専用プレイヤーとデータファイルが一緒になっている実行ファイル形式のバックアップをおこないます

保存するメディアを選択します。



注意: 外付けHDDの保存はNSF形式のみの保存となります。

メディア選択画面

名 前	説 明
USBメモリー	USBポートにUSBメモリーを接続し使用します。(選択肢: 1分～60分)
外付けHDD: (大容量バックアップ)	大容量データのUSB外付けHDDを使用します。 (バスパワータイプのUSB外付けHDDはご使用になれません) NSFを選択すると外付けHDDが使用できます。(選択肢: 1時間～24時間)

保存したい日付、時間帯を設定します。

チャンネル
☒ ALL ☐ CH 1 ☐ CH 2 ☐ CH 3 ☐ CH 4 ☐ CH 5 ☐ CH 6 ☐ CH 7 ☐ CH 8

開始時刻
2017 / 1 / 9 17 : 56 : 0

長さ
1 分
2017/01/09 17:56:00 - 2017/01/09 17:57:00

空き容量
必要容量

CALCULATION < 前へ 開始 閉じる

保存日時・保存時間設定画面

名 前	説 明
チャンネル	バックアップしたいチャンネルを選択します。
開始時刻	バックアップしたい開始時刻を選択します。
長さ	バックアップしたい時間の長さを選択します。(1～60分まで選択可能)
空き容量	 ボタンを押すとUSBポートに使用した保存装置の空き容量を表示します。
必要容量	 ボタンを押すと選択したバックアップの時間に必要な容量を表示します。

操作方法



- ① データ再生時、バックアップしようとする映像画面の表示バーより  ボタンを押します。
- ② 静止画および動画保存形式 (NSF、AVI、EXE) を選択します。
- ③ 保存する装置を選択します。
- ④ バックアップしようとするチャンネルおよびバックアップ時間を選択します。マウスで【開始】またはリモコンまたは前面パネルの【決定】ボタンを押します。
- ⑤ 開始されると該当装置でバックアップが行われます。(USBメモリ、外付けHDD)

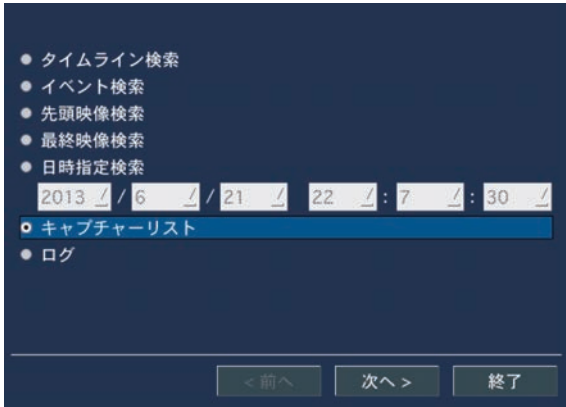
6.3 キャプチャーリストのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

操作方法

- ① 検索メニューで「キャプチャーリスト」メニューを選択します。
- ② 表示されるカレンダーで保管された日付を選択します(保存された日付は青色で表示されます)
キャプチャーリストでバックアップしようとする項目を選択します。
- ③ 「画面表示」ボタンをもしくはリモコンの「SEL」ボタンを押すと該当ファイルの静止画が表示されます。
- ④ 「バックアップ」ボタンを押すと該当装置でバックアップが行われます。
- ⑤ 装置が正しく設置されれば“保存完了”メッセージが表示されます。
- ⑥ 完了後、前のメニューに戻るためには“リモコンの【ESC】ボタンまたは「閉じる」ボタンを押してください。

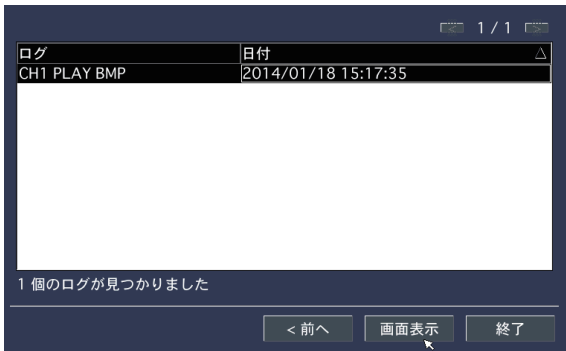
①



②



③



④



バックアップ
CH 2 PLAY BMP
2014/01/18 09:25:01
メディア USB
バックアップ 閉じる

6.4 バックアップ動画再生

セキュリティのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。

6.4.1 AVI方式

AVI方式はウィンドウズメディアプレイヤーまたはAVIフォーマットビデオと互換性のある他のメディアプレイヤーで再生できます。

※設定コーデックの有無により再生できない場合があります。

6.4.2 NSF方式

NSF方式はUSBドライブ“HDPlayer”フォルダーに自動生成される“HDPlayer”を使って再生できます。またマウスを利用してデジタルズームアウト機能を使用できます。ファイルから保存先を選択します。



6.4.3 EXE方式

専用プレイヤーとデータファイルが一緒になっているので実行するだけで再生できます。

6.4.4 バックアップ再生

録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。

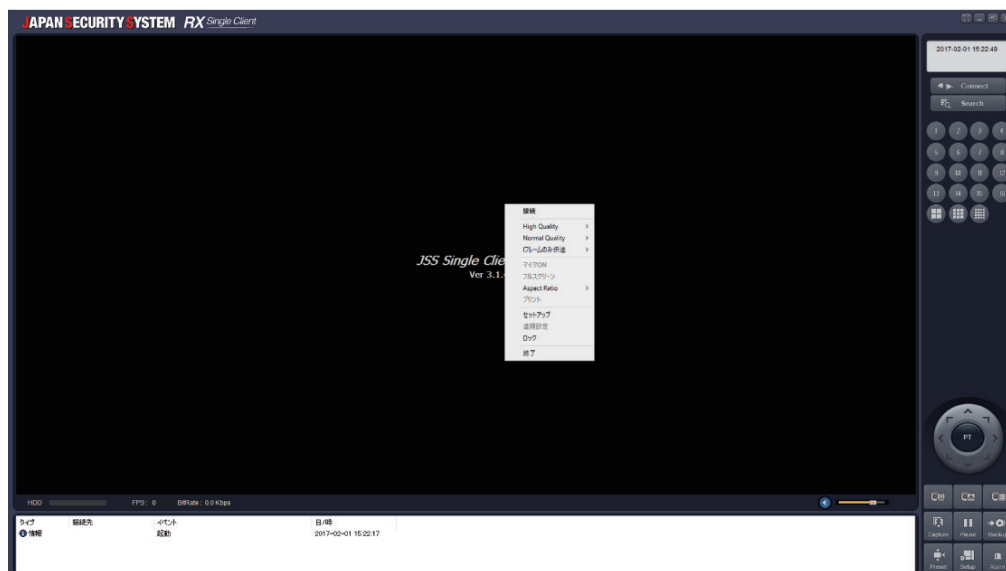


【NTPバックアップ再生画面】

名 前	説 明
画面表示部	バックアップ映像が表示されます。画面表示部をマウスの右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。 ポップアップメニューの「Capture(S)」をクリックすると、表示中の画像がJPEGで保存されます。「Backup to AVI(B)」をクリックすると、AVI形式で保存されます。「About(A)」をクリックすると、設定画面が表示されます。
	HD Playerの画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、キーボードの【ESC】ボタンを押してください。
	HD Playerの画面を隠します。
	HD Playerの画面をフルスクリーンに表示します。
	HD Playerを終了します。
タイムバー	動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
録画時刻	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
録画チャンネル	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
	クリックするごとにボタンが  ⇄  に切り替わります。  をクリックすると静止  をクリックすると再生を再開します。
	早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が1倍速→2倍速→4倍速→8倍速に変わります。
	ボタンをクリックすると、現在再生中の時点より3秒前/先の映像にジャンプして再生します。
	再生画面を分割画面で表示します。
	音声記録のある動画ファイルを再生します。但しHD-0410Sモデルでは音声記録機能は対応していません。
	再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
	設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
	現在再生中の画像をプリンターでプリントします。

7. 遠隔ファームウェアのアップグレード

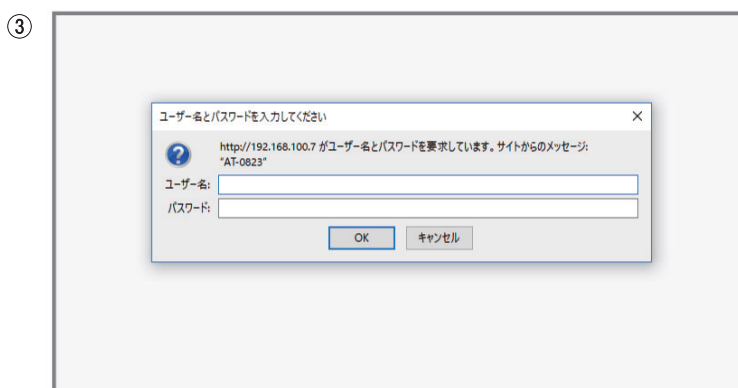
使用者はネットワークを通してレコーダの遠隔アップグレードができます。(JSS Single Client基準説明)



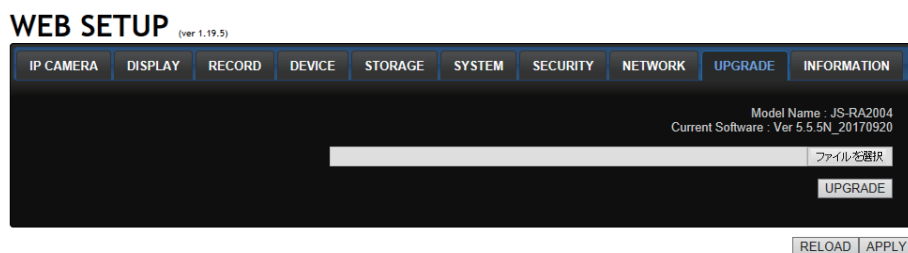
操作方法

まずJSSクライアントソフトウェアをインストールし、該当するレコーダに接続します。

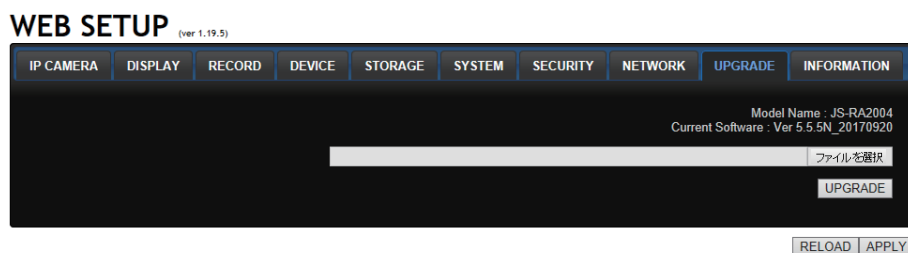
- ① 接続後、画面ウィンドウでマウス右クリックすると下図左のようなメニューが出ます。
- ② 該当メニューから“遠隔設定”を選択します。
- ③ 遠隔設定を選択すると右下のような画面が出ます。ここにレコーダのパスワードを入力しログインします。



- ④ ログイン後メインメニューから“UPGRADE”タブ項目を選択します。



- ⑤ ファイル選択を押してアップグレードファイルを選択した後“UPGRADE”ボタンを押すとアップグレードされます。(約150秒程度所要しネットワークの状況によって時間に差が出ることもあります)



System will restart automatically after S/W upgrade.
Please wait a few minutes.



- ⑥ アップグレードが完了するとWEB SETUPの初期画面が出て、再接続後ファームウェアバージョンを確認してください。



遠隔ファームウェアのアップグレード中は絶対に電源を切らないでください。アップグレード中に電源が切れた場合は本機が使用できなくなる可能性があります。

8. 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使用すると、レコーダの画像をパソコン画面から確認することができます。

注意:1台のレコーダに同時に接続できるPCの台数は4台までです。ネットワークの帯域幅が小さい場合は、1台のレコーダに接続するPCの台数は1台にすることをお勧めします。

注意:インターネットに接続する場合、ルータのポート開放が必要です。レコーダ本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、JSSクライアントからのバックアップ機能を利用したい場合は、基本ポート+1のポートを開放してください。

尚、JSSクライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10のポートと、WEBポートを開放してください。

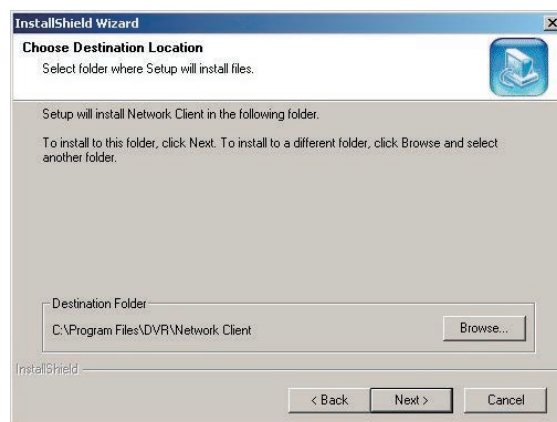
＜設定例＞レコーダ本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルータから5445/5446/5455の3つのポートや、WEBポートの80を開放してください。

8.1 JSSクライアントソフトの推奨動作環境

- CPU: Intel® Pentium® IV 1.4Ghz以上
 - 解像度: 1280×720以上
 - メモリ: 512MB (推奨: 1GB以上)
 - VGA: 64MB
 - DirectX®: Direct9以上
 - OS: Microsoft® Windows® 10 32ビット/64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8 32ビット/64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 SP1 32ビット/64ビット日本語版、Internet Explorer®
- ※ACTIVE-Xサポートブラウザのみ

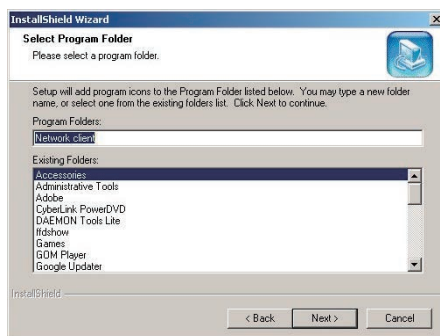
8.2 JSSクライアントソフトのインストール

- ① 付属のCD-ROMをPCにセットして「jss_multiclient～.exe」と「jss_singleclient.exe」の2種類がありますので、ひとつずつインストールします。アイコンをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

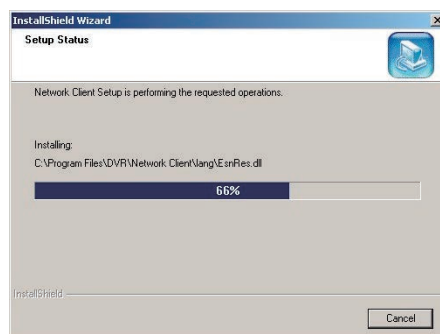


- ② [Choose Destination Location]画面でインストール先のフォルダーを確認し[Next]をクリックします。インストール先のフォルダを変更する場合は[Browse]をクリックしてフォルダを選択してください。

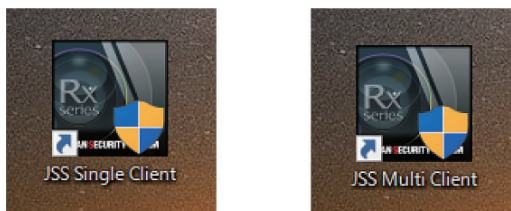
- ③ [Select Program Folder]画面でプログラムフォルダを確認して[NEXT]をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合はボックスに直接入力するか[Existing Folders]リストから選択してください。



- ④ インストールが開始され[Setup Status]画面にインストール進行状況が表示されます。



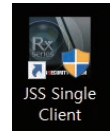
- ⑤ インストールが終了すると、下図のように[JSS Single Client]と[JSS Multi Client]のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。



- ⑥ アイコンをクリックするとクライアントソフトが立ち上がります。

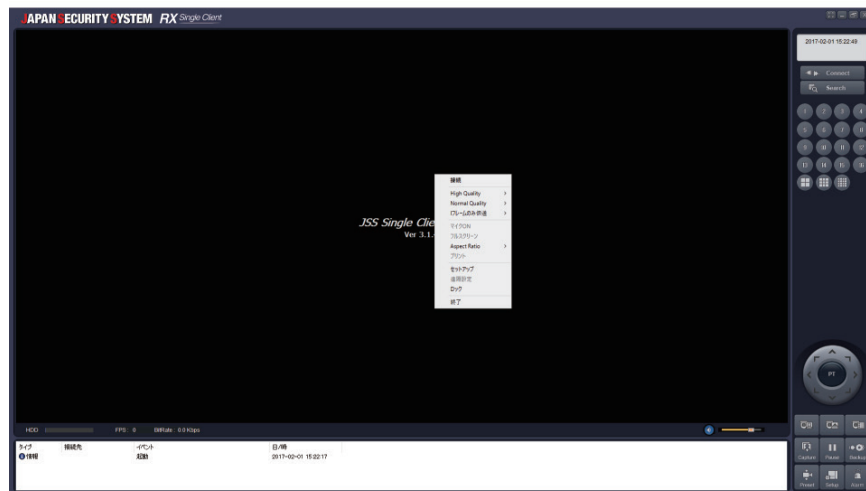
8.3 JSSクライアント“JSS Single Client”の設定と仕様

遠隔地にあるレコーダのカメラ映像をPCから監視・再生することができます。



8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき

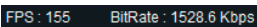
録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。



メイン画面のコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
	画面表示部	レコーダに接続されているカメラのライブ映像を表示します。画面表示部にカーソルをのせると左下にミニ画面が表示されます。デジタルズームはマウスホイールを利用すると操作ができます。
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断します。
	検索	検索モードをライブモードに切替えます。
	チャンネル表示	チャンネルおよび分割画面の表示切替。
	パン/チルト/ ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調整します。中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト/フォーカスモードに切替わります。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャ画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は、C:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。

メイン画面のコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
 	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	録画ON/録画OFF	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	レコーダ側にアラームを発生させます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	HDD容量	レコーダのHDDの使用容量を表示します。
	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム/ 音声ON/OFF	出力音量を調整します。スピーカーのアイコンをクリックすることで音声出力を切/入することも可能です。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

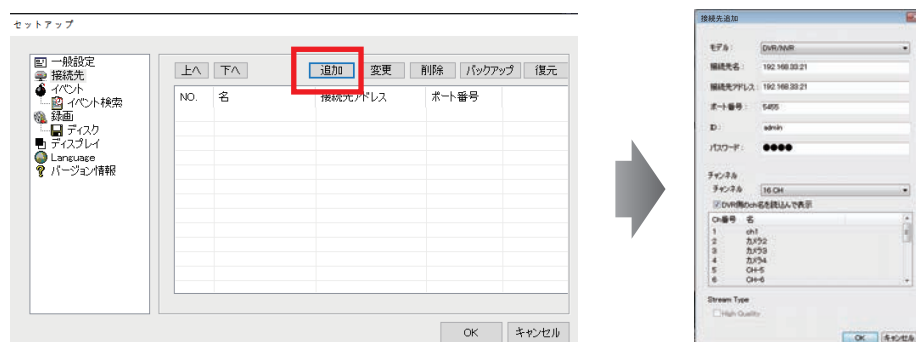
8.3.1.1 接続のしかた：ローカル接続（インターネット非経由）

※英語表示になっている場合は“Language”から日本語に変更できます。

日本語を選んで、JSS Single Clientを再起動してください。

① 画面右下のあるアイコン  をクリックします。

② サブウィンドウが開いたら、左メニューの【接続先】を選択、ウインドウ右の【追加】をクリックします。



接続先追加メニュー

名 前	説 明
モデル	接続するレコーダのモデル群を選択します。⇒DVR/NVRを選択
接続先名	レコーダに管理者用の名称をつけます。
接続先アドレス	レコーダのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
ポート番号	レコーダのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。 ※“WEB”ポートではありません
ID	接続するユーザーIDを入力します、管理者の場合「admin」と入力します。
パスワード	レコーダの「セキュリティ」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力 します。 ※工場出荷時初期設定地:1111
チャンネル	レコーダのチャンネル数に合わせます。
レコーダ側のCH名 を読み込んで表示	チェックを入れるとレコーダのチャンネル名を読み込みます。
Stream Type	[High Quality]チェックすると自動で1280×720の解像度で映像を表示します。

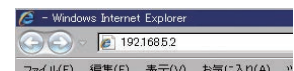
- ③ 【OK】をクリックすると、接続先が登録されリストに表示されます。

※登録可能な接続先の数は、制限されていません。

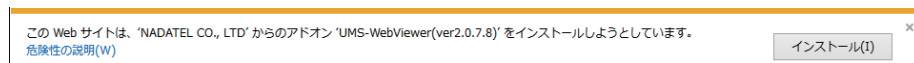
- ④ メイン画面に戻り、画面右上のアイコン  を押すと接続します。

画面に映像が表示されない場合

メイン画面下のログウインドウに「リンク接続」が表示されているのに画面にカメラ映像が表示されない場合は、上記の接続先追加の際に「接続先アドレス」で入力したIPアドレスをインターネットエクスプローラーのアドレスバーに入力して、キーボードのEnter (Return) キーを押してください。



セキュリティの警告のウインドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。



上記のようなウインドウが開いてのインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。

「Web Client」の画面が出たら、右上の接続ボタン  をクリックしてください。

8.3.1.2 接続のしかた：インターネット経由

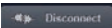
インターネット経由での接続には、ポート開放が必要です。

レコーダ本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、基本ポート+1のポートを解放してください。

※IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / DNS情報が不明な場合は固定IPを取得したプロバイダーにお問い合わせください。

※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しいため、サポート対象外になります。

8.3.1.3 接続の切断

画面右上にあるアイコン  をクリックします。

8.3.1.4 JSSクライアントのデジタルズーム機能

レコーダ本体と同様、JSSクライアントでもライブ画面のデジタルズームを使用できます。

- ① JSSクライアントの画面表示部にカーソルを移動させ、デジタルズームさせたいライブ画像をダブルクリックし画面表示部に1画面に表示します。画面左下にミニ画面が表示されます。表示されない場合、カーソルを移動させるとミニ画面が表示されます。
- ② マウスホイールのスクロール操作により、表示されている画像がズームイン・アウトします。ミニ画面の赤い枠は現在表示されている領域を示します。
- ③ ズームした画面上でマウスを左クリックしながらドラックするとズーム表示の位置を移動します。



※再生画面も同じ方法でズームすることができます。

8.3.1.5 双方向オーディオ

JSSクライアント側とレコーダ側の双方向オーディオ通信ができます。

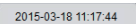
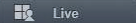
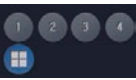
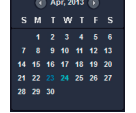
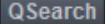
- PC (JSSクライアント) 側: マイクスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。
- レコーダ側: マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき

画面右上の  Search ボタンを押すと画面が切り替わります。



検索画面のコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断します。
	検索	検索モードをライブモードに切替えます。
	チャンネル表示	チャンネルおよび分割画面の表示切替。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は、C:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	レコーダかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	Remote Log	遠隔からレコーダのログを確認することができます。
	タイムラインバー	24時間、60分を標示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライド&ドロップをすることで再生したい時刻に移動できます。
	QSearch	サムネイルがリスト表示されます。時間を絞り再生します。

検索画面のコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、レコーダのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。タイムライン上で再生したい時刻を選択し▶をクリックすると再生が始まります。再生中に⏏をクリックすると一時停止します。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態でクリックすると1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/1分前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。 1 x → 2 x → 4 x → 8 x → 16 x → 32 x
	時間単位表示/ 分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

8.3.2.1 動画のバックアップ

レコーダかPCのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。あらかじめ、再生したい接続先に接続しておきます。

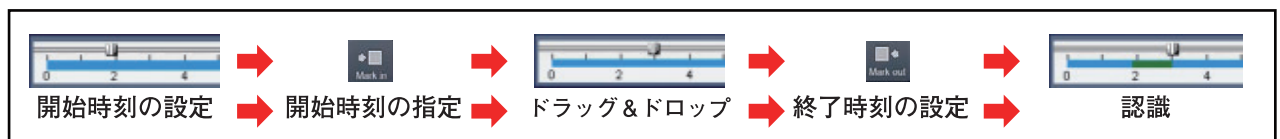
- ① **PC/DVR** でPCのハードディスクに保存されているデータを再生するか、レコーダのハードディスクに保存されているデータを再生するかを指定します。

PC/DVR はクリックするごとにカラーが変わります。ブルーの場合はPCに保存しているデータの再生、グレーの場合はレコーダに保存しているデータを再生できます。PCの保存データを再生する場合、日時情報に「パソコンの保存データを再生」と表示されます。

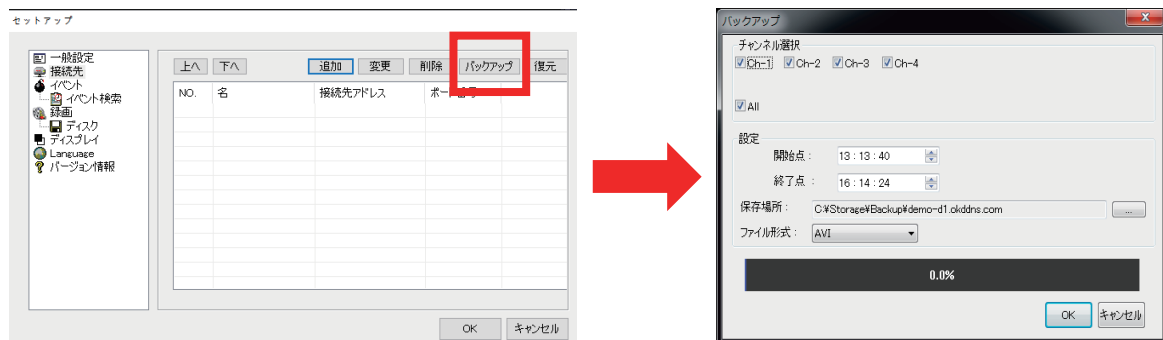
2015-06-18 00:00:00

パソコンの保存データを再生

- ② JSSクライアントの  をクリックすると保存しておいたデータが再生されます。
- ③ タイムラインバー上のバックアップしたいデータの先頭時刻をクリックし  をクリックすると選択部分がバックアップする開始時刻として指定されます。
- ④ 指定した開始時刻のスライドノブを終了時刻に移動させます。ドラッグ&ドロップしながら終了したい時刻に移動させます。ドラッグ&ドロップしている間、スライドノブに赤い線が入ります。終了時刻になりましたらドラッグ&ドロップを終了し  をクリックすると選択時間がバックアップする終了時刻として指定され開始時刻から終了時刻の区間が緑色に変わります。



- ⑤ バックアップする区間が緑色に切り替わった状態で  をクリックするとバックアップのダイアログ画面が表示されます。



バックアップ操作メニュー

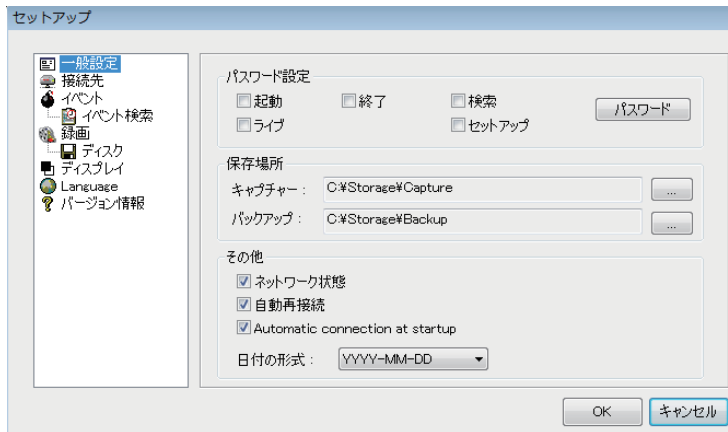
名前	説明
チャンネル選択	バックアップするチャンネルを選択します。
開始点/終了点	バックアップする時間を再指定することができます。
保存場所	バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。 ※デフォルトはC:\Storage\Backup
ファイル形式	AVIファイル形式で保存されます。

バックアップの設定が終わり「OK」をクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示されバックアップがはじまります。

8.3.3 設定のしかた

をクリックし、JSSクライアントの設定を変更・確認します。

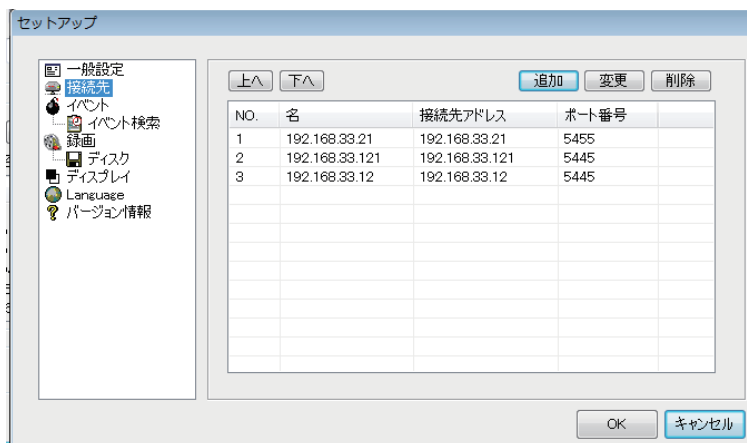
一般設定



一般設定操作メニュー

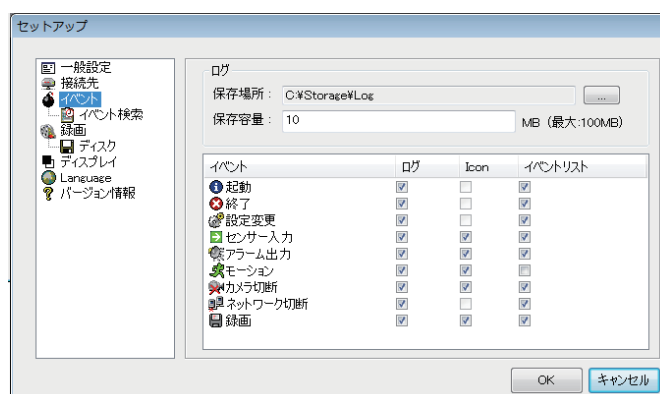
名 前	説 明
パスワード設定	各操作項目にチェックをいれるとその操作を行う時にパスワードが必要になります。 「パスワード」をクリックするとパスワードを設定できます。
保存場所	キャプチャーした静止画、バックアップした画像ファイルを保存する場所を指定します。
その他	ネットワーク状態/ライブモードで、FPSやBitRataなどのネットワークのステータスを表示します。 自動再接続/何かしらの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。 Automatic connection at startup/JSSクライアントを立ち上げた際に、最後に接続した接続先に自動で接続を行います。 日付の形式/日付の表示形式を選択します。

接続先



接続したいレコーダの接続先名、IPアドレス、ポート番号パスワードを登録し、JSSクライアントから接続することができます。接続先の登録には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。 ※詳細は「8.4.1 接続のしかた」をご参照ください。

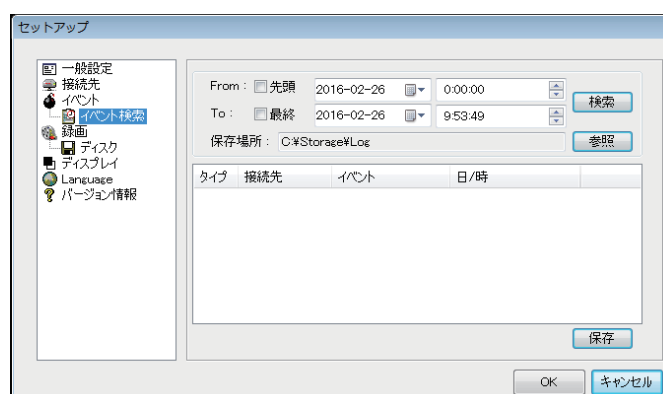
イベント



イベント操作メニュー

名 前	説 明
ログ	JSSクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
イベント	各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録する/ライブ画面にアイコンを表示する/ライブ画面の下部のウィンドウに表示するかを設定します。

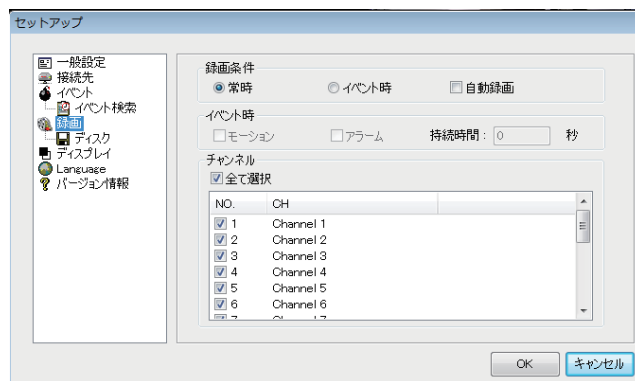
イベント検索



イベントの発生記録を検索したい日時範囲に指定し、「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。

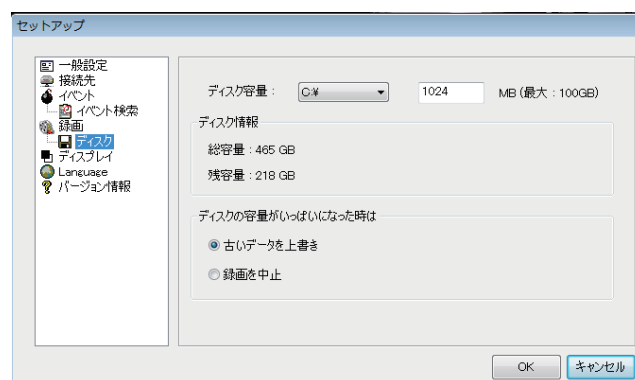
保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

録画



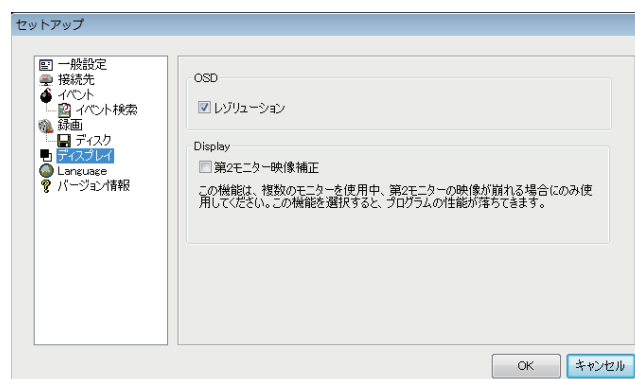
JSSクライアントでライブ画面を録画するときの条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。

ディスク



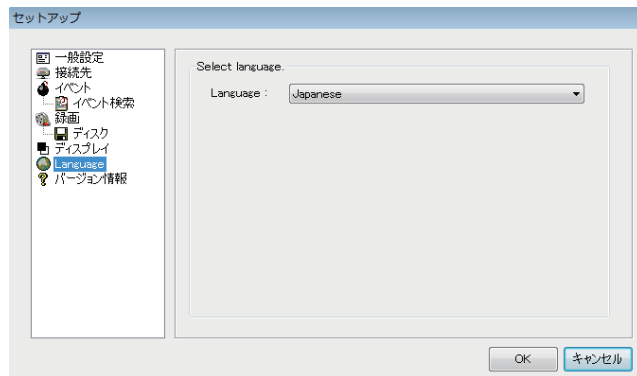
JSSクライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。また、SDカードの容量がいっぱいになった時の設定が可能です。

ディスプレイ



ディスプレイ操作メニュー

名 前	説 明
OSDレゾリューション	画像表示部の下部にフレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を標示するか、日時情報を表示するかを選択します。
Display	第2モニター映像補正: 複数モニターを使用するPCで、セカンダリーモニターの映像に乱れが発生する場合に使用します。



JSSクライアントは20か国語対応しています。使用する言語を変更し、一度プログラムを終了します。再度立ち上げると適用されます。

バージョン情報

お使いのJSSクライアントのバージョンを確認できます。

8.3.4 ポップアップメニュー

JSSクライアント画面の上にカーソルを移動させ、マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップ操作メニュー

名 前	説 明
接続/切断	接続先に接続します。接続先に接続している場合は切断の表示になります。
High Quality	解像度を1280×720にする事ができます。 (選択肢:全てのチャンネル、選択チャンネルのみ)
Normal Quality	解像度を480×272にする事ができます。 (選択肢:全てのチャンネル、選択チャンネルのみ)
1フレームのみ伝送	基準になる画像のみを伝送します。
マイクON	PCに接続されているマイクを利用し、レコーダが設置されている現場に音声を送ることができます。
フルスクリーン	JSSクライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。フルスクリーン表示を解除する場合はPCキーボードの【ESC】にて解除します。

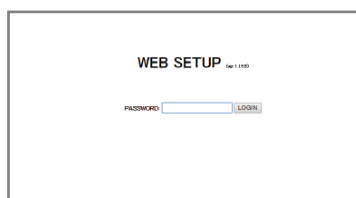
ポップアップ操作メニュー

名 前	説 明
Aspect Ratio	画面表示部の中の映像を1画面で確認する際、ワイドスクリーンにて映像を確認するか、フィットスクリーンにするか選択できます。
プリント	表示している映像を印刷します。
セットアップ	JSSクライアントの設定を行います。 ※詳細は「8.3.3 設定のしかた」をご参照ください。
遠隔設定	接続中のレコーダ本体の設定を遠隔から変更できます。 ※詳細は「8.5. 遠隔設定」を参照ください。
IP Camera Setup	接続中のカメラの設定を行います。チャンネルを選択すると、WEBブラウザが立ち上がります (IEをご使用ください)。
ロック	クリックすると、パスワードの入力ダイアログが表示されます。パスワードを入力すると画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。ロックの解除は同じ手順で行います。 ※ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定と関係はなく、4～8桁の臨時のものを使用します。
終了	JSSクライアントソフトを終了します。

8.3.5 遠隔設定

接続中のレコーダ本体の設定を遠隔で変更します。

- ① 接続中のレコーダ本体の設定を遠隔で変更します。ポップアップメニューから「遠隔操作」をクリックすると、パスワード入力画面に移行します。



- ② パスワードを入力すると、遠隔設定の画面が表示されます。 ※初期設定パスワード【1111】
- ③ 設定を変更し、右下の「APPLY」をクリックすると、変更した設定内容がレコーダ本体に反映されます。
※各設定項目の詳細内容は「2.設定のしかた」をご参照ください。

※遠隔設定では、レコーダ本体の「セキュリティー」、「設定管理」、「簡単設定」の設定はできません。

8.4 JSSクライアント“JSS Multi Client”の設定と使用

遠隔地にある複数のレコーダのカメラ映像をPCから監視・再生することができます。

8.4.1 接続のしかた

JSSクライアント画面の上にカーソルを移動させ、マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

8.4.1.1 接続先の登録

JSSマルチクライアントからレコーダに接続するには、接続したいレコーダの情報をあらかじめ登録しておく必要があります。

- ① JSSマルチクライアントが立ち上がったら画面の左側の操作パネルの上部にある  アイコンをクリックします。
- ② 「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。



接続先追加メニュー

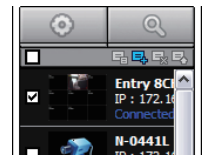
名 前	説 明
モデル	接続するレコーダのモデル群を選択します。⇒DVR/NVRを選択
接続先名	レコーダに、管理者用の名称をつけてください。
接続先アドレス	レコーダのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
ポート番号	レコーダのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。 ※“WEBポート”ではありません。
ID	接続するユーザーIDを入力します、管理者の場合「admin」と入力します。
パスワード	レコーダの「セキュリティ」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。 ※工場出荷時初期設定値:1111
Stream Type	[High Quality]チェックすると自動で1280×720の解像度で映像を表示します。

- ③ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。
※登録可能な接続先の数は、制限されていません。

8.4.1.2 接続先の接続

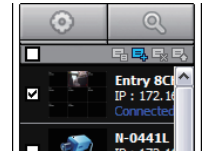
- ① 接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は16か所です。

- ②  をクリックすると、チェックされた接続先に接続されます。



8.4.1.3 接続の切断

 をクリックすると、チェックした接続先の接続が切断されます。



8.4.1.4 接続先の設定変更

接続先リストの上で、右クリックし「接続」を選択します。接続先内容を変更後OKをクリックしてください。



接続

接続先選択: 接続先 1

遠隔システムに接続

モデル: DVR/NVR

接続先名: 検証

接続先アドレス: 192.168.33.2

ポート番号: 5445

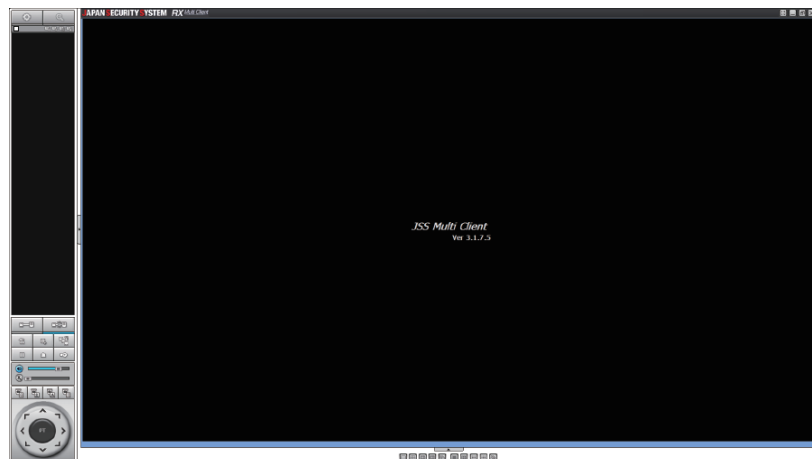
ID: admin

パスワード: ●●●●

OK キャンセル

8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき

JSSクライアント画面の上にカーソルを移動させ、マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



メイン画面のコントロールボタン

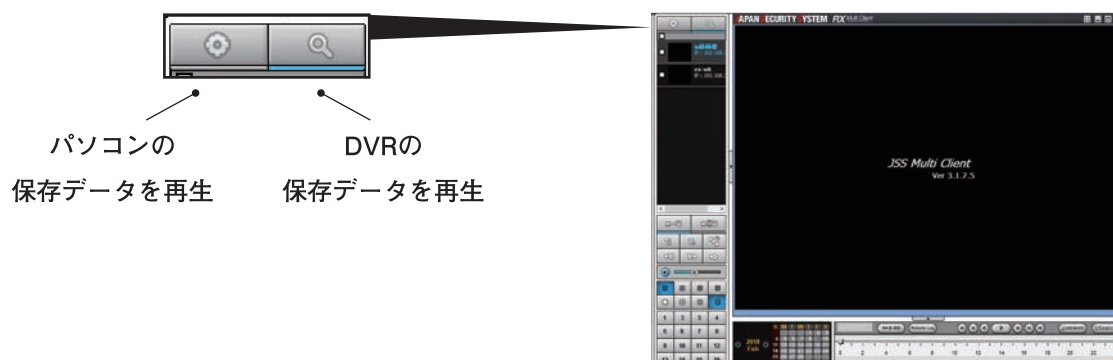
ボ タ ン	機 能
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
	レコーダのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
	使用者が登録した全ての接続先を表示します。接続中の接続先は「Connected」と表示されます。  サムネール更新: 接続中の接続先のサムネールを更新します。  接続先の追加: 接続中の接続先のサムネールを更新します。  接続先の削除: ハイライトされている接続先をリストから削除します。接続中の接続先削除は出来ません。  ネット検索: 登録されている接続先のリストが表示され、接続先の追加・削除・変更することができます。
	接続先に接続します。クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
	接続先を切断します。クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
	JSSマルチクライアントの全般的な設定を行います。
	ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
	ライブ画面を一時停止、リスタートさせます。

メイン画面のコントロールボタン

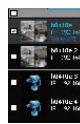
ボ タ ン	機 能
 アラームON/ アラームOFF	レコーダ側に接続してあるアラームを点灯するかしないか選べます。
 録画ON/録画OFF	PCのハードディスクに映像を録画します、録画中はOFFになります。
 音声	ライブ映像の出力音声を調整します。  をクリックすると音声出力の入 / 切が切り替わります。
 マイク	マイクの出力音量を調整します。  をクリックすると音声出力の入 / 切が切り替わります。
 PTZ操作	レコーダに接続されているPTZカメラの操作ができます。 パン / チルト / ズーム / フォーカスを設定します。  をクリックすると  に切り替わります。
 CH分割/カメラ切替	ハイライトされた接続先の映像を1/4/9/16画面で表示します。  にてカメラを切り替えます。
 接続先分割/DVR切替	画面に表示する接続先の数を選択します。1/4/9/16ヵ所で表示できます。  にてレコーダを切り替えます。
 カメラプリセット	プリセット設定を行います。
 スキャン	PTZカメラのスキャンを行います。
 ツアー	PTZカメラのツアー動作を行います。
 メニュー	PTZメニューを開きます。

8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき

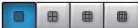
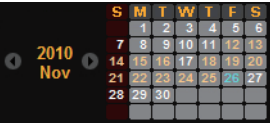
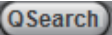
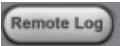
操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVRの保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地のレコーダのハードディスクに保存されている映像を再生することができます。



検索画面のコントロールボタン

ボ タ ン	機 能
 パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 レコーダの保存データを再生	レコーダのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 接続先リスト	使用者が登録したすべての接続先を表示します。 レコーダのハードディスクに保存されている動画を検索するとき、 接続中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
 接続	接続先に接続します。クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 切断	接続先を切断します。クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 セットアップ	JSSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「8.4.4 セットアップのしかた」を参照ください。
 キャプチャー	再生画面を静止画でキャプチャーします。
 イベントリスト	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
 開始点	動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。
 終了点	動画でバックアップしたい再生映像の終了点を指定します。
 バックアップ	指定した映像範囲を動画でバックアップすることができます。

検索画面のコントロールボタン

ボ タ ン	機 能
 音声	ライブ映像の出力音声を調整します。  をクリックすると音声出力の入/切が切替わります。
 接続先分割	画面に表示する接続先の数を選択します。1/4/9/16ヵ所で表示できます。
 CH分割	ハイライトされた接続先の映像を1/4/9/16画面で表示します。
	表示したいチャンネルを選択します。1画面にて映像の確認ができます。
	カレンダーからデータを再生したい日付を選択します。  をクリックすると前月、  をクリックすると次月に切替わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
	データを検索したいチャンネルを選択します。選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
	1日または1時間をタイムラインで表示します。録画データのある時間帯はタイムライン上に水色で表示されます。
	タイムラインの時間単位を表示します。クリックするごとに切り替わります。  をクリックすると選択した日付のデータが24時間表示されます。  をクリックすると1時間分のデータが60分表示されます。
	サムネイルがリストに表示されます。時間を絞り再生します。
	遠隔からレコーダのログを確認することができます。
	再生画面を操作します。 再生/一時停止/早送り/早戻し/1分スキップの操作ができます。

8.4.3.1 再生のしかた

レコーダやPCのハードディスクに保存されている録画データを検索し再生することができます。

- ① ライブ画面の操作パネルから、PCのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合、をクリック、レコーダのハードディスクに保存されているデータを再生するには をクリックします。
- ② 接続先リストからデータを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、をクリックします。※PCのハードディスクのデータを検索する場合はこの作業を行う必要はありません。
- ③ カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。録画データのある日付はオレンジに、選択された日付は水色に表示されます。
- ④ 選択された日の録画データをタイムラインから確認します。録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線で表示されます。
- ⑤ タイムラインの上のスライドノブをドラック＆ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。
タイムラインの目盛りを「24時間」から「60分に切替えると、再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。

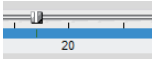
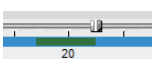


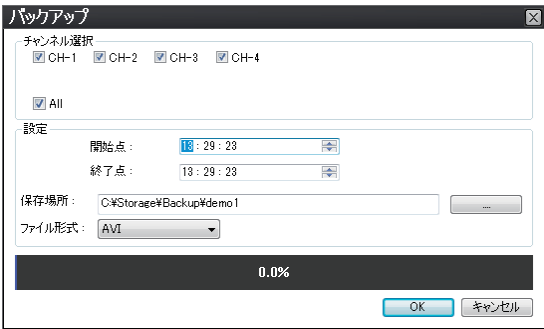
- ⑥ をクリックすると再生がはじまります。再生中のコントロールボタンは下記の機能があります。

ボ タ ン		機 能
	再生 / 一時停止	クリックするごとに映像の再生、静止に切り替わります。
	早送り / 早戻し	クリックするごとに再生速度が x 1、x 2、x 4、x 8、x 16に切り替わります。
	1分スキップ	現在の再生ポイントから1分前・先にジャンプします。
	コマ送り	クリックするごとに前・先と1フレーム先の画像を表示します。

8.4.3.2 動画のバックアップ

レコーダやPCのハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

- ① タイムラインで録画データのある時間帯を確認します。
- ② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して  をクリックします。
 指定された開始点に緑色の線が表示されます。
- ③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して  をクリックします。
 指定された開始点から終了点までの範囲が緑色の線が表示されます。
- ④  をクリックするとバックアップ画面が表示されます。
- ⑤ バックアップ画面で設定を行います。



バックアップ操作メニュー

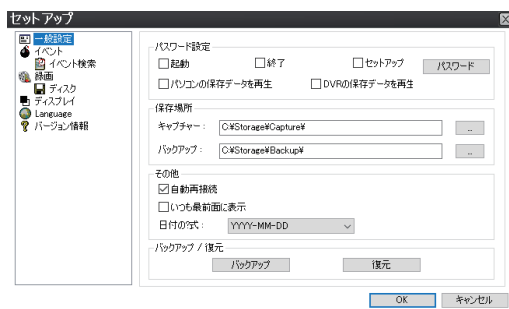
名 前	説 明
チャンネル選択	バックアップしたいチャンネルを選択します。
開始点	バックアップしたい範囲の開始点を指定します。
終了点	バックアップしたい範囲の終了点を指定します。
保存場所	バックアップした動画を保存する場所を指定します。セットアップメニューの一般設定からも指定ができます。

- ⑥ 「OK」をクリックすると、バックアップがはじまりプログレスゲージに進行状態が表示されます。
- ⑦ バックアップされたファイル名は「チャンネル番号+録画時刻+ファイルの形式」で保存されます。
例) [CH4]04_11_58.avi=4番チャンネルの4時11分58秒からの録画映像の動画ファイル
- ⑧ AVI形式もしくはNSF形式にて保存されます。
 - AVI形式で保存された動画ファイルは、Windows Media® Playerなど、AVI対応の映像再生ソフトで再生されます。
 - (映像再生ソフトの設定やコーデックの有無により再生できない場合があります)
NSF形式とは本レコーダ専用のファイル形式で保存される。専用プレーヤー (HD Player) を使用して再生します。

8.4.4 セットアップのしかた

 をクリックするとセットアップ画面が表示されJSSマルチクライアントの設定が変更・確認できます。

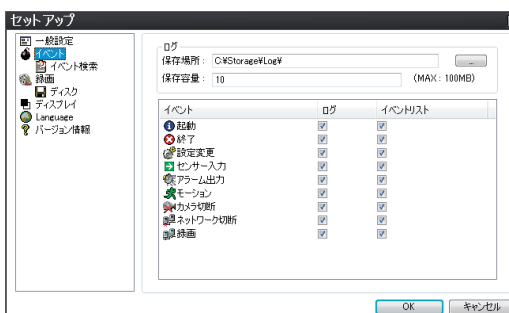
一般設定



一般設定の操作メニュー

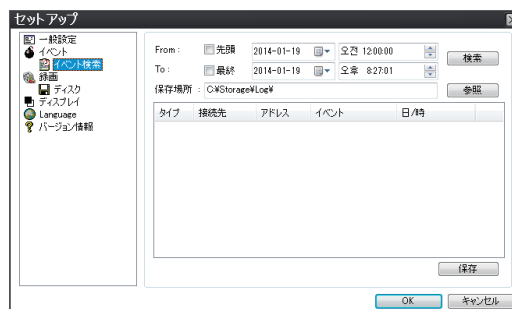
名 前	説 明
パスワード設定	各操作項目にチェックを入れると、その操作を行うときにパスワードが必要になります。 「パスワード」をクリックするとパスワードを設定することができます。
保存場所	キャプチャーした静止画及び、バックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
その他	【自動再接続】何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。 【いつも最前面に表示】他のウィンドウを重ねてもJSSマルチクライアント画面が隠されないようになります。 【日付の形式】日付の表示形式を選択します。
バックアップ	接続先情報をバックアップします。
復元	接続先情報を復元します。

イベント



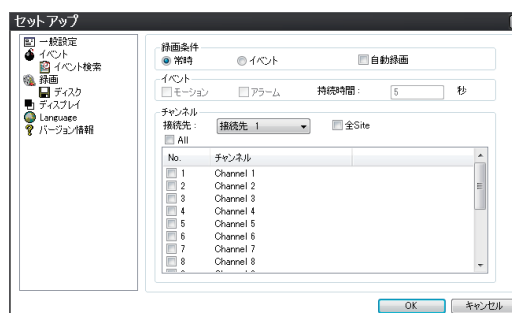
名 前	説 明
ログ	JSSマルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存フォルダと制限容量を設定します。
イベント	各イベント項目にチェックを入れると、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索



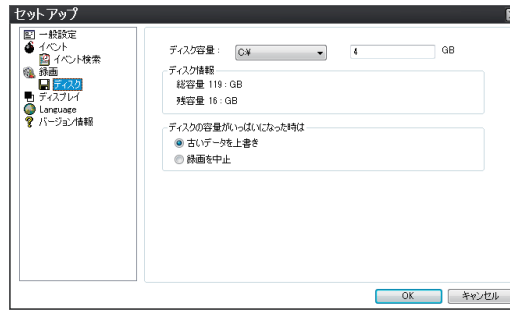
名 前	説 明
ログ	イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」にチェック、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れます。
イベント	検索してログがリストで表示されている状態で「保存」をクリックすると、ログリストをTXT形式で保存することができます。

録画



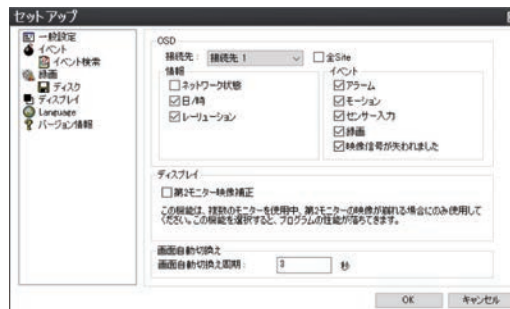
名 前	説 明
録画条件	JSSクライアントのライブ画面で「録画ON」をクリックしてライブ映像をPCのハードディスクに保存する時、常時録画を行うかイベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。「自動録画」にチェックを入れると「録画ON」をクリックしなくてもJSSマルチクライアントの起動時から自動的に録画を始めます。
イベント	「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始する条件を設定します。イベント条件はモーションかアラームあるいは両方選択可能です。設定したイベント発生時「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
チャンネル	「録画ON」をクリックしたときPCのハードディスクにライブ映像を保存する接続先チャンネルを設定します。

ディスク



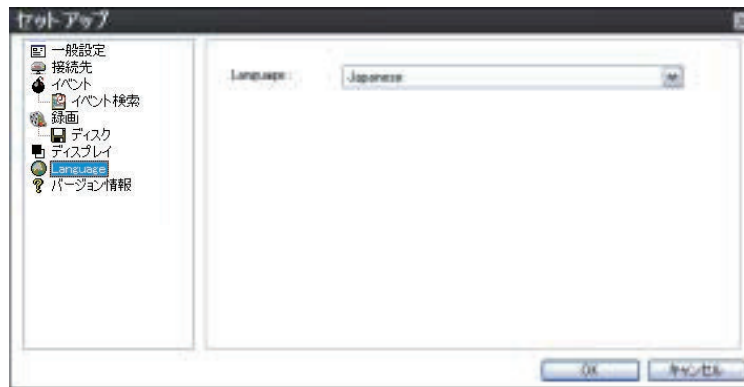
名 前	説 明
ディスク容量	JSSマルチクライアントのライブ画面で「録画ON」をクリックしてライブ映像をPCのハードディスクに保存する場合、データを保存するPCのドライブやデータサイズの上限容量を表示します。
ディスク情報	録画映像を保存するドライブのハードディスクの情報を表示します。
ディスクの容量がいっぱいになった時は	PCのディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか録画を中止するかを選択します。

ディスプレイ



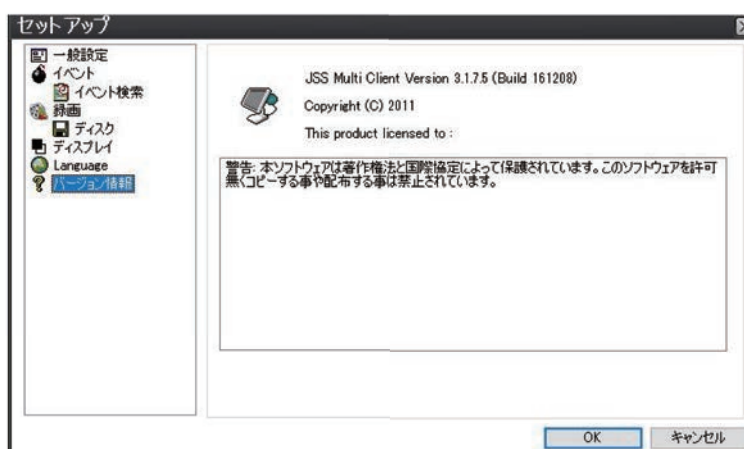
名 前	説 明
接続先	OSD表示を設定する接続先を選択します。
情報	画像表示部の下部にフレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を表示するか、日時情報を表示するかを選択します。
イベント	レコーダで発生したイベントの中で、JSSクライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択が可能です。
第2モニター映像補正	複数モニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのJSSクライアント映像に乱れが発生する場合に使用します。
画面自動切替え	画面をローテーションする際の周期時間を設定します。3～60秒で設定できます。

Language



JSSクライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると1度プログラムを終了し、再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報



使用中のJSSクライアントのバージョンを確認できます。

8.4.5 ポップアップメニュー

ライブ画面で画像上にカーソルを位置させマウスの右クリックすると下記ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップ操作メニュー

名 前	説 明
接続/切断	接続先を登録します。また、接続先に接続している場合は切断の表示になります。
High Quality	解像度を1280×720にすることができます。 (選択肢:すべてのチャンネル、選択チャンネルのみ)
Normal Quality	解像度を480×272にする事ができます。 (選択肢:すべてのチャンネル、選択チャンネルのみ)
1フレームのみ伝送	基準になる画像のみを伝送します。
フルスクリーン	JSSクライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。フルスクリーン表示を解除する場合はPCキーボードの【ESC】にて解除します。
セットアップ	JSSクライアントの設定を行います。 ※詳細は「8.4.4 セットアップのしかた」をご参照ください。
遠隔監視	接続中のレコーダ本体の設定を遠隔から変更できます。 ※詳細は「8.5 遠隔設定」をご参照ください。
IP Camera Setup	接続中のカメラの設定を行います。チャンネルを選択すると、WEBブラウザが立ち上がります (IEをご使用ください)。
サムネイル表示	接続先リストの表示方法を変更します。
Aspect Ratio	画面表示部の中の映像を1画面で確認する際、ワイドスクリーンにて映像を確認するか、フィットスクリーンにするか選択できます。
ロック	クリックすると、パスワードの入力ダイアログが表示されます。パスワードを入力すると画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。ロックの解除は同じ手順で行います。 ※ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定と関係はなく、4～8桁の臨時的のを使用します。

ポップアップ操作メニュー

名 前	説 明
接続先情報	接続している接続先のIPアドレス、ポートなどの情報を表示します。
接続先検索	接続先を登録の際に設定した接続先名から検索できます。
プリント	表示している映像を印刷します。
終了	JSSクライアントソフトを終了します。

8.5 遠隔設定

設定値を変更しようとするサイトにマウスポインターを移した後、マウス右ボタンを押すとメニューが出て“遠隔設定”をクリックすると接続しているレコーダの遠隔設定メニューが出ます。



遠隔設定を選択すると下のようなメインメニューが出ます。

注意: 遠隔設定は製品の種類ファームウェアバージョンによって一部接続できない場合があります

設定されているパスワードを入力すると遠隔設定画面が表示されます。(英語表記のみです)

WEB SETUP (ver 1.13.5)

PASSWORD:

8.5.1 IP CAMERA設定

接続しているカメラの情報を確認できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
CHANNEL	CH1								
VENDOR	JSS-IP								
IP	192.168.78.12								
PORT	554								
WEB PORT	80								
PROTOCOL	TCP								
ID	admin								
PASSWORD	1234								

RELOAD APPLY

IP CAMERA設定メニュー

名 前	説 明
CHANNEL	接続されているカメラを選択します。
VENDER	接続するカメラのメーカーを選択してください。
IP、PORT、WEB PORT、 PROTOCOL、ID、 PASSWORD	選択しているカメラのそれぞれの情報を確認できます。

8.5.2 DISPLAY設定

ライブ画面の設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
OSD	☐ ON ☐ OFF								
CHANNEL NAME	☐ ON ☐ OFF								
NO CONNECTION	☐ ON ☐ OFF								
STATUS BAR / ICON	☐ ON ☐ OFF								
IP ADDRESS / FPS	IP								
RECORD MODE	☐ ON ☐ OFF								
OSD CONTRAST	100								
SEQUENCE	☐ ON ☐ OFF								
SEQUENCE-DWELL TIME	3 SECOND(S)								
CHANNEL	CH1								
NAME	CH1								
COVERT	OFF								
MAIN OUTPUT RESOLUTION	1280 x 720								

RELOAD APPLY

DISPLAY設定メニュー

名 前	説 明
OSD	チャンネル名、ビデオロス、ステータスバー、アイコンなどを表示するか否かを設定します。
OSD CONTRAST	画面表示のコントラストを調節します。
SEQUENCE	画面順次切り替えを使用するか否かを設定します。
SEQUENCE DWELL TIME	画面順次切り替えについての間隔時間を調節します。
CHANNEL	指定されたチャンネルについて名前、画面の表示を設定します。
MAIN OUTPUT RESOLUTION	メインモニタの出力解像度を選択します。
SUB MONITOR STANDARD	CVBS出力端子からの出力解像度を設定します。

8.5.3 RECORD設定

録画設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA DISPLAY **RECORD** DEVICE STORAGE SYSTEM SECURITY NETWORK UPGRADE INFORMATION

CHANNEL CH1

RESOLUTION 1920 x 1080

FRAME RATE 30 FPS

QUALITY LEVEL 4

RECORDING CONTINUOUS

SENSOR RECORDING - - - -

PRE RECORD 1 MINUTE(S)

POST EVENT RECORD 10 SECONDS(S)

AUDIO ☒ ON ☐ OFF

SCHEDULE NONE

COPY SCHEDULE

ALL

COPY

CH1 CH2 CH3 CH4

RELOAD APPLY

RECORD設定メニュー

名 前	説 明
OSD	チャンネル名、ビデオロス、ステータスバー、アイコンなどを表示するか否かを設定します。
RESOLUTION	チャンネル別に録画解像度を選択できます。
FRAME RATE	チャンネル別に録画フレームを選択できます。
QUALITY	チャンネル別に録画品質を選択できます。
RECORDING	常時録画、モーション感知、センサー、スケジュール録画を選択できます。
SENSOR RECORDING	選択されたチャンネルのセンサー録画を設定します。
PRE RECORD	事前イベント録画時間の設定ができます。
POST EVENT RECORD	イベント発生後の録画時間を設定できます。
AUDIO	オーディオ録画するか否かを設定できます。
SCHEDULE	スケジュール録画を設定できます。

8.5.4 DEVICE設定

装置についての設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
ALARM-OUT				1					
ALARM DURATION				5					
TYPE				NORMAL OPEN					
DIGITAL DETERRENT									
FILE UPLOAD				찾아보기... UPLOAD					
CHANNEL				CH1					
SOUND TYPE				NONE					
				0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23					
SUN									
MON									
TUE									
WED									
THU									
FRI									
SAT									
CONTROLLER				---					
SPEED				9600					
ID				0					
PTZ									
CHANNEL				CH1					
CAMERA				PELCO C-PROTOCOL					
SPEED				9600					
ID				0					
SPOT OUT									
SPOT ON EVENT				OFF					
SPOT EVENT DWELL TIME				3 SECOND(S)					
SEQUENCE				OFF					
SEQUENCE DWELL TIME				3 SECOND(S)					
SPOT CHANNEL				☐ 1 ☐ 2 ☐ 3					
MOTION									
CHANNEL				CH1					
MOTION ZONE				FULL ZONE					
MOTION SENSITIVITY				5					
CHANNEL				CH4					
AUDIO SOURCE				IP CAM					
KEY TONE				☒ ON ☐ OFF					
REMOTE CONTROLLER ID				0					
SENSOR				1					
TYPE				OFF					
				RELOAD APPLY					

DEVICE設定メニュー

名 前	説 明
ALARM OUT	センサー、モーション感知、映像ロスアラーム出力について設定します。ハードディスクエラーおよびビデオロスはブザーを設定できます。
ALARM DURATION	アラーム出力についての持続時間を設定します。
DIGITAL DETERRENT FILE UPLOAD	音声案内用音声ファイルをアップロードします。
CONTROLLER	コントローラー通信速度およびIDを設定します。
PTZ	チャンネル別カメラプロトコル及び通信速度とIDを設定します。
MOTION	チャンネル別にモーション録画についての感知領域及び感度を設定できます。
AUDIO SOURCE	CHANNELで選択した機器について「IP CAM」と「LOCAL」を選択します。
KEYTONE	ボタン音についての使用するか否かを設定できます。
REMOTE CONTROLLER ID	リモコンの遠隔制御IDを設定できます。
SENSOR	センサーの種類を選択できます。

8.5.5 STORAGE設定

保存装置についての設定を変更します。

WEB SETUP

(ver 1.19.3)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
OVERWRITE					☐ ON ☒ OFF				
DISK FORMAT					DISK FORMAT				
DISK INFO									
HDD SIZE :					7290 GB (FREE : 49 GB)				
HDD START TIME :					2016/12/31 00:00:00				
HDD LAST TIME :					2017/02/01 18:38:00				
HDD 3									
MODEL NAME					WDC WD40PURX-84GVNY0				
TEMPERATURE					38 Celsius (100 Fahrenheit)				
HEALTH (GOOD/NORMAL/BAD)					GOOD				
REALLOCATED SECTORS					0				
CURRENT PENDING SECTORS					0				
UNCORRECTABLE SECTORS					0				
SPIN RETRY SECTORS					0				
HDD 4									
MODEL NAME					WDC WD40PURX-84GVNY0				
TEMPERATURE					39 Celsius (102 Fahrenheit)				
HEALTH (GOOD/NORMAL/BAD)					GOOD				
REALLOCATED SECTORS					0				
CURRENT PENDING SECTORS					0				
UNCORRECTABLE SECTORS					0				
SPIN RETRY SECTORS					0				
RECORDING LIMIT					OFF				
RECORDING LIMIT DAYS					30 DAY(S)				
					RELOAD APPLY				

STORAGE設定メニュー

名 前	説 明
OVERWRITE	HDD容量が一杯になると上書きを使用するか選択します。
DISK INFO	HDD情報を表示します。
RECORD LIMIT	録画データの保存期間を設定します。

8.5.6 SYSTEM設定

システム設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
SYSTEM									
NVR-ID						HYBRID			
DATE FORMAT						YYYYMMDD			
TIME DISPLAY FORMAT						24-HOUR FORMAT			
TIME ZONE						GMT +9:00 (Seoul/Tokyo)			
DAYLIGHT SAVING						OFF			
SET DATE & TIME						SET DATE & TIME			
CLIENT ACCESS						☒ ON ☐ OFF			
NTP						OFF			
PRIMARY SNTP SERVER						ntp.jst.mfeed.ad.jp			
SECONDARY SNTP SERVER						time.kiss.re.kr			
TIME ZONE						GMT +9:00 (Seoul/Tokyo)			
CONNECTION MODE						TIME			
CONNECTION PERIOD						03:00 AM			
SEND EMAIL						OFF			
SERVER TYPE						MANUAL			
MAIL SERVER									
MAIL PORT						25			
SECURE OPTION						NONE			
ID									
PASSWORD									
MAIL TO									
MAIL FROM									
OAUTH SIGN IN STATUS									
						GET OAUTH PIN CODE			
OAUTH PIN CODE									
SEND MAIL TEST						APPLY MAIL SETTING & TEST			
SYSTEM RESTART						SYSTEM RESTART			
CONFIGURATION						CONFIGURATION BACKUP			
BACKUP									
UPLOAD						선택하기 UPLOAD			
HYBRID SETUP									
THE NUMBER OF LOCAL CH(IP CH)						3(1)			
SYSTEM EVENT NOTIFICATION									
DISK EVENT SETUP									
HEALTH CHECK									
PERIOD						DAILY			
						FIRST v SUN v 0 H v			
HDD TEMPERATURE						60°C 140°F			
HDD BAD SECTORS						10%			
HDD ALMOST FULL						90%			
VIDEO CLIP SETUP									
PRE RECORD						2 SECOND(S)			
POST RECORD						1 SECOND(S)			
EVENTS AND NOTIFICATION									
	ALARM-OUT	BEEP	E-MAIL						
HEALTH CHECK	-	-	YES						
RESTART	-	-	YES						
SHUTDOWN	-	-	YES						
PANIC RECORD	-	-	YES						
ALARM-IN	NO	-	NO						
MOTION DETECTION	NO	-	NO						
VIDEO LOSS	NO	NO	NO						
HDD TEMPERATURE	1	YES	NO						
HDD BAD SECTORS	-	-	YES						
HDD ALMOST FULL	-	-	YES						
HDD FULL	-	-	YES						
HDD FAILURE	NO	NO	YES						

SYSTEM設定メニュー

名 前	説 明
NVR-ID	NVR IDを設定できます。
DATE FORMAT	日付形式を設定できます。
TIME DISPLAY FORMAT	12時間表示か24時間表示かを選択します。
TIME ZONE	標準時間帯を選択します。
DAYLIGHT SAVING	「OFF」か地域の選択をします。
SET DATE & TIME	時刻の設定をします。
CLIENT ACCCESS	遠隔接続するか否かを設定できます。
NTP	NTPサーバーを利用して時刻同期するか否かを設定できます。
PRIMARY SNTP SERVER	NTPサーバー第1アドレスを入力します。
SECONDRY SNTP SERM	NTPサーバー第2アドレスを入力します。
CONNECTION MODE	NTP時間サーバー接続モードを選択します。
SEND E-MAIL	電子メール転送機能を使用するか否かを選択します。
SEVER TYPE	メールサーバー選択 (Gmail、HOTMAIL、AOL、YAHOO or MANUAL)
MAIL SERVER	SMTPサーバー名を入力します。
MAIL PORT	電子メールポート設定
SECURE OPTION	セキュリティメールサーバー接続を選択します。(SSL or TLS)
ID	電子メールIDを入力します。
PASSWORD	電子メールパスワードを入力します。
MAIL TO	送り先の電子メールアドレスを入力します。
MAIL FROM	返送される電子メールアドレスを入力します。
SEND MAIL TEST	登録されたアカウントにテストメールを送送します。
HEALTH CHECK	(周期的にイベント状態をメールで転送): DAILY or WEEKLY or MONTHLY
HDD TEMPERATURE	レコーダに問題が発生した時、イベントにEメールお知らせを使用します。
HDD BAD SECTOR	
HDD ALMOST FULL	
HEALTH CHECK / RESTART / SHUTDOWN / PANIC RECORD	
ALARM-IN	センサーを感知する場合、Eメール通知を表示。
MOTION DETECTION	モーション感知する場合Eメール通知を表示。
SYSTEM RESTART	レコーダを再起動させる機能です。※クリックするとレコーダは再起動します。
CONFIGURATION	ファイルをバックアップまたは、アップロードできます。
NO CONNECTION	映像信号ロス発生時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力。
HDD TEMPERATURE	HDD最高温度到達時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力。
HDD BAD SECTOR	HDDエラーセクター発生時、Eメール通知を表示。
HDD ALMOST FULL	HDDがほぼ一杯になった場合、Eメール通知を表示。
HDD FULL	HDDが一杯になった場合、Eメール通知を表示。
HDD FAILURE	HDD認識エラー時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力。
HYBRID SETUP	ローカルCHの数やIP CHの数を設定します。
SYSTEM EVENT NOTIFICATION	該当イベントについて、通知するか否かを設定できます。

8.5.7 SECURITY設定

セキュリティについての設定を変更できます。

WEB SETUP (ver 1.19.5)

IP CAMERA DISPLAY RECORD DEVICE STORAGE SYSTEM **SECURITY** NETWORK UPGRADE INFORMATION

USER AUTHENTICATION

	PASSWORD	SETUP	PB	PTZ	R/OFF	NETWORK
PASSWORD CHECK		☐	☐	☐	☐	☐
ADMIN	*	☒	☒	☒	☒	☒
USER1	****	☒	☒	☒	☒	☒
USER2	****	☒	☒	☒	☒	☒
USER3	****	☒	☒	☒	☒	☒

USER PASSWORD CHANGE
NEW PASSWORD
CONFIRM PASSWORD
PLAYBACK AUTHORITY

ADMIN
KEEP

	1	2	3	4
ADMIN	☒	☒	☒	☒
USER1	☒	☒	☒	☒
USER2	☒	☒	☒	☒
USER3	☒	☒	☒	☒

NETWORK LIVE AUTHORITY

	1	2	3	4
ADMIN	☒	☒	☒	☒
USER1	☒	☒	☒	☒
USER2	☒	☒	☒	☒
USER3	☒	☒	☒	☒

REMOTE PLAYBACK TIMEOUT
USE HTTPS

DISABLE
OFF

RELOAD APPLY

SECURITY設定メニュー

名 前	説 明
USER AUTHENTICATION	使用者別に各機能についての権限を与えるか否かを選択します。
USER PASSWORD	パスワードを変更する使用者を選択します。
CHANGE	現在のパスワードを変更するか選択します。
NEW PASSWORD	変更する新しいパスワードを入力します。
CONFIRM PASSWORD	変更した新しいパスワードを再入力します。
PLAYBACK AUTHORITY	使用者別に検索チャンネルの権限を選択します。
NETWORK LIVE AUTHORITY	使用者別に遠隔接続チャンネルの権限を選択します。
REMOTE PLAYBACK TIMEOUT	ネットワーク経由で録画映像を再生するときの再生時間の制限設定をします。
USE HTTPS	HTTPSを使用を設定できます。(選択肢:ON/OFF)

8.5.8 NETWORK設定

ネットワークについての設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.19.5)

IP CAMERA	DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
PORT									
5445									
NETWORK AUDIO PORT									
5446									
WEBPORT									
80									
HTTPS PORT									
443									
NETWORK TYPE									
DHCP									
IP									
172.16.200.200									
SUBNET MASK									
255.255.0.0									
GATEWAY									
172.16.1.254									
1st DNS									
203.248.252.2									
2nd DNS									
164.124.101.2									
DDNS									
OFF									
SERVER1									
DDNS SERVER NAME									
bestddns.com									
DDNS INTERVAL									
60 MINUTE(S)									
SERVER2									
DDNS SERVER NAME									
user_id.dyndns.org									
DDNS ID									
user_id									
DDNS PASSWORD									

DDNS INTERVAL									
60 MINUTE(S)									
SERVER3									
DDNS HOST NAME									
hostname									
HOST DOMAIN NAME									
hostname.bestddns.com									
SERVER4									
DDNS HOST NAME									
user_id.dyndns.org									
DDNS SERVER NAME									
dyndns.org									
DDNS PORT									
80									
DDNS ID									
user_id									
DDNS PASSWORD									

DDNS INTERVAL									
60 MINUTE(S)									
NETWORK STREAM									
CH1									
RESOLUTION									
640 x 360									
FRAME RATE									
30 FPS									
QUALITY									
LEVEL 5(H)									

RELOAD APPLY

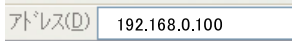
NETWORK設定メニュー

名 前	説 明
PORT	ネットワークでレコーダを接続する時、使用するポート番号を設定します。
NETWORK AUDIO PORT	ネットワークオーディオポート (NETWORK PORT + 1)。
WEB PORT	ウェブサーバーポート番号を設定します。
NETWORK TYPE	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢: 固定/DHCP)
STATIC	ネットワーク 設定を手動で入力します。(IP、Gateway、Subnet Mask、DNS IP)
DHCP	ネットワークで設定を自動で割り振られます。
DDNS	DDNSサーバーサービスを使用するか否かを設定します。
NETWORK STREAM	ネットワークで転送された解像度、フレームなどを設定します。
RESOLUTION	解像度を選択します。
FRAME RATE	コマ数を設定します。
QUALITY	品質を選択します。(選択肢: 1 (L) ~ 5 (H))

8.6 Webクライアントの使用

レコーダがネットワークに接続されていると【Internet Explorer®】ブラウザで映像を監視・再生することができます。

8.6.1 IEからの接続

- ① パソコンのWebブラウザ (Internet Explorer®) を起動します。
- ② ブラウザのアドレスバーにレコーダのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
入力例: 
- ③ WEBブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。
- ④ メイン画面に戻ったら画面右上のアイコン  をクリックで接続します。
- ⑤ ダイアログボックスが表示されるのでID・パスワードを入力して「Connect」をクリックしてください。

初期設定 ID:admin パスワード:1111

セキュリティの警告が出たら

セキュリティの警告のウィンドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。

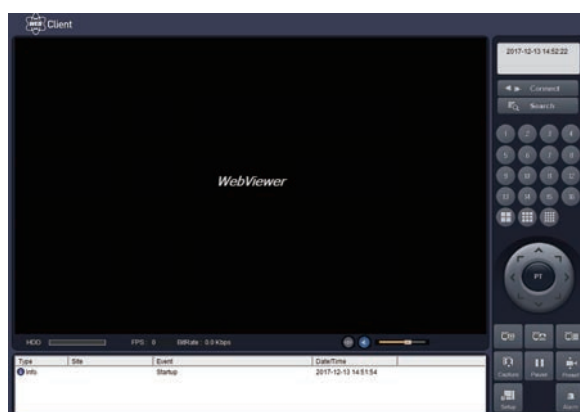


ウィンドウが開いて「Nadatel-WebViewer」のインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。

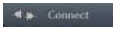
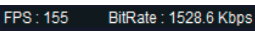


インストール後、PCを再起動してください。再起動後、再度接続してください。

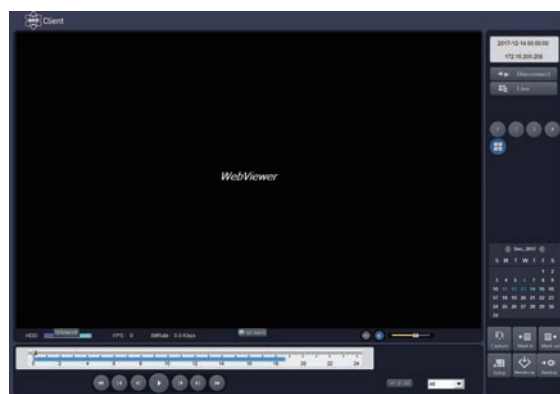
8.6.2 ライブモードの構成と各部のはたらき



ライブモードのコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
	画面表示部	レコーダに接続されているカメラのライブ映像を表示します。画面表示部にカーソルをのせると左下にミニ画面が表示されます。デジタルズームはマウスホイールを利用すると操作ができます。
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断します。
	検索	検索モードをライブモードに切替えます。
	チャンネル表示	チャンネルおよび分割画面の表示切替
	パン/チルト/ ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調整します。中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト/フォーカスモードに切替わります。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は、C:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	録画ON/録画OFF	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	レコーダ側にアラームを発生させます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	HDD容量	レコーダのHDDの使用容量を表示します。
	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム/ 音声ON/OFF	出力音量を調整します。スピーカーのアイコンをクリックすることで音声出力を切/入することも可能です。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8.6.3 検索モードの構成と各部のはたらき



検索モードのコントロールボタン

ボ タ ン	名 前	説 明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断します。
	検索	検索モードをライブモードに切替えます。
	チャンネル表示	チャンネルおよび分割画面の表示切替
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。録画データのあり日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は、C:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	レコーダかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	Remote Log	遠隔からレコーダのログを確認することができます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	QSearch	サムネイルがリスト表示されます。時間を絞り再生します。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、レコーダのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態でクリックすると1フレームずつ再生されます。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。タイムライン上で再生したい時刻を選択し▶をクリックすると再生が始まります。再生中に⏸をクリックすると一時停止します。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/1分前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。 1x→2x→4x→8x→16x→32x
	時間単位表示/ 分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。
	タイムラインバー	24時間、60分を標示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライド&ドロップをすることで再生したい時刻に移動できます。

8.7 モバイルでのライブ画面監視

iPhone、iPad、Android対応のスマートフォンで、レコーダのライブ監視、録画データの再生が可能です。

接続の前に

レコーダがインターネット経由での遠隔監視が可能な状態に設定する必要があります。

「2.9 設定 - ネットワーク」参照

8.7.1 iPhone/iPadからの接続

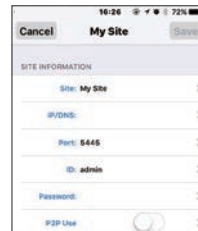
- ① App Storeから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。



- ② iUMSを起動し、上部の[+]をタップします。



- ③ レコーダを登録します。



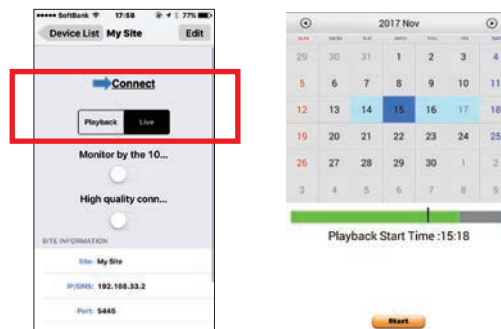
レコーダの登録

名 前	説 明
Site	登録するレコーダの名称を入力します。
IP/DNS	レコーダのアドレス (IPもしくは、DDNSアドレス) を入力します。
Port	ポート番号を入力します。
ID	レコーダで設定したユーザー名を入力します。
Password	ユーザーのパスワードを入力します。
P2P Use	本機では使用しません。 工場出荷時ID→admin 工場出荷時Password→1111

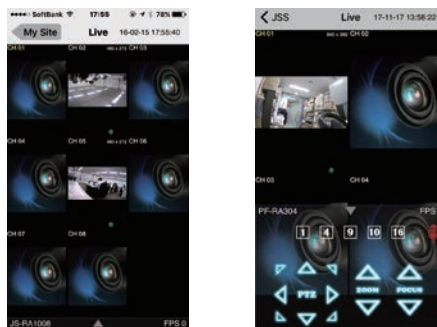
- ④ すべて入力した後、「Save」ボタンをタップして登録完了です。
- ⑤ 登録した機器のリストが表示されるので、接続する機器をタップします。



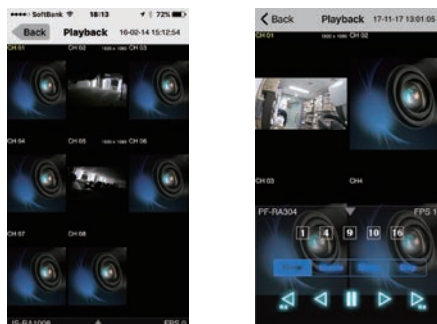
- ⑥ [Live(ライブ監視)]a,または[Playback(再生)]b,を選択して[Connect]を押して次に進みます。[Playback(再生)]を選択すると、日時選択に進みます。



- ⑦a [Live(ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。



- ⑦b [Playback(再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。



- ⑧a PTZカメラ使用の際は、ライブ映像にてパン/チルト/ズーム/フォーカスを操作できます。

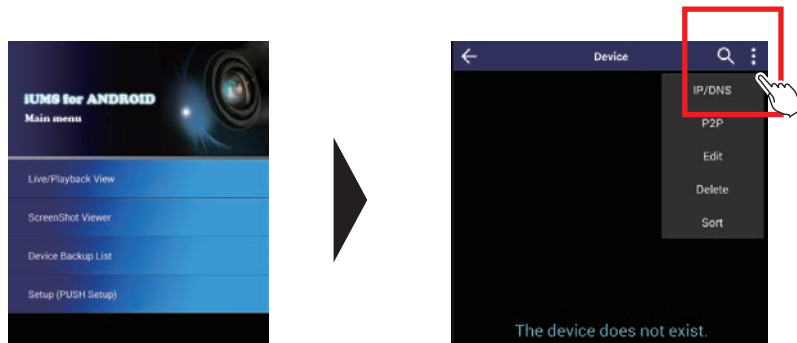
- ⑧b 再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。

8.7.2 Androidからの接続

- ① Playストアから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。



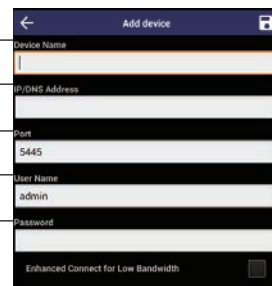
- ② iUMSを起動し、[Live/Playback View]をタップします。右上のサブメニューをタップし【IP/DNS】を選択します。



- ③ レコーダを登録します。

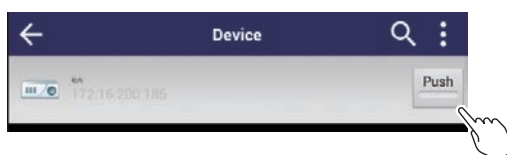
レコーダの登録

名 前	説 明	
Device Name	登録するレコーダの名称を入力します。	
IP/DNS Address	レコーダのアドレス (IPもしくは、DDNSアドレス) を入力します。	
Port	ポート番号を入力します。	
User Name	レコーダで設定したユーザー名を入力します。	
Password	ユーザーのパスワードを入力します。	
Enhanced Connect for Low Bandwidth:	低帯域幅での接続強化。	



工場出荷時User Name→admin 工場出荷時Password→1111

- ④ すべて入力した後、 ボタンをタップして登録完了です。
- ⑤ 登録した機器のリストが表示されるので、接続する機器をタップします。



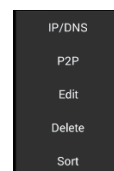
- サブメニュー表示ボタンで表示されるメニューについて

P2P:本機では使用しません。

Edit:Editをタップし、登録済みのリストを選ぶと編集出来ます。

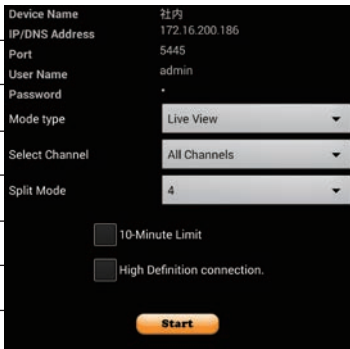
Delete:登録済みのリストを選んで削除します。

Sort:接続先を検査(上から、下から)



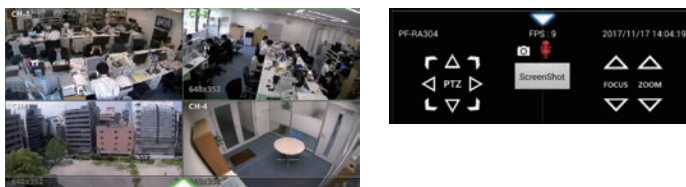
- ⑥ 接続設定を行います。

接続

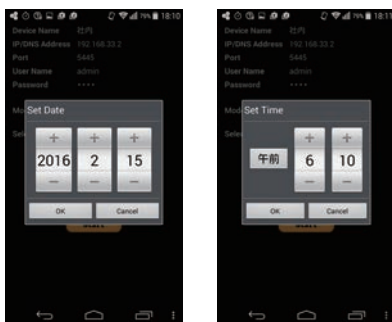
名 前	説 明	
Mode type: [Live view]	ライブ監視	
Mode type:[Playback]	再生	
Select Channels	接続するカメラチャンネルを選択します。	
AllChannels	すべてのチャンネルに接続します。	
Split Mode	分割画面を選択します。	
10minutes later,exit	10分後に自動的に接続を終了します。	
Hi Definition connection	1280×720の解像度にて接続します。	

- ⑦ 上記設定後、「Start」ボタンをタップして次に進みます。

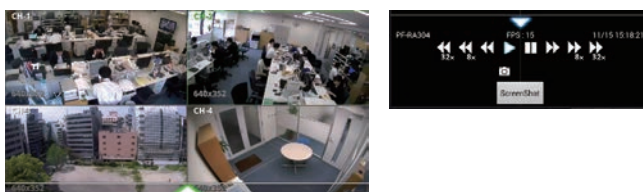
- ⑧a [Live view (ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。



- ⑧b [Playback (再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。



- ⑨a PTZカメラ使用の際は、ライブ映像にてパン/チルト/ズーム/フォーカスを操作できます。



- ⑨b 再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。カメラボタンをタップすると画像に変換され、起動時メニュー[ScreenShot Viewer]から閲覧することができます。

故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置 の し か た
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
リモコンを押しても動作しない	電池がなくなっている	電池を新しいものに変える
記録できない	上書き設定を「OFF」に設定している	録画装置設定内上書きを[ON]にする
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	スケジュール設定を正しくやり直す
モーション録画ができない	モーション設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す

■ 電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■ システムダウン

まったく動作しなくなった場合は、次の手順で確認してください。

- ① 電源を入切する。
- ② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番（ハイブリッド【アナログHD・ネットワーク】
4ch / 8ch / 16ch デジタルレコーダJS-RA2シリーズ）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

JAPAN SECURITY SYSTEM

Safety and trust keep to the future

株式会社 日本防犯システム
<http://www.js-sys.com/>

〒105-6109 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービルディング9階

TEL：03-6809-1217

FAX：03-6809-1701

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-10 第一登茂ビル4階

仙台支店 〒980-6023 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 23階

名古屋支店 〒451-0046 愛知県名古屋市西区牛島町2-5 トミタビル9階

大阪支店 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス5階

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル10階

福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル7階

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル7階

横浜営業所 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18 EXPERT OFFICE新横浜7階

高松営業所 〒760-0017 香川県高松市番町1-6-8 高松興銀ビル4階

